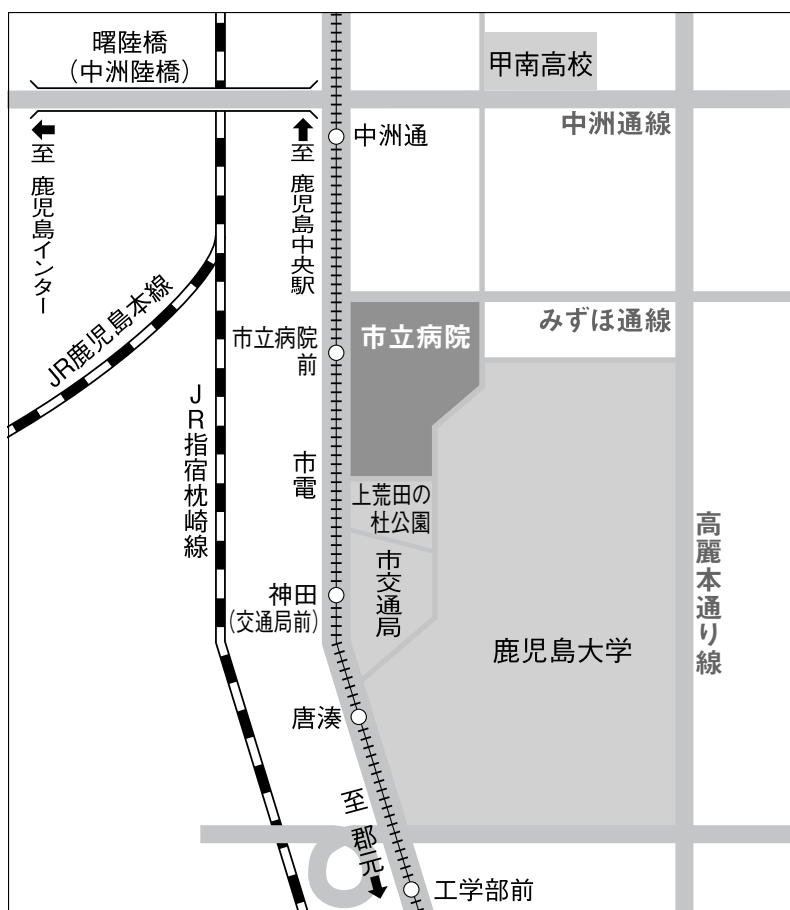


病 院 年 報

令 和 8 年 度

鹿 児 島 市 立 病 院



鹿児島市立病院理念・基本方針

理 念

安心安全な質の高い医療の提供

基 本 方 針

- 1 救急医療，成育医療及びがん診療を柱に，高度で専門的な医療を提供します
- 2 患者や家族に寄り添い，安全で信頼される医療を提供します
- 3 地域医療機関との連携を進め，地域医療の充実に努めます
- 4 職員の教育，研修及び研究を奨励し，医療水準の向上に努めます
- 5 ワークライフバランスに留意し，やりがいと充実感の持てる職場づくりに努めます
- 6 健全経営に努め，医療ニーズに応え絶えず進化する病院を目指します

は じ め に

鹿児島市病院事業管理者 佐野 輝



このたび、令和8年4月1日付で鹿児島市病院事業管理者を拝命いたしました佐野でございます。

新たに就任された堀病院長と緊密に連携しながら、鹿児島市立病院の安定的かつ持続可能な運営を確保し、地域医療の中核を担う公的病院としての使命をより一層果たしてまいり所存でございます。

私はこれまで、精神神経医学を専門として教育・研究・診療に従事するとともに、鹿児島大学において医学部長、医歯学総合研究科長、学長を歴任し、大学病院を含む大規模組織の運営、人材育成、財務・経営管理に携わってまいりました。加えて、国や地域における医療政策、診療報酬制度、医療提供体制の整備に関する諸課題にも深く関わってまいりました。さらに、本院の病院事業計画策定にも携わった経験を有しており、これまで培ってきた知見と実績を、本院のさらなる発展に確実につなげてまいりたいと考えております。

現在、医療を取り巻く環境は、急速な少子高齢化の進行、医療ニーズの高度化・多様化に加え、物価・人件費の上昇や医療人材の確保など、極めて厳しい局面にあります。こうした中であっても、鹿児島市立病院が市民の生命と健康を守る最後の砦として、その機能を将来にわたり維持・発展させていくことは、極めて重要な責務であると認識しております。そのため、これまで築き上げてきた「質の高い医療」と「地域からの信頼」を礎に、安全・安心な医療提供体制のさらなる充実を図るとともに、健全で強靱な経営基盤の確立に取り組んでまいります。また、職員一人ひとりが誇りと使命感を持ち、その能力を十分に発揮できる組織づくりを進め、将来にわたり選ばれ続ける病院を目指してまいります。

また、精神神経医学に携わってきた立場から、身体の治療にとどまらず、心のケアを含めた全人的医療の重要性を深く認識しております。地域の皆さまの健康を心身両面から支える、温かみと品格を備えた医療の実現にも力を尽くしてまいります。

今後とも、鹿児島市民をはじめ地域の皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



このたび、鹿児島市立病院の院長を拝命いたしました堀でございます。今回の新体制におきましては、病院事業管理者と病院長の役割が明確に分けられることとなりました。高度急性期病院としての医療提供体制の管理、統括が私の責務となります。

私は昭和60年に当時の鹿児島大学第二内科に入局し、平成6年より宮崎医科大学第二内科に席をおき、平成20年には鹿児島市立病院、さらに鹿児島通信病院の3年間の勤務を経て、平成26年より再び鹿児島市立病院に復職し、令和2年より副院長を務めさせていただいておりました。

今後も高度急性期病院として、機能していくためには、院内の各診療科、看護部、薬剤部、医療技術部、事務部門との意思の疎通を円滑にし、病院としての意思の統一をはかることが重要であると考えております。

さらに、我が国は急速な少子化、高齢化の進展に直面しており、医療需要は量的にも質的にも大きく変化しています。これらの変化に対応し鹿児島県の医療を後退させることの無いように、地域の医療機関との連携を一層強化し、地域の医療機関との連携を密にして切れ目のない医療を提供できる体制を整えてまいります。

働く人口の減少も大きな問題であり、限られた人的資源の中で、医療DXの積極的な導入による医療の効率化、医療従事者の負担軽減を図れるように取り組みたいと思います。

信頼される安心・安全な高度な医療を提供することを何よりも大切にし、佐野病院事業管理者の指揮下のもと病院長としての職務に邁進したいと思います。

今後とも、地域の皆様、関係各位のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

目 次

1. 病院事業の概要	
(1) 鹿 児 島 市 の 概 況	1
(2) 鹿児島市における医療機関の状況	1
(3) 鹿児島市立病院の概況	2
2. 鹿児島市立病院の沿革	4
3. 病 院 の 現 況	
(1) 診 療 科 目	11
(2) 許 可 病 床 数	11
(3) 医師研修施設等指定の現状	12
(4) 病 院 組 織 図	14
(5) 職 員 数	15
(6) 建 物 等 配 置 図	16
(7) 施 設 の 概 要	16
(8) 建物別各階配置図	17
(9) 建 物 設 備 概 要	18
(10) 医 療 安 全 管 理 部	19
(11) 感 染 制 御 部	19
(12) D X推進・経営情報分析室	19
(13) 診療センター・中央診療部門	19
(14) 医 療 支 援 部 門	20
(15) 院内の各種委員会活動状況	21
(16) 診療報酬、薬価基準	28
4. 高度医療機器一覧表	29
5. 病院事業特別会計財務の状況	
(1) 収益的収入及び支出	32
(2) 資本的収入及び支出	34
(3) 病院事業会計年度別収支表	35
(4) 年度別医業収益及び医業費用	36
(5) 診療科別医業収益	37
(6) 行 為 別 医 業 収 益	38
(7) 診療科別給食収入	39
(8) 企 業 債 の 明 細	40
6. 病院統計（令和7年度）	
(1) 入 院 延 患 者 数	41
(2) 外 来 延 患 者 数	42
(3) 入院・外来合計延患者数	43
(4) 入院患者数(項目別)	44
(5) 延患者数・一日平均患者数推移表	48
(6) 住 所 地 別 患 者 数	49
(7) 負担区分による患者延数	50

(8) 手術件数	51
(9) 麻酔種別件数	51
(10) 手術・処置項目別件数	52
(11) 検査件数	57
(12) 放射線取り扱い件数等	58
(13) 薬剤業務件数	59
(14) 病理診断件数	60
(15) リハビリテーション患者延人数	60
(16) 分娩件数	61
(17) 年度別死亡者数及び解剖数	61
(18) 患者給食食別件数	62
(19) 栄養食事指導件数	63

7. 救急統計

(1) 診療科別救急患者数	64
(2) 時間内・時間外別患者数	65
(3) 市内・市外別患者数	65
(4) 救急車搬入患者数	66
(5) ウォークイン患者数	67
(6) 交通事故救急患者数	68
(7) 住所地別救急患者数	69
(8) 離島救急統計	70
(9) 救急車等による母体搬入数	72
(10) 鹿児島県ドクターヘリ運航状況	72
(11) 鹿児島市ドクターカー運行状況	72

8. 新生児センター統計

(1) 入院患者数	73
(2) 市内・市外別患者数	73
(3) 体重別患者数	73

9. 公的研究費等

10. 研究発表・論文発表

(2025.4～2026.3)

(1) 病院事業管理者	
ア 学会、講演会等における研究発表	75
イ 学術論文等の研究発表	76
(2) 診療部門	
ア 学会、講演会等における研究発表	77
イ 学術論文等の研究発表	101
ウ 院内における研究発表	110
(3) 医療技術部門	
ア 学会、講演会等における研究発表	111
(4) 看護部門	
ア 学会、講演会等における研究発表	115

1. 病院事業の概要

(1) 鹿児島市の概況

本市は、九州の最南端、鹿児島県本土のほぼ中央部に位置し、鹿児島湾をはさんで桜島を含んだ東西約33km、南北約51kmの風光明媚な都市である。過去5年間の年間平均気温は19.6℃と温暖な気候に恵まれ、鹿児島市のシンボルとして知られている桜島（標高1,117m）は、市街地から約4kmの対岸にあり、依然として活発な火山活動を続けている。

令和4年度には、「つながるひと・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま」を都市像に掲げた第六次総合計画がスタートしたところであり、令和7年度は、こども医療費の全額助成の対象拡大、窓口負担ゼロを実施するなど子育て環境の充実を図るとともに、オープンイノベーションによるビジネス等の創出支援や仙巖園駅の開業を契機とした磯地区の観光資源化などに取り組んだほか、中心市街地における建替え等を促進する「かごしまRX」の開始や「認知症オレンジシティ」の宣言、「桜島火山防災研究所」の設置、ICTを活用した「書かない窓口」の拡充など、各面から具体的施策を推進した。

現在、本市は、子育て世代や若者をはじめすべての方々に選ばれるまちを築くため、「“地域の稼ぐ力”向上」、「子どもの未来輝き”推進」、「ICTで住みよいまち”推進」を重点的な取組とし、人もまちも躍動する鹿児島市の実現に向けて、各施策を積極的に展開している。

(2) 鹿児島市における医療機関の状況

市内の大規模な国公立病院としては、鹿児島大学病院（704床）、独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター（410床）、そして鹿児島市立病院（574床）がある。

市内の医療機関については、次表のとおりであるが、人口10万人に対する医師数並びに一般病床数は、全国平均を大幅に上回り、病院の量的整備は相当に進んでいる。

病床数（令和8年4月1日現在）

区 分	施 設 数	病 床 数
病 院	84	12,129
診 療 所	551	1,220
歯科診療所	364	0
助 産 所	87	25
合 計	1,086	13,374

（市の統計）

医療関係者数（令和6年12月31日現在）

区 分	人 数	区 分	人 数
医 師	2,815	准 看 護 師	1,841
歯 科 医 師	781	保 健 師	397
薬 剤 師	1,698	歯科衛生士	1,046
助 産 師	380	歯科技工士	205
看 護 師	11,319	（国と県の統計）	

医師、歯科医師、薬剤師数は、免許所有者数
その他は業務従事者数

(3) 鹿児島市立病院の概況

本市の病院事業は、明治26年9月、市立鹿児島病院の創立に始まる。県から医学校及び附属病院の建物機器等の無償貸与を受けて山下町に開設したものである。

そして、昭和15年、社会事業協会の経営する実費診療所を買収して鹿児島市立診療所を開設し、昭和20年、鹿児島市立病院と改称した。その後、昭和23年、加治屋町に新築移転した。

昭和60年に救命救急センターを開設し、平成3年には救命救急センター棟を増築するなど、本県救急医療の中心として第三次救急医療体制の整備も進めてきた。

平成9年には県内で唯一の基幹災害拠点病院に指定され、災害医療でも本県の中核を担うこととなった。平成21年にはDMAT指定病院となり、平成23年の東日本大震災、平成28年の熊本地震や令和2年長崎クルーズ船新型コロナウイルス感染症クラスター、令和6年能登半島地震の際には、DMAT派遣の実績がある。また、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震の際はJMAT派遣も行った。令和7年7月のトカラ列島群発地震の際には、鹿児島県との「災害支援ナース」の災害派遣に関する協力協定に基づき、十島村悪石島へ当院看護師を派遣した。

平成19年11月には、産科と新生児科の機能を集中させ、リスクの高い妊娠に対する医療や高度な新生児医療等、母体及び胎児、新生児に対し一貫した24時間体制での周産期医療を行う総合周産期母子医療センターを開設した。

平成20年1月には、発症直後の超急性期の治療も行える脳卒中センターを開設するなど、専門的で高度な医療の提供及び救急医療体制の確立に努めている。

平成22年5月には、2度目の自治体立優良病院の総務大臣表彰を受け、7月には医療の質やサービスについて、効果的で客観的な向上を図るため、財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価を受審し、11月認定を受け令和2年度に更新を行った。また、医師・歯科医師の卒後研修を行う臨床研修指定病院、看護学校・歯科衛生士学校生徒の実習病院としての機能を果たしている。

平成23年12月には、当院を基地病院とする鹿児島県ドクターヘリの運航を開始し、現場等から医療機関に搬送するまでの間、患者に救命医療が行うことができるようになった。新病院開院以降は、屋上ヘリポートに駐機し、要請があれば直ちに出勤できる体制を整えている。

平成25年12月には電子カルテの運用を開始し、診療記録（カルテ）を、電子的に記録・保存することで、入院・各科外来ごとに管理していたカルテを統合し、1患者1カルテとした。

平成26年10月には、市消防局が実施主体となるドクターカーの暫定運用（平日の8:30～17:15）を開始し、平成28年2月に土曜日（祝日除く）、平成29年8月に日・祝日（年末年始含む）まで拡大し、全日昼間の運用としたほか、平成31年2月からは平日22時までの準夜帯まで拡大している。

平成24年9月に着工した新病院は平成27年3月に完成し、同年5月1日に移転開院した。

平成29年4月には、内視鏡下手術支援ロボットをはじめ、内視鏡による診断及び治療をより先進的・効果的に行うために、先進内視鏡診断・治療センターを開設した。

市立病院は総合的な診療機能に加え、周産期や救急など高度で専門的な第三次救急医療を提供し

ており、平成30年3月には、地域医療支援病院に承認されるとともに、DPC特定病院群の指定を受けた。平成31年4月には、地域の中核病院としての役割を果たしていくため、内科再編や腫瘍内科の新設等の組織整備を行い、診療体制の充実を図った。令和2年4月には、地域がん診療連携拠点病院（高度型）に指定された。

新型コロナウイルス感染症について、令和3年度は、重点医療機関として、感染状況に応じて重症・中等症以上の患者に加え、妊婦や親子感染者にも対応できるよう受入態勢を拡充したほか、感染拡大を防止するため、令和3年5月から住民向けのワクチン接種を実施するなど、地域医療を担う公的医療機関としての役割を積極的に果たしてきた。

令和4年度については、国内で第7波及び第8波が到来する中で、1年間の患者数ではこれまでで最多の受け入れを行うとともに、同感染症に対応する看護職員等のさらなる処遇改善を図った。

令和5年度は、再整備や働き方改革、DXで職員の業務効率化など各種施策に取り組んだ。また、看護師の確保と定着に向け、チューター制度を導入するとともに、臨床検査の質と能力に関する高いレベルの国際規格であるISO15189を取得した。

令和6年度は、病院DXを強力に推進することを目的とし、「DX推進室」を設置した。また、病院ホームページのリニューアルを行い、情報の発信力の強化を図った。

令和7年度は、「病院経営力強化事業」として、専門性の高い経営コンサルと連携し、経営状況の分析や経営改善施策を取りまとめるとともに、組織運営の中心となる人材の育成のほか、院内で保有する各種データの可視化に取り組んだ。

今後も医療技術の向上や診療体制の充実に努めるとともに、安定経営に向けた取り組みを推進し、安心安全な質の高い医療を提供していく必要がある。

2. 鹿児島市立病院の沿革

昭和15年 4 月	鹿児島市立診療所発足 初代所長 松本正己医博 紀元2600年事業として鹿児島市社会事業協会経営の実費診療所を買収して市立診療所とする。(病室約20人収容) 南林寺町1番地の診療所を本所とし、武町に支所をおく。
昭和16年 4 月	武町支所を閉鎖
昭和20年 4 月	鹿児島市立病院に改称 初代病院長 松本正己医博 トラホーム診療所、尾畔(伝染)病院を合併し、病院事業を再編成する。
6 月	鹿児島大空襲により病院全壊 民間病院(上竜尾町野元医院)を借用して診療を継続
7 月	野元医院空襲により焼失
8 月	尾畔(伝染)病院にて診療を継続、その後更に鹿児島市役所の一隅に仮診療所を開設
12 月	佐々木武男医博 第二代病院長に就任
昭和21年 7 月	各科診療を開始(内科、外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科)
9 月	鹿児島市尋常小学校跡地(山下町)に病棟を建設(病床数50床)、診療を開始
昭和22年 7 月	歯科を開設 診療科目6科
昭和23年 5 月	小児科を開設 診療科目7科
9 月	放射線科を開設 診療科目8科
10 月	加治屋町に病院移転完了、診療を開始 医療法第7条による病院開設許可 病床数160床 医師修練病院に指定
昭和25年 4 月	皮膚泌尿器科を開設 診療科目9科
10 月	許可病床数104床(一般80床、結核24床)
昭和26年 3 月	入院患者への完全給食を実施
6 月	許可病床数123床(一般91床、結核32床)
昭和27年 4 月	市立病院附設准看護婦養成所を開設
5 月	許可病床数196床(一般91床、結核105床)
7 月	鹿児島市立産院を併設
9 月	許可病床数210床(一般105床、結核105床)
昭和28年 4 月	尾畔病院の所管を保健所に移管 中央材料室を設置
昭和29年 4 月	結核病棟に完全看護を実施
12 月	許可病床数276床(一般105床、結核171床)
昭和30年 2 月	許可病床数290床(一般135床、結核155床)
昭和32年 8 月	総合病院としての承認を受ける コバルト60による治療開始
9 月	許可病床数314床(一般159床、結核155床)
昭和33年 8 月	市立病院附設准看護婦養成所を閉鎖
10 月	基準看護及び基準給食を開始
12 月	許可病床数302床(一般164床、結核138床)
昭和35年 3 月	第一期病院改築工事(1号館)着工
9 月	短期人間ドックを開始
昭和36年 3 月	許可病床数360床(一般222床、結核138床) 第一期病院改築工事(1号館)完成 第二代病院長 佐々木武男退任
4 月	上高原勝美医博 第三代病院長に就任
6 月	「鉄の肺」を設置
昭和37年 3 月	第二期病院改築工事(2号館)着工
6 月	物療室を開設
11 月	妊婦ドック指定病院に指定
昭和38年 1 月	許可病床数360床(一般260床、結核100床)
2 月	第二期病院改築工事(2号館)完成
4 月	市立産院本院内に移転(20床) 許可病床数380床(一般260床、結核100床、産院20床)
6 月	基準寝具を実施
昭和39年 3 月	尾畔(伝染)病院新築(伝染60床)、城西病院と改称

	4月	地方公営企業法の財務規定等適用
	5月	県下初の新生児血交換（R h マイナス）に成功
	7月	救急病院の指定を受ける
昭和40年	4月	麻酔科を設置 診療科目10科 中央手術室を設置
昭和42年	4月	リニアックによる治療を開始
	7月	脳神経科を開設 診療科目11科
	12月	基準改正に伴い、一般病棟に一類看護、結核病棟に三類看護を実施
昭和43年	3月	許可病床数410床（一般290床、結核100床、産院20床）
	4月	頭部外傷救急センターを設置（病床数30床）
昭和44年	1月	第三内科（循環器科）を開設 診療科目12科
	4月	地方公営企業法の全部適用とする 上高原勝美 初代病院事業管理者に就任 鹿児島市立病院労働組合結成
昭和45年	1月	第一次病院整備事業構想決定
昭和46年	3月	許可病床数470床（一般350床、結核100床、産院20床） 頭部外傷救急センター 20床増床（救急ベッド50床に） がん診療施設用として40床増床 第一次病院整備事業本館建築着工 第一次病院整備事業 2号館 5, 6階増築完成
昭和47年	3月	患者治療及び浴用として温泉掘削 深さ747m、泉質弱アルカリ食塩泉、温度摂氏49度
	4月	医師法に規定する臨床研修病院の指定を受ける
	5月	歯科に口腔外科を設置
	11月	第一次病院整備事業本館高層部完成
	12月	皮膚泌尿器科を皮膚科、泌尿器科に分科 診療科目13科
昭和48年	4月	中央研究検査室、中央放射線室を設置 病棟看護婦の二・八制勤務完全実施 一般病棟を特類看護に、結核病棟を一類看護に変更
	5月	新患受付、外来部門レセプト作成業務を民間へ委託 外来患者診療時間を原則として午前診療とする
	9月	頭部外傷救急センターを脳疾患救急部に改組 第一次病院整備事業本館低層部完成
	10月	結核病床60床を一般病床へ転床 許可病床数470床（一般410床、結核40床、産院20床）
	11月	第二内科（消化器科）、整形外科を開設 診療科目15科
昭和49年	4月	鹿児島市立高等看護学校開校（三年課程、1学年30人） 2号館の1, 2, 4階を高等看護学校へ
	5月	いこいの森完成
	6月	人工透析部を設置
	10月	中央カルテ管理室を設置
昭和50年	1月	入院部門レセプト作成、基金請求、診療案内及び計算補助業務を民間委託
	7月	不妊クリニックを開始
昭和51年	1月	五つ子（山下ベビー）誕生（男子2人、女子3人 体重990g～1,800g）
	4月	一般病棟を特二類看護に、結核病棟を特一類看護に変更
	11月	五つ子プロジェクトチーム、第27回南日本文化賞受賞 プロジェクトリーダー、産婦人科部長 外西寿彦
昭和52年	4月	城西病院（伝染病院60床、旧尾畔病院）の運営について市と覚書を締結し管理運営を 本院において受託する
	8月	コンピューター付X線頭部断層診断システムを導入
	10月	第二次病院整備事業（3号館）着工
昭和53年	8月	院内を禁煙とし、本館1, 2階待合ホールに喫煙コーナーを設置
	9月	第二次病院整備事業完成
	11月	中央図書室を設置 脳疾患救急部を脳疾患救急センターに改称 新生児センターに40床増床
		許可病床数510床（一般450床、結核40床、産院20床）
	11月	周産期医療センター（新生児センター、母子保健指導部）を設置
昭和54年	2月	産婦人科病棟に周産期医療センター（分娩センター）を設置

	4 月	分娩センターに20床増床 許可病床数530床（一般470床，結核40床，産院20床）
	8 月	理学療法室の整形外科所管を解き，中央理学療法室に改組する 中央回復室を設置
	9 月	第三次病院整備事業（4号館）着工
	11月	I C Uに9床，C C Uに2床を増床 許可病床数541床（一般481床，結核40床，産院20床）
昭和55年	3 月	五つ子誕生（男子2人，女子3人，体重1,400g～1,975g）
	4 月	コンピューター付X線全身断層診断装置導入
昭和56年	3 月	第3次病院整備事業（4号館）完成
	4 月	周産期医療センター（新生児部門）に20床増床 許可病床数561床（一般501床，結核40床，産院20床）
昭和57年	1 月	電算システム導入に伴う電気設備その他工事竣工
	4 月	薬品在庫管理電算システム導入
	8 月	医事業務（入院）電算システム導入
昭和58年	3 月	医事業務（外来）電算システム導入 慈愛の像除幕式 看護婦寄宿舍新築完成
	5 月	小児科に50床増床 許可病床数611床（一般551床，結核40床，産院20床）
昭和59年	4 月	病理研究検査室を設置
	7 月	第三内科（循環器科）24時間救急体制発足
	11月	中国長沙市研修生第一回受入れ（趙 国祥，何 国強）
昭和60年	1 月	内科を内科，消化器科，循環器科に分科 形成外科を開設 診療科目16科 救命救急センターを設置 30床増床 許可病床数641床（一般581床，結核40床，産院20床）
	3 月	上高原勝美 初代病院事業管理者退任
	4 月	時任純孝 第二代病院事業管理者に就任
	5 月	南九州初の腎臓移植を行う 東京女子医科大学腎センターの太田和夫教授の指導を受け，伊集院一成外科科長ら医師15人，麻酔科4人，看護婦8人で構成するグループが無菌手術室で実施
	6 月	栄養管理業務の一部を電算化
	11月	病理研究検査室に電子顕微鏡を導入 中国長沙市研修生第二回受入れ（符 嶺華，余 暑純）
	12月	第二例目の腎臓移植手術を本院スタッフのみで実施
昭和61年	4 月	入院患者給食の夕食を6時給食とする
	7 月	中国長沙市研修生第三回受入れ（何 小部，唐 元萍） 鹿児島市立病院友好訪問団 長沙市を訪問 団長 時任院長 外3人 期間7.28～8.4
	8 月	日帰り人間ドックを開始
	10月	入院患者面会時間を変更（午後3時から午後8時まで） 死体腎移植組織協力病院の指定を受ける（社）ジン移植普及会）
	11月	自治体立優良病院の表彰を受ける 全国自治体病院開設者協議会，（社）全国自治体病院協議会
昭和62年	2 月	中国長沙市研修生第四回受入れ（王 一欣，陳 斉国）
	6 月	病院駐車場を有料とする 病院検査及びカルテ管理を電算化 九州初の体外受精に成功～産婦人科（伊集院秀明，寺原賢人，榎園祐二，堂園光一郎，楠元博彦の医師スタッフ）
	10月	中国長沙市研修生第五回受入れ（黄 閔，張 艶青）
昭和63年	1 月	死体腎移植を実施
	4 月	小児外科を開設 診療科目17科
	5 月	医療相談コーナーを設置
	7 月	中国長沙市研修生第六回受入れ（馮 飛，孫 長立）
	9 月	鹿児島市立病院友好訪問団 長沙市訪問 団長 大司総看護婦長 外4人 訪問期間9.28～10.9
平成元年	4 月	心臓血管撮影装置導入
	5 月	麻酔科 外来診療開始

	10月	救命救急センター棟等増改築工事着工
平成2年	3月	中国長沙市研修生第七回受入れ（戴 月梅，張 憲南）
	4月	オーダーリングシステム一部（処方オーダー）稼働開始
	11月	中国長沙市研修生第八回受入れ（彭 敏球，謝 宏）
平成3年	2月	救命救急センター棟完成
	4月	救命救急センター後方ベッドとして20床増床 許可病床数661床（一般601床，結核40床，産院20床）
	10月	救急新体制本格稼働
平成4年	1月	中国長沙市研修生第九回受入れ（張 莉，王 敏）
	3月	時任純孝 第二代病院事業管理者退任 MRI導入
	4月	外西寿彦 第三代病院事業管理者に就任
平成5年	3月	体外衝撃波結石破碎装置導入
	4月	中国長沙市研修生第十回受入れ（黄 紅光，王 西香）
	7月	外西寿彦 第三代病院事業管理者逝去 武 弘道 第四代病院事業管理者に就任
		5号館着工
	8月	8.6豪雨災害
	9月	13号台風災害
平成6年	3月	5号館完成
	4月	第2，第4土曜日の外来診療を休診とする。 鹿児島市立病院併設伝染病棟供用開始（20床） 許可病床数681床（一般601床，結核40床，伝染20床，産院20床）
		外西文庫開設
	5月	特三類看護へ移行（354床）
	8月	防潮施設整備工事完成
	10月	特三類看護へ移行（579床）
	11月	立体駐車場（第三駐車場）完成（111台収容）
平成7年	1月	阪神・淡路大震災医療活動応援隊第一陣派遣
	2月	阪神・淡路大震災医療活動応援隊第二陣・第三陣派遣
	3月	高気圧酸素治療装置導入
平成8年	1月	全土曜日の外来診療を休診とする
	3月	骨密度測定装置導入
平成9年	1月	給与管理システム導入
	2月	血管造影撮影装置更新
	3月	高気圧酸素治療装置増設，全身用X線コンピュータ断層診断装置増設
	4月	病院モニター制導入 口腔外科を歯科口腔外科へ名称変更，リウマチ科を開設，診療科目 19科 院内学級設置
	5月	基幹災害医療センターの指定
	10月	財務会計システム導入
平成10年	5月	自治体立優良病院の自治大臣表彰を受ける
	7月	心臓血管外科を開設 診療科目20科
平成11年	4月	感染症病床6床設置 許可病床数667床（一般601床，感染6床，結核40床，産院20床）
平成12年	2月	外来待合所喫煙全面禁止
	10月	周産期医療センター（新生児部門）に20床増床 許可病床数687床（一般621床，感染6床，結核40床，産院20床）
平成13年	2月	新生児専用ドクターカー導入
	7月	武 弘道 第四代病院事業管理者退任 谷口良康 第五代病院事業管理者に就任
平成14年	9月	中央回復室を中央集中治療室に改称
平成15年	3月	リニアック治療装置更新
	7月	全国自治体病院協議会九州地方会議開催
	10月	自動再診受付機・診療費自動精算機稼働開始 県内初（九州2例目）脳死下での臓器提供
平成16年	4月	新医師臨床研修制度発足 ME機器中央管理室を設置

平成17年	3月	電子顕微鏡システム更新
	7月	ホルミニウムレーザー装置導入 谷口 良康 第五代病院事業管理者退任 上津原甲一 第六代病院事業管理者に就任
	10月	電算システム更新 総合血液学検査装置更新
平成18年	3月	体外衝撃破碎装置更新 鹿児島市立高等看護学校閉校
	4月	後期臨床研修制度整備 市立病院あり方検討委員会設置
	10月	第45回全国自治体病院学会開催 物流センター開設
	11月	救命救急センター内C T装置導入
	12月	新生児外来開設 臨床心理室開設
平成19年	1月	発達支援集中治療室（D I C U） 10床開設 新生児集中治療室（N I C U） 4床増床 小児科看護7：1体制導入
	4月	組織変更（総務課計画係の設置等） 医療安全管理室、医療連携室の設置 10：1看護体制導入 鹿児島市立病院基本構想・基本計画策定委員会設置
	7月	X線C T装置（64列・16列）に同時更新
	8月	母体・胎児集中治療室（M F I C U）（6床）開設
	10月	S C U（3床）開設 臨床化学免疫連結型自動分析装置 1台更新
	11月	総合周産期母子医療センター開設
平成20年	1月	脳卒中センター開設
	3月	鹿児島市立病院基本構想・基本計画策定 臨床化学免疫連結型自動分析装置 1台更新
	5月	新病院建設プロジェクト会議設置
	6月	カリフォルニア大学アーバイン校医学部との交換留学制度協定締結
	9月	小児科外来移転開設
平成21年	1月	鹿児島市立病院基本設計プロポーザル審査委員会設置
	3月	画像情報システムP A C S 導入
	4月	組織変更（病院建設室の設置等） 外来化学療法室の設置 D P C 導入 D M A T 指定病院
	5月	新型インフルエンザ発熱外来設置（平成21年8月休止） 自治体立優良病院の会長表彰を受ける
	10月	乳房用X線診断装置更新
	11月	注射薬自動払出システム導入
	12月	ウォークイン外来開設
平成22年	2月	磁気共鳴画像診断装置3.0Tに更新
	3月	新生児専用ドクターカー更新 新病院基本設計
	4月	市立産院を廃止し、一般病床を20床増床 許可病床数（一般641床、感染6床、結核40床） 敷地内全面禁煙へ移行
	5月	自治体立優良病院の総務大臣表彰を受ける
	7月	全国自治体病院協議会九州地方会議開催 病院機能評価受審
	11月	病院機能評価認定 頭部用X線C T装置導入
平成23年	3月	東日本大震災被災地へD M A T およびJ M A T 派遣
	4月	地域がん診療連携拠点病院指定
	6月	新病院実施設計
	7月	鹿児島県小児救急医療拠点病院指定

	10月	鹿児島市医師会病院との大規模災害発生時の相互支援協定締結
	12月	鹿児島県ドクターヘリ基地病院として運航開始
平成24年	1月	リモートアフターローディング治療装置更新
	2月	新病院建設事業用地購入（上荒田町37番1）
	7月	院外処方への移行
	9月	新病院建設工事着工
		宮崎県立宮崎病院との災害時における医療機関相互応援に関する協定締結
	10月	G C U（6床）開設
	12月	心臓血管造影装置の更新
平成25年	3月	鹿児島市病院事業経営計画策定
	4月	九州7県の自治体病院との災害時における医療機関相互応援に関する協定締結
	6月	7：1看護体制導入
	7月	上津原甲一 第六代病院事業管理者退任
	8月	坪内 博仁 第七代病院事業管理者に就任
	12月	電子カルテシステムの導入
平成26年	1月	全身用X線C T装置の更新
	3月	双胎間輸血レーザー装置導入
	4月	看護科二交代制勤務導入
	10月	鹿児島市高度救急隊（ドクターカー）基地病院として運用開始（平日日中のみ）
平成27年	3月	新病院完成
		全身用X線C T装置（80列・320列）、X線C T組合せ型血管造影装置、X線C T組合せ型核医学用診断装置、血管造影撮影装置、手術画像配信システム、MRI装置（1.5T）、リニアック治療装置導入、人工心肺装置導入
	4月	完成記念式典
	5月	移転開院
		診療科再編、精神科新設、許可病床数574床（一般568床、感染6床）
		入退院センター設置
	7月	心臓血管外科開心術開始
	8月	初診紹介患者の予約制の拡充
	10月	旧病院解体工事着工
		病院機能評価3rdG：Ver1.0受審
	11月	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院との連携協定締結
平成28年	2月	鹿児島市高度救急隊（ドクターカー）の運用拡大（平日と土曜日の日中）
	3月	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科との連携講座設置に関する協定締結
		人間ドックを廃止
		病院機能評価3rdG：Ver1.0認定
	4月	クレジットカード収納の導入
		熊本地震被災地へDMA TおよびJMA T派遣、ドクターヘリによる新生児等搬送、新生児等受け入れ
	7月	紹介状のない初診の外来患者に対し初診時選定療養費制度を導入
	8月	熊本地震に伴う熊本市市民病院看護師等の受入れ
	10月	内視鏡下手術支援ロボット導入
平成29年	2月	旧病院解体工事完了
	3月	鹿児島市病院事業経営計画見直し
		新公立病院改革プラン策定
		病院跡地売却
	4月	先進内視鏡診断・治療センター開設
	8月	鹿児島市高度救急隊（ドクターカー）の運用拡大（全日日中）
		特定集中管理料2（スーパーICU）算定開始
		平成29年度栄養関係功労者厚生労働大臣表彰受賞
	10月	X線C T組合せ型ボジトロンC T（PET-CT）装置導入
	11月	体外式結石破碎装置更新
平成30年	3月	乳房X線撮影装置更新
		地域医療支援病院に承認
		D P C特定病院群の初指定
		B C P（災害時の業務継続計画）の策定
	8月	外国医師臨床修練制度に基づき、脳神経外科にてボハラ・マノズ医師（ネパール）が臨床修練を開始（令和元年6月修了）
平成31年	2月	鹿児島市高度救急隊（ドクターカー）の運用拡大（平日22時まで）
		S P D物流システム導入

	3月	Web版処方チェックシステム導入
	4月	糖尿病・内分泌内科，血液・膠原病内科，腎臓内科，腫瘍内科の開設 (診療科目：全32科) 神経内科を脳神経内科へ名称変更 総合診療部，緩和ケアセンター開設 給食調理業務委託の開始
令和元年	8月	入退院センター：術前支援室の運用開始
令和2年	2月	MR I装置(3.0T)(当院3台目)の導入
	4月	地域がん診療連携拠点病院(高度型)の指定 会計年度任用職員制度導入 長崎クルーズ船新型コロナウイルス感染症クラスターにDMAT派遣
	6月	心臓血管外科小児開心術開始
	10月	注射薬自動払出システム更新 SCU 3床増床 外来化学療法室を拡充(7床増床し，診療室を新たに整備) 病院機能評価3rdG：Ver2.0受審
	11月	患者用Wi-Fi導入 電子カルテシステム更新
令和3年	1月	麻薬管理システム導入 勤務管理システム導入
	2月	特定行為研修指定研修機関の指定 MR I装置(3.0T)の更新 病院機能評価3rdG：Ver2.0認定
令和3年	4月	がん治療・支援センター開設 歯科医師臨床研修単独型プログラム開始 看護師特定行為研修センター開設
	5月	内視鏡下手術支援ロボット(2台目)の導入
	8月	治療計画用CT装置の更新，スポットチェックシステムの導入
令和4年	1月	全身用CT装置(320列)の更新
	3月	第2期鹿児島市病院事業経営計画策定 鹿児島市立病院再整備計画策定
令和5年	1月	透視装置の更新および移設，情報端末装置の導入
	2月	検体搬送システム新設
	3月	心臓血管撮影装置の更新 回診用X線装置の更新と手術室用移動式X線透視装置の増設
	4月	リハビリテーション科の開設(診療科目：全33科) 組織変更(感染制御部の設置)
	5月	病院再整備基本設計
令和6年	1月	能登半島地震被災地へDMATおよびJMAT派遣 一般撮影装置(X線撮影室1室)更新
	2月	iPhoneの導入
	3月	ISO15189：2012認定(臨床検査部・病理部) 第2期鹿児島市病院事業経営計画(令和5年度改訂版)策定 救命救急センター充実段階評価S評価初取得 リモートアフターローディング治療装置(RALS)や新生児用ドクターカーの更新 音声入力アプリの導入，病院再整備実施設計
	4月	組織変更(病院再整備室，DX推進室の設置) 救急救命士配置
	7月	既存設備移設等工事着工
	8月	医療用X線装置(O-arm術中イメージングシステム+ナビゲーションシステム)の増設
令和7年	3月	調剤進捗管理システムの導入，スマートオリエンテーションの導入
	4月	組織変更(DX推進室をDX推進・経営情報分析室へ再編成) web初診予約システムの導入
	5月	鹿児島県と「災害支援ナース」の派遣に関する協定を締結
	9月	ISO15189：2022認定(臨床検査部・病理部) 血管造影X線診断装置の更新
令和8年	3月	坪内博仁 第七代病院事業管理者及び第九代病院長退任 堀 剛 第十代病院長に就任
	4月	佐野 輝 第八代病院事業管理者に就任

3. 病 院 の 現 況

(1) 診 療 科 目 33科

内科 糖尿病・内分泌内科 血液・膠原病内科 腎臓内科 脳神経内科 消化器内科
循環器内科 呼吸器内科 腫瘍内科 リウマチ科 小児科 新生児内科 精神科 放射線科
消化器外科 心臓血管外科 呼吸器外科 乳腺外科 小児外科 整形外科 形成外科
脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科
歯科 歯科口腔外科 麻酔科 救急科 病理診断科

(2) 許 可 病 床 数 574床

一般病床 568床
感染症病床 6床

病床数の推移（年月は実施時）

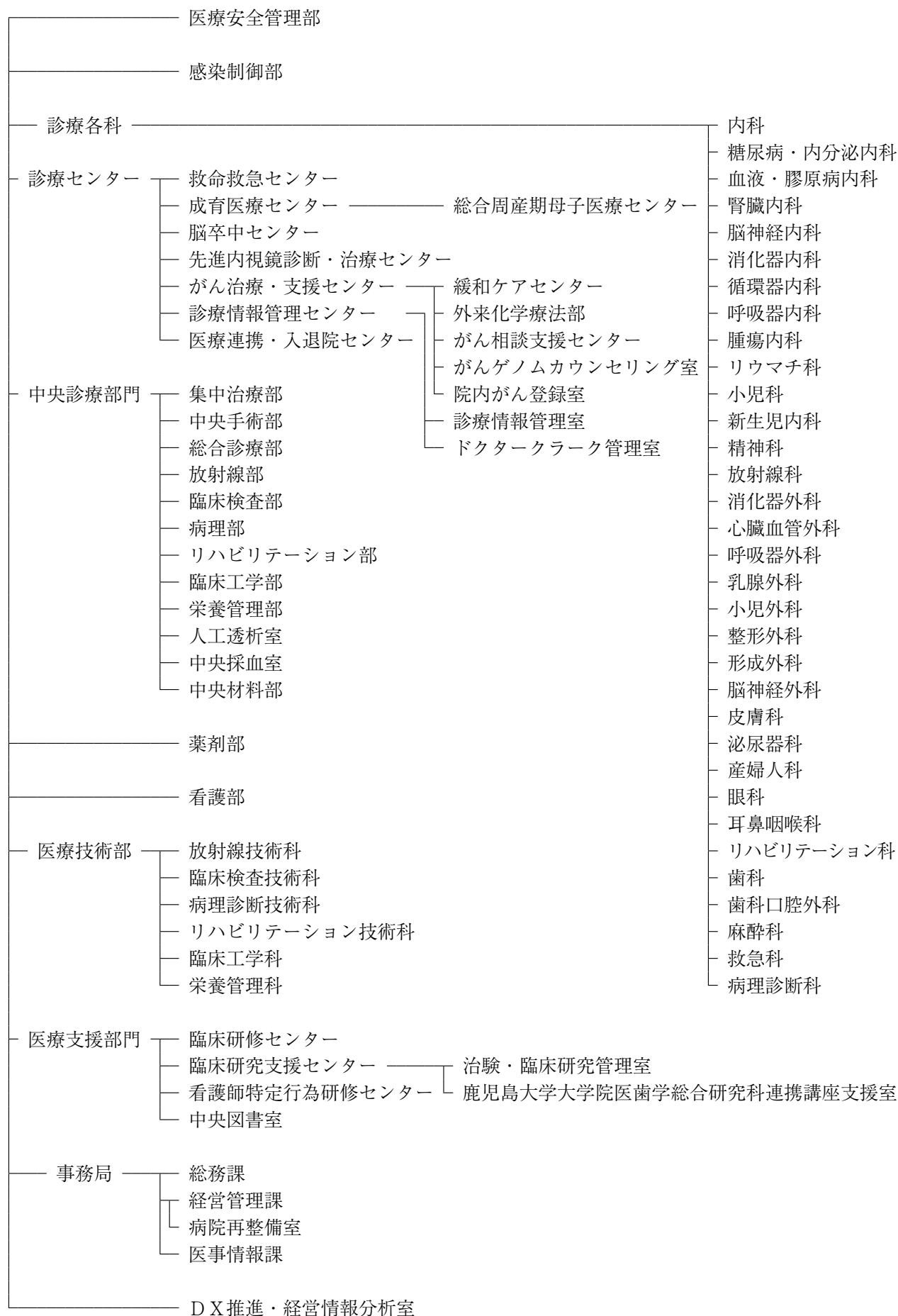
年・月	増減	増減後	内 訳	備 考
S 15. 4		約 20		市立診療所
21. 9		約 50		病棟2棟完成
23.10		160	一般160床	加治屋町に新設移転
25.10		104	一般 80床, 結核 24床	
26. 6	19	123	一般 91床, 結核 32床	
27. 5	73	196	一般 91床, 結核105床	結核患者の増に対応
27. 9	14	210	一般105床, 結核105床	
29.12	66	276	一般105床, 結核171床	
30. 2	14	290	一般135床, 結核155床	
32. 9	24	314	一般159床, 結核155床	
33.12	△12	302	一般164床, 結核138床	
36. 3	58	360	一般222床, 結核138床	
38. 1	—	360	一般260床, 結核100床	結核病床38床を一般病床へ
38. 4	20	380	一般260床, 結核100床, 産院20床	
43. 3	30	410	一般290床, 結核100床, 産院20床	頭部外傷救急センター 30床
46. 3	60	470	一般350床, 結核100床, 産院20床	頭部外傷救急センター 20床 がん診療施設 40床
48.10	—	470	一般410床, 結核 40床, 産院20床	結核病床60床を一般病床へ
53.11	40	510	一般450床, 結核 40床, 産院20床	新生児センター 40床
54. 4	20	530	一般470床, 結核 40床, 産院20床	分娩センター 20床
54.11	11	541	一般481床, 結核 40床, 産院20床	I C U 9床, C C U 2床 11床
56. 4	20	561	一般501床, 結核 40床, 産院20床	新生児センター 20床
58. 5	50	611	一般551床, 結核 40床, 産院20床	小児科病棟 50床
60. 1	30	641	一般581床, 結核 40床, 産院20床	救命救急センター 30床
H 3. 4	20	661	一般601床, 結核 40床, 産院20床	救命救急センター後方ベッド 20床
6. 4	20	681	一般601床, 結核 40床, 伝染20床 産院 20床	伝染病棟を併設 20床
11. 4	△14	667	一般601床, 感染症 6床, 結核40床 産院 20床	伝染病床廃止, 感染症病床 6床設置
12.10	20	687	一般621床, 感染症 6床, 結核40床 産院 20床	新生児センター 20床
22. 4	—	687	一般641床, 感染症 6床, 結核40床	市立産院20床を廃止し, 一般病床を20床増床
27. 5	△113	574	一般568床, 感染症 6床	新病院移転開院に伴い, 結核40床を廃止, 一般病床を73床減床

(3) 医師研修施設等指定の現状

救命救急センター
総合周産期母子医療センター
脳卒中センター
小児救急医療拠点病院
救急告示病院
地域がん診療連携拠点施設（高度型）
日本がん治療認定医機構認定研修施設
基幹災害拠点病院
DMAT指定病院
鹿児島県ドクターヘリ事業基地病院
鹿児島市高度救急隊（ドクターカー）事業基地病院
厚生労働省臨床研修指定病院
日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本救急医学会救急科指導医指定施設
日本航空医療学会認定指定施設
外国医師・外国歯科医師臨床修練指定病院
日本内科学会教育関連病院
病態栄養専門医研修認定施設
日本腎臓学会認定研修施設
日本透析医学会教育関連施設
日本神経学会教育施設
日本感染症学会認定研修施設
日本呼吸器学会連携施設
日本呼吸器外科専門医合同委員会認定関連施設
日本血液学会専門医研修施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本認知症学会専門医教育施設
日本消化器内視鏡学会指導施設
消化器がん検診精密検査医療機関
日本循環器学会循環器専門医研修施設
日本心血管インターベーション学会研修施設
日本不整脈心電学会研修施設
日本高血圧学会研修施設
日本動脈硬化学会研修施設
日本心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設
胸部ステントグラフト実施施設
腹部ステントグラフト実施施設
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術実施施設
日本小児科学会専門医制度研修施設
日本外科学会専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本肝臓病学会認定施設
日本肝胆膵外科高度技能専門医修練施設B
日本消化器病学会認定施設
日本整形外科学会認定医制度研修施設
日本形成外科学会専門医研修施設
日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設
一次脳卒中センター
一次脳卒中センターコア
日本脳神経血管内治療学会研修施設

日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設
 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
 日本頭痛学会認定研修教育施設
 日本小児外科学会専門医制度認定施設
 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
 日本皮膚科学会認定乾癬分子標的薬使用承認施設
 日本泌尿器科学会専門医教育施設
 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設（専門研修基幹施設）
 日本婦人科腫瘍学会専門医研修施設
 日本女性医学学会専門医制度認定研修施設
 生殖医療専門医制度研修連携施設
 母体保護法研修指定医療機関
 日本周産期・新生児専門医制度(母体・胎児専門医)基幹研修施設
 日本周産期・新生児医学会専門医制度(新生児専門医)基幹研修施設
 日本眼科学会専門医制度研修施設
 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
 日本放射線腫瘍学会認定協力施設
 日本口腔外科学会認定研修施設
 日本有病者歯科医療学会認定研修歯科診療施設
 歯科医師臨床研修施設
 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
 日本麻酔科学会麻酔指導病院
 日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設
 日本ペインクリニック学会ペインクリニック専門医指定研修施設
 日本病理学会認定病院
 日本臨床細胞学会認定施設
 薬学教育協議会薬学生実習受入施設
 鹿児島大学医学部保健学科理学療法士臨床実習指定病院
 日本乳癌学会専門医制度関連施設
 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会乳房再建用エキスパンダー／
 インプラント実施認定施設（一次一期・一次二期・二次再建すべて）
 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研究施設
 日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修施設
 日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設（基幹施設）
 日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師研修施設（基幹施設）
 日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設（基幹施設）
 日本緩和医療薬学会緩和医療専門薬剤師研修施設
 日本緩和医療薬学会地域緩和ケアネットワーク研修施設
 薬学教育協議会薬学生実務実習受入施設
 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
 特定行為研修指定研修機関
 日本胆道学会認定指導施設
 日本ＩＶＲ学会専門医訓練施設
 日本食道学会食道外科専門医準認定施設
 日本胃癌学会認定施設B
 日本リウマチ学会認定教育施設
 日本臨床神経生理学会認定教育施設
 日本リハビリテーション医学会研修施設
 日本膀胱学会認定指導施設

(4) 病院組織図（令和8年4月1日）



(5) 職 員 数

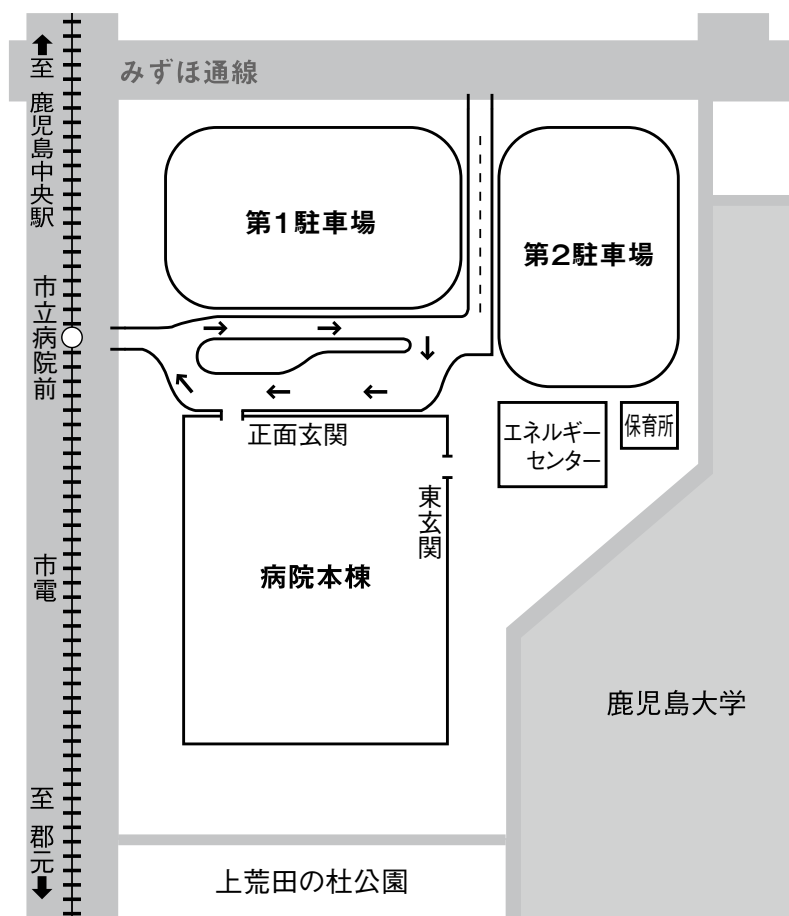
毎年度4月1日現在（実人員数）

（単位：人）

職 種	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
		実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	定 数	対定数
医 師		139	142	139	138 (139)	136	150	△14
助産師，看護師 准看護師		587 (618)	591 (630)	609 (649)	632 (667)	648 (687)	675	△27 (12)
放 射 線 技 師		26 (28)	29 (30)	32 (33)	35 (37)	34 (37)	37	△ 3
臨 床 検 査 技 師		29 (31)	33	35 (38)	40 (42)	40 (43)	44	△ 4 (△ 1)
薬 剤 師		38 (39)	39	39 (41)	37 (40)	40 (44)	48	△ 8 (△ 4)
理 学 療 法 士， 作 業 療 法 士， 言 語 聴 覚 士		20	27 (28)	31	31 (32)	30 (31)	32	△ 2 (△ 1)
臨 床 工 学 技 士		12 (13)	11 (12)	16	19	18 (19)	19	△ 1
歯 科 衛 生 士， 歯 科 技 工 士		3	2 (3)	3	2 (3)	3	3	
視 能 訓 練 士		2	2	1 (2)	2	2	2	
栄 養 士		4 (5)	5 (6)	6 (7)	7	9	8	1
医療ソーシャルワーカー		11	14	17	17	17	17	
診療情報管理士		1	1	1	1	2	2	
救 急 救 命 士				2	2	4	4	
事務・技術職員		49 (50)	57	63 (64)	62 (65)	61 (62)	60	1 (2)
技能労務職員		0	0	0	0	0	0	
合 計		921 (960)	953 (997)	994 (1,043)	1,025 (1,073)	1,044 (1,096)	1,101	△57 (△ 5)

（ ）内は休職者，育児休業者を含めた人員

(6) 建物等配置図



(7) 施設の概要

所在地 鹿児島市上荒田町37番1号
敷地及び建物 敷地面積 44,631.81㎡
建物面積 52,888.31㎡（延べ面積）

棟別内訳

棟区分	規模	延べ面積 (㎡)	竣工年月
病院本棟	地上8階 塔屋1階	49,340.03	H27. 2
エネルギーセンター	地下1階 地上3階	2,551.82	H27. 1
保育所	地上2階	521.32	H27. 1
マニユホールド室・ポンプ室	地上1階	96.80	H27. 1
ドクヘリポンプ室	地上1階	9.08	H27. 2
駐輪場（外来用）	地上1階	120.00	H27. 2
駐輪場11棟（職員用）	地上1階	249.26	H27. 1
合計		52,888.31	

駐車場

第一駐車場	外来患者，見舞客用	収容台数	277台
第二駐車場	外来患者，見舞客用	収容台数	306台
その他	公用，不規則勤務者等用		77台

(8) 建物別各階配置図

病院本棟

ヘリポート階		
機械室	P H階	第3電気室, 機械室
8階北病棟 耳鼻咽喉科, 眼科 呼吸器内科, 歯科口腔外科 皮膚科	8階	8階南病棟 腎臓内科 呼吸器内科, 血液・膠原病内科 機長・整備士待機室
7階北病棟 整形外科, 形成外科 救急科	7階	7階南病棟 循環器内科, 心臓血管外科 呼吸器外科 糖尿病・内分泌内科, 救急科
6階北病棟 消化器内科, 腫瘍内科, 腎臓内科 泌尿器科, 放射線科	6階	6階南病棟 消化器外科, 消化器内科
5階北病棟 【成育医療センター】 小児科, 小児外科	5階	5階南病棟 脳神経外科, SCU 脳神経内科 リハビリテーション部 機械室
4階北病棟 婦人科, 乳腺外科, 泌尿器科 腫瘍内科, 脳神経内科 医局, 当直室, 院内学級	4階	4階南病棟 【成育医療センター】 産科, MFICU, LDR NICU, GCU
中央手術部 無菌手術室1室…クラス100 手術室10室…クラス10,000 麻酔科(ペインクリニック) 処置室 臨床工学部, 医局, 当直室, 更衣室 第2電気室, 機械室	3階	ICU(16床), 救急病棟(24床) 当直室, 機械室 人工透析室, 高気圧酸素治療室
診療部門 E: 婦人科, 産科 F: 泌尿器科, 婦人科, 乳腺外科 G: 形成外科, 皮膚科, 心臓血管外科 H: 歯科, 歯科口腔外科 I: 小児科, 小児外科, 新生児内科 外来化学療法部, 病理部, 検体検査 臨床検査部 (超音波, 心エコー, 脳波, 心電図) 更衣室, 機械室	2階	中央材料室, 薬剤部(調剤室, 製剤室) 栄養管理部(厨房, 栄養管理室) 物流センター, 洗濯室, リネン庫, 特定行為 研修センター, 看護部長室, 副看護部長室 医療安全管理部, 臨床研究支援センター 感染制御部, 電話交換室, 診療情報管理室 院内がん登録室, 緩和ケアセンター 事務局(総務課, 経営管理課, 病院再整備室 医事情報課情報管理係) 大会議室, 中会議室1(災害対策室) 中会議室2, 中会議室3, 中央図書室 中会議室5(入札室), 更衣室, 職員食堂 サーバー室, UPS室, 機械室
診療部門 A: 内科(総合内科), 呼吸器内科 糖尿病・内分泌内科 血液・膠原病内科, 循環器内科 B: 消化器内科, 腎臓内科, 腫瘍内科 メンタル外来, 放射線科, 麻酔科(ペインクリニック) 消化器外科, 呼吸器外科 C: 整形外科, 脳神経外科, 脳神経内科 D: 眼科, 耳鼻咽喉科 内視鏡部, 中央採血室, 点滴室 総合案内, 自動精算機, 再来受付機 処方せんFAXコーナー 売店, レストラン, 自販機コーナー 防災センター, 機械室, 授乳室	1階	救命救急センター, 救急控室・通信室 画像診断(X線, X線TV, マンモグラフィ 骨密度測定, 結石破碎, CT, MRI, 血管撮影, 心臓血管撮影) 核医学(RI)検査(SPECT-CT, PET-CT) 放射線治療(リニアック, アフターローディング) 総合受付, 総合待合, ラウンジ 事務局(医事情報課医事係) 入退院センター(入院支援室, 術前支援室) 入退院受付, 医療連携室, お薬相談窓口 患者相談窓口, 図書コーナー, 情報コーナー 入院セット受付, 多目的ホール 災害備品倉庫, 霊安室, ごみ庫, 機械室 がん相談支援センター 医療相談室
免震階		

エネルギーセンター

3階	カルテ庫
2階	特高電気室, 第1電気室, 発電機室, 機械室
1階	熱源機械室, ボイラー室, 排水処理室, 消火ポンプ室, R I 排水処理室
地階	ポンプ置場, 配管ピット, 蓄熱槽, 雑用水槽, ボイラー排水槽

院内保育所

2階	休憩室, 更衣室
1階	院内保育所

(9) 建物設備概要

- 昇 降 機 設 備
 - ・エレベーター 寝台用4基, 乗用5基, 配膳用1基, 人荷用6基
ドクヘリ用1基
 - ・エスカレーター 乗用2基
 - ・ダムウエーター 医療材料搬送用2基, 配膳用1基
- 搬 送 設 備
 - ・エアシューター 1系統
- 電 気 設 備
 - ・受 変 電 設 備 特別高圧受電(22kV) スポットネットワーク方式
変圧器3,000kVA (22kV/6.6kV) 3台
 - ・非常用発電設備 3φ3W 6.6kV 1,000kVA ディーゼル式 2台
 - ・無停電電源設備 150kVA 3台(内1台予備)
 - ・太陽光発電設備 20kW
- 衛 生 設 備
 - ・上 水 受水槽 190t
 - ・雑 用 水 (トイレの洗浄水, 汚物流し, 散水等) 受水槽 210t
 - ・給 湯 中央式貯湯槽 5,500L×3台, 予熱槽 5,500L×1台
 - ・排 水 汚水, 雑排水, 検査系・感染系排水, ボイラー排水, R I 排水
 - ・ガ ス 都市ガス
- 空 調 設 備
 - ・空調方式 ファンコイルユニット+単一ダクト全外気方式
空気熱源マルチ型エアコン+単一ダクト全外気方式
 - ・冷温熱源 ターボ冷凍機 450USRT×2台
貫流ボイラー 2,000kg/h×4台
重 油 タ ン ク 30kL×3基(非常用発電設備用と兼用)
- 太陽熱集熱設備
 - ・真空管型集熱器 60枚 計161m²
- 医療ガス設備
 - 酸素, 笑気, 吸引, 圧縮空気, 窒素, 炭酸ガス, 余剰ガス除去
- 消 防 設 備
 - ・スプリンクラー設備(補助散水栓含)
 - ・連結送水管
 - ・不活性ガス消火設備(窒素ガス)
 - ・粉末消火設備
 - ・自動火災報知設備
 - ・ガス漏れ火災警報設備
 - ・非常放送設備
 - ・排煙設備
 - ・誘導灯設備
 - ・防火設備(防火扉, 防火シャッター)
 - ・避難器具設備(垂直型救助袋, 斜降型救助袋, 避難はしご)

(10) 医療安全管理部

当院の基本理念「安心安全な質の高い医療の提供」の基盤である医療安全の確保に向けた取り組みを推進していく部門として、平成19年4月に医療安全対策室を設置した。患者の立場に立ち医療事故の発生や再発を防止し、「安心・安全な医療」を提供するとともに「医療の質」を確保することを基本理念として、組織横断的に活動している。

医療安全管理部では、医療現場でのインシデント・アクシデント報告を集約し、情報収集・分析・対策・評価および各部署への支援、医療事故に関する原因の究明と再発防止策の策定及びその周知、医療安全に関する職員への教育・研修の企画立案等に取り組み、医療安全管理委員会やリスクマネジメント委員会と連携を図っている。また、医療安全相談員、院内保安指導員が所属しており、患者や家族からの相談や苦情要望に対して適切に対応する体制を整備し、院内の秩序保持、患者・家族、職員などの安全確保に努めている。令和5年4月より部へ昇格させた。

(11) 感染制御部

平成27年4月、院内における感染を制御し、地域の医療機関とも連携して院内感染や感染症対策を行なうために前身の感染対策室を設置した。感染制御部は、感染対策の実働部隊である感染対策チーム（Infection Control Team; ICT）や抗菌薬適正使用支援チーム（Antimicrobial Stewardship Team: AST）のメンバーとして活動する、あるいはその活動を支援するとともに、院内感染対策の方針を決定する感染対策委員会の開催をはじめ、院内感染対策への理解を深めることを目的とした講習会を開催するなどの取組を行っている。

感染対策にかかわるこれらチームは、感染対策医師（Infection Control Doctor; ICD）、専従感染管理認定看護師、抗菌化学療法認定薬剤師、認定臨床微生物検査技師などで構成され、院内の感染対策だけでなく、他医療機関とのカンファレンスを開催、また参加することを通じて地域の感染対策の基幹的な役割を担う活動にも取り組んでいる。令和5年4月より部へ昇格させた。

(12) D X推進・経営情報分析室

病院D Xを推進・加速するため、令和6年4月にD X推進室を設置し、令和7年4月に院内D X及び経営情報の分析体制強化のため、D X推進・経営情報分析室へと再編成した。

(13) 診療センター・中央診療部門

ア 救命救急センター

昭和43年4月交通外傷の診療のために設置された頭部外傷救急センターを発展させ、昭和60年1月に救命救急センターを設置した。現在では、交通外傷を含む外傷、心肺停止、中毒、熱傷などの救急疾患をはじめ、脳卒中、心筋梗塞・心不全、消化管穿孔・出血、小児救急、新生児を含めた産科救急などの二次、三次救急医療に24時間365日体制であたっている。診療体制として、救急科、脳卒中診療チーム、循環器内科、小児科、産婦人科、新生児内科などの多くの医師や放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士が院内に常駐し、また、それを支援する救急病棟、ICU、SCU、MFICU、NICUを備えている。

平成23年12月から鹿児島県の委託事業であるドクターヘリを、また、平成26年10月からは鹿児島市の委託事業であるドクターカーをそれぞれ基地病院として運用している。ドクターヘリは毎日日勤帯、ドクターカーは、土日・祝日以外は午前8時30分から午後10時まで、土日・祝日は午前8時30分から午後5時15分まで運用している。

厚生労働省による当院救命救急センターの充実度段階評価はS評価で、九州の35救命救急センターのうち2位である。

イ 成育医療センター

昭和51年の「五つ子誕生」を契機に、昭和53年新生児センターを新設し、分娩センター、母子保健指導室とあわせて、昭和53年11月周産期医療センターを設置した。その後、鹿児島県より平成19年総合周産期母子医療センター、平成23年小児救急拠点病院の指定を受けた。平成27年5月新病院新築移転時に、妊婦および新生児に加え、小児の健康を守り成長を支援する目的で小児病床も合わせて、成育医療センターとして統合した。さらに、令和2年4月心臓血管外科に小児心臓外科部門を開設した。

現在、新生児内科はNICU 36床、GCU 35床の計71床、産科はMFICU 6床を含む39床、小児科・小児外科・小児心臓外科36床で運用している。

ウ 脳卒中センター

平成20年1月脳卒中センターを設置して脳神経外科を中心に診療に当たっていたが、平成31年4月鹿児島大学病院脳神経内科より脳卒中専門医が派遣され脳神経外科と協力して、超急性期の脳梗塞に対してt-PA血栓溶解療法、カテーテルによる脳血管内治療である血栓回収療法を行っている。令和2年10月SCUを3床から6床に増床し、脳卒中センターは県下の脳卒中専門医育成のための役割も担っている。

エ 先進内視鏡診断・治療センター

平成29年4月、手術支援ロボット「ダヴィンチ」の導入を機に、消化器内視鏡や呼吸器内視鏡による診断・治療、腹腔鏡や胸腔鏡などを用いた手術など高度専門化している内視鏡を用いた診断や治療をさらに推進するために、先進内視鏡診断・治療センターを設置した。消化器内科、消化器外科、呼吸器内科、呼吸器外科、泌尿器科、産婦人科などの多くの診療科が、光学診療部、手術部、放射線部などで診療を行なっている。

当センターは最先端の内視鏡、腹腔鏡、胸腔鏡、外視鏡システムなどの機器整備をすすめ、令和3年には2台目の「ダヴィンチ」を導入し、資格認定の施設としても役割を果たしている。

オ がん治療・支援センター

当院は、消化器、呼吸器、血液、泌尿器、乳腺、婦人科（子宮や卵巣）など多くの領域のがんに対して、診断や治療（薬物治療、放射線治療、内視鏡治療、手術）ができる体制が整っており、令和2年4月地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、同年10月には外来化学療法部の病床を15床から県下最大規模の22床に増床した。

令和3年4月、がんに対する包括的・総合的な診療を推進するため、外来化学療法部を中心に、緩和ケアセンター、がん相談支援センター、がんゲノムカウンセリング室、院内がん登録室をあわせて、がん治療・支援センターを設置した。

カ 診療情報管理センター

令和2年4月、電子カルテの適切な記載や運用、DPCにおけるコーディングなど診療情報の適切な管理を目的とした診療情報管理室と、医師の指示のもと診療情報に関わるドクタークラーク管理室をあわせて、診療情報管理センターを設置した。

キ 医療連携・入退院センター

平成19年4月、地域の医療機関や社会福祉施設と連携して患者支援をする目的で設置された医療連携室を発展させ、平成27年5月新病院開院時に患者の入退院を支援するために医療連携・入退院センターとした。令和元年8月より手術目的の患者の入院前支援のために術前支援室をセンター内に設置した。術前支援室による患者の入院前支援は、消化器外科入院患者からスタートし、徐々に診療科を拡大し、現在では多くの診療科が利用している。

医療連携・入退院センターは、国のめざす医療機能の分化・強化、および地域包括ケアシステムの実現のために極めて重要な組織であるだけでなく、患者にとっては入院から退院までスムーズな支援が得られる大きなメリットがある。そのため、センターはスペース的にも職員数も拡大している。平成29年からは医療ソーシャルワーカーを職員として採用し、現在、17名まで増員して、スムーズな地域連携、入退院システムを目指している。

(14) 医療支援部門

ア 臨床研究支援センター

平成28年4月倫理的な問題も含め臨床試験や臨床研究が適正に行なわれるために治験・臨床研究管理室を設置した。平成28年3月当院の医師などの学術研究推進と高度医療人育成のために鹿児島大学大学院医歯学総合研究科連携講座が設置され、治験・臨床研究管理室とあわせて臨床研究支援センターとした。

臨床研究支援センターには、多くの診療科が多くの臨床治験や臨床試験を申請し、治験および臨床研究審査や製造販売後調査等審査委員会を開催して審査しているほか、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科に大学院生が在籍し、当院職員でもある客員教授の指導を受け、現在まで医学博士5名、医学修士3名が課程を修了して学位を取得した。

イ 看護師特定行為研修センター

令和3年4月看護師の資質向上及び医師の負担軽減を図ることを目的として医師の指示が記載された文書等を基に、医師の判断を待たず、国が定める一定の診療の補助を行うことができる看護師を育成するための研修を開始した。

(15) 院内の各種委員会活動状況

名 称	所 掌 事 項	令和7年度 開催回数	担当課
四役会議 (現：病院事業管理 運営会議)	(1) 病院運営に関する理念・基本方針に関すること。 (2) 特に当面する重要案件に関すること。 (3) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項に関すること。	14	総務課
運営会議 (現：廃止)	(1) 病院運営に関する理念・基本方針に関すること。 (2) 予算及び組織編成等の基本的な方向性に関すること。 (3) 中・長期経営計画等事業計画の基本方針に関すること。 (4) 特に当面する重要案件に関すること。 (5) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項に関すること。	3	総務課
経営戦略本部会議	(1) 病院の経営戦略の企画及び総合調整に関すること。 (2) 診療実績及び経営概況等、病院の経営分析に関すること。 (3) 病院事業経営計画の策定及び推進に関すること。 (4) その他設置目的を達成するために必要な事項に関すること。	12	経営管理課
各科責任者会議	(1) 管理運営に関する基本的方針等の説明、伝達に関すること。 (2) 各科の責任者から提出された提案、要望及び意見等に関すること。 (3) 懸案事項等のうち特に各科責任者会議において協議すべき事項に関すること。 (4) その他設置目的を達成するために必要な事項に関すること。	13	総務課
業務改善委員会	(1) 院内の事務及び業務の改善に関すること。 (2) 効率化のための施策の検討及び実施に関すること。 (3) 懸案事項等のうち特に連絡又は協議すべき事項に関すること。 (4) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項に関すること。	2	総務課
保育所運営委員会	(1) 院内保育所の入所定員に関すること。 (2) 院内保育所の利用基準に関すること。 (3) その他院内保育所の運営に関すること。	1	総務課
利便施設等検討委員会	(1) 駐車場の使用基準及び運用等に関すること。 (2) 売店、食堂及び自動販売機など利便施設の運営等に関すること。 (3) その他管理者が必要と認める事項	5	総務課
職員試験委員会	鹿児島市立病院職員を採用又は昇任する為の試験の実施に関すること。	12	総務課
職員表彰審査委員会	職員表彰者の選考及び表彰に関する重要事項の審査に関すること。	4	総務課
職員の分限及び 懲戒審査委員会	職員の分限及び懲戒について事実の調査並びに処分の種別、程度等の 審議に関すること。	3	総務課
倫理委員会	鹿児島市立病院が行う医療行為及び人間を直接の対象とした医学の研 究について、ヘルシンキ宣言の趣旨に照らして検討し審査すること。	5	総務課
臓器移植委員会	臓器の移植に関する法律に基づく臓器移植を適正かつ円滑に行うた めに必要な事項に関すること。	1	総務課
脳死判定委員会	(1) 脳死判定により生ずる本人への効果、不利益及び危険性 (2) 脳死判定の対象となる本人の家族に理解を求めかつ同意を得る方法 (3) 医学上の貢献及び社会への貢献の予測	0	総務課
治験及び臨床研究審査 委員会	(1) 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する 法律」、「医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令（GCP省令）」 及び「GCP省令関連通知」を遵守して行う、治験（医師主導治験含 む。）及び製造販売後臨床試験の実施に関すること。 (2) 「ヘルシンキ宣言」、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関す る倫理指針」の主旨に沿って行う、研究の実施に関すること。	11	治験・臨床 研究管理室
製造販売後調査等審査 委員会	「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法 律」、「医薬品の製造販売後の調査及び試験の実施の基準に関する省令」 及び「医療機器の製造販売後の調査及び試験の実施に関する省令」を遵 守して行う、製造販売後調査等の実施に関すること。	11	薬剤部 (治験・ 臨床研究 管理室)
放射線安全委員会	放射線障害防止について必要な事項を企画審議	1	放射線 技術科
放射線部運営委員会	(1) 放射線部門の運用に関する基本的事項 (2) 放射線部門検査項目に関する事項 (3) 放射線部門機器に関する事項 (4) 放射線部門業務の改善に関する事項 (5) その他前条の目的を達成するために必要な事項	2	放射線 技術科
特定放射性同位元素防 護委員会	特定放射性同位元素の盗取の防止を審議する。	1	放射線 技術科

名 称	所 掌 事 項	令和7年度 開催回数	担当課
医療放射線安全管理委員会	(1) 診療用放射線の安全利用に関する基本的考え方 (2) 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全利用のための研修に関すること。 (3) 診療用放射線の安全利用を目的とした改善のための方策に関すること。 (4) 放射線の過剰被ばくその他の放射線診療に関する事例発生時の対応に関すること。 (5) 医療従事者と患者間の情報共有に関すること。	1	放射線技術科
安全衛生委員会	(1) 安全衛生に関する企画、調査及び研究に関すること。 (2) 安全衛生思想の普及及び教育に関すること。 (3) 作業条件、施設等の安全衛生上の保全及び改善に関すること。 (4) 災害の予防及び対策等に関すること。 (5) その他安全衛生に関すること。	12	総務課
医療安全管理委員会	(1) 医療安全確保のための指針の制定、改廃に関すること。 (2) 医療安全確保のためのマニュアル類の作成、改廃に関すること。 (3) インシデント・アクシデント事例の原因の分析並びに事故防止策の検討 (4) 医療安全管理部及び医療安全管理部が統括する委員会・ワーキンググループからの報告事項に関すること。 (5) 医療安全対策についての職員への周知、研修の実施に関すること。 (6) 院内で定められたマニュアル、手順書などの遵守状況を確認するための内部監査に関すること。 (7) その他医療安全確保のために必要があると委員長が認めた事項に関すること。	12	医療安全管理部
医療安全調査委員会	(1) 案件についての関係者、専門家等からの意見聴取 (2) 原因や背景の調査、究明 (3) その他調査のために必要があると委員長が認める事項	4	医療安全管理部
(院内)医療事故調査委員会	(1) 案件についての関係者、専門家等からの意見聴取 (2) 原因や背景の調査、究明 (3) 報告書作成 (4) 遺族への説明、対応 (5) その他調査のために必要があると委員長が認める事項	0	医療安全管理部
医療安全緊急対策委員会	(1) 案件についての関係者からの事情聴取、専門家からの意見聴取 (2) 対応方針、具体的対応策の検討 患者・家族への対応、関係機関等への提出または報告、マスコミへの公表等 (3) その他案件の解決のために必要があると委員長が認めた事項	0	医療安全管理部
リスクマネジメント委員会	(1) 医療安全管理委員会において決定した事故防止及び安全対策に関する事項の各自の部署への周知徹底 (2) 部署における医療事故防止や安全問題、業務の改善方法についての提言	3	医療安全管理部
感染対策委員会	(1) 感染防止のための調査、研究に関すること。 (2) 感染源の追求および除去に関すること。 (3) 感染防止に関し必要と思われること。 (4) 抗菌薬適正使用のための調査、研究に関すること。 (5) 抗菌薬適正使用に関し必要と思われること。 (6) 感染症診療全般に関すること。 (7) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項	12	総務課
医療機器安全管理委員会	(1) 医療機器の保守点検に伴う計画の作成及び具体的指導に関すること。 (2) 医療機器の安全使用に関する情報収集と改善のための方策の実施に関すること。 (3) 職員に対する医療機器の安全管理に関する研修実施に関すること。 (4) 医療機器の計画的な購入についての助言及び機種を選定に関すること。	1	臨床工学科
医薬品安全管理委員会	(1) 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び見直し (2) 院内で定められたマニュアル、手順書などの遵守状況を確認するための内部監査 (3) 医薬品の安全使用のために必要な情報収集と改善のための方策の実施 (4) 職員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施	2	薬剤部

名 称	所 掌 事 項	令和7年度 開催回数	担当課
医療ガス安全・管理委員会	医療ガスの設備及びその取扱いについて、事故防止上必要な措置を講ずるとともに、これらに関する知識、技術の普及啓蒙に務め、もって本院医療体制の安全を確保すること。	1	総務課
医療材料物流委員会	(1) 使用医療材料の選定及び見直しに関すること。 (2) 使用医療材料の物流及び管理に関すること。 (3) 使用医療材料の有効性及び効率的運用に関すること。 (4) その他医療材料に関して必要と認めること。	4	経営管理課
備品選定委員会	(1) 鹿児島市立病院固定資産管理規程第2条第2号に規定する有形固定資産のうち車両運搬具並びに耐用年数1カ年以上かつ予定価額800,000円以上の機械及び備品（以下「医療器械等」という。）、又は委員長が特に必要と認める医療器械等について、機種及び当該機種の発注に係る指名競争入札参加者の選定に関すること。 (2) 試薬の選定に関すること。 (3) 予定価格800,000円以上の随意契約に関すること。	2	経営管理課
薬事委員会	(1) 使用医薬品の選定に関すること。 (2) 使用医薬品の適正な管理に関すること。 (3) 医薬品の情報交換に関すること。 (4) その他薬事に関して必要と認めること。	4	経営管理課
臨床検査部病理部運営委員会	(1) 臨床検査部病理部「運用」に関すること。 (2) 臨床検査項目に関すること。 (3) 検査試薬に関すること。 (4) 検査項目の正常値及び基準値に関すること。 (5) 精度管理に関すること。 (6) その他臨床検査に必要な事項に関すること。	6	臨床検査 技術科 病理診断 技術科
建設工事等指名競争入札参加者選定委員会	鹿児島市立病院が発注する建設工事の請負契約並びに建設工事に付帯する測量、調査及び設計の業務の契約に係る指名競争入札（入札の参加者を公募する指名競争入札を除く。）参加者の選定に関すること。	1	経営管理課
業務委託指名競争入札参加者選定委員会 (現：事務局業務委託等 契約業者選定委員会 に統合)	鹿児島市立病院が発注する業務（建設工事に付帯する測量、調査及び設計の業務を除く。）委託契約に係る指名競争入札参加者の選定に関すること。	0	経営管理課
物品購入等指名競争入札参加者選定委員会	鹿児島市立病院が発注する物品の購入（鹿児島市立病院備品選定委員会において審議される物品を除く。）又は修繕、製造の請負、その他の契約（工事請負、工事に付帯する契約及び業務の委託契約を除く。）に係る指名競争入札参加者の選定並びに物品購入に係る機種の選定に関すること。	0	経営管理課
中央手術部運営委員会	中央手術部の円滑な運営を図るために必要な事項に関すること。	6	総務課
救命救急センター運営委員会	(1) 救命救急センターの運営に関する基本的事項 (2) 病院内の協力体制の確立に関する事項 (3) 地域医療機関との連携体制に関する事項 (4) 災害の救護及び受け入れ体制に関する事項 (5) 病院長が諮問した事項 (6) その他、センター運営に関し、委員長が必要と認める事項	6	救急科
院内救命士メディカルコントロール委員会	(1) 重症傷病者が到着し入院するまでの間に実施する救急救命処置の範囲の決定及び周知 (2) 救急救命処置を指示する医師の決定及び周知 (3) 救急救命士が実施した救急救命処置の診療録 (4) 救急救命士が実施した救急救命処置の検証 (5) 救急救命士による救急救命処置の実施状況に関する定期的な検証 (6) 救急救命士が受講する研修の実施及び管理 (7) タスクシフトを推進するための救急救命処置以外の業務 (8) その他、救急救命士を運用する場合に必要と考えられる事項	4	救急科
集中治療部運営委員会	(1) 集中治療部の運用基準に関すること。 (2) 集中治療部の利用状況の把握と分析に関すること。 (3) 集中治療部の運営上の懸案事項に関すること。 (4) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項	4	医事情報課

名 称	所 掌 事 項	令和7年度 開催回数	担当課
病床・外来管理委員会	(1) 病床の活用及び管理に関すること。 (2) 病床利用に関する取扱い基準に関すること。 (3) 病床利用状況の把握に関すること。 (4) 病床利用率及び平均在院日数の分析に関すること。 (5) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項	0	医事情報課
総合周産期母子医療 センター運営委員会	(1) センターの運営基準に関すること。 (2) センターの利用状況の把握と分析に関すること。 (3) センターの運営上の懸案事項に関すること。 (4) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項に関すること。	1	医事情報課
成育医療センター運営 委員会	(1) センターの運営基準に関すること。 (2) センターの利用状況の把握と分析に関すること。 (3) センターの運営上の懸案事項に関すること。 (4) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項	0	医事情報課
栄養管理部運営委員会	(1) 栄養業務の計画に関すること。 (2) 栄養業務の改善に関すること。 (3) 栄養業務の調査に関すること。 (4) 補助食品等の採用に関すること。 (5) その他栄養業務に関すること。	2	栄養管理科
栄養サポートチーム (NST)委員会	(1) 栄養不良患者の抽出、評価及び治療方針に関すること。 (2) 栄養療法に関する調査、研究に関すること。 (3) その他必要な事項に関すること。	2	栄養管理科
緩和ケアセンター運営 委員会	(1) がん患者とその家族の支援に関する知識と技術の取得に関すること。 (2) 緩和ケアを必要とするがん以外の患者とその家族の支援に関する知識と技術の取得に関すること。 (3) 緩和ケアの実践に関すること。 (4) その他、設置目的を達成するために必要な事項	1	医事情報課
化学療法委員会	(1) 化学療法の標準治療に関すること。 (2) 化学療法の環境・設備に関すること。 (3) 化学療法の運用・管理に関すること。 (4) レジメンの管理に関すること。 (5) 化学療法実施に関するマニュアル及び手順書に関すること。 (6) その他、委員会が必要と認めた事項	6	医事情報課
輸血療法委員会	(1) 輸血の管理体制に関すること。 (2) 輸血実施の際の手続き及び輸血同意書に関すること。 (3) 院内採血の基準や自己血輸血の実施方法に関すること。 (4) 輸血に伴う事故、副作用及び合併症対策に関すること。 (5) 輸血療法適応の問題、血液製剤（血漿分画製剤を含む。）の選択に関すること。 (6) 輸血用血液の検査項目、検査術式の選択と精度管理に関すること。 (7) 血液製剤（血漿分画製剤を含む。）の使用状況に関すること。 (8) 症例検討を含む適正使用推進の方法に関すること。 (9) 輸血関連情報の伝達方法に関すること。 (10) その他、輸血に関連して必要とみなされたこと。	6	医事情報課
褥瘡対策委員会	(1) 褥瘡の予防対策に関すること。 (2) 褥瘡対策に関する診療計画に関すること。 (3) 褥瘡対策に必要な医療用具に関すること。 (4) 褥瘡回診に関すること。 (5) 褥瘡対策チームの活動に関すること。 (6) その他褥瘡対策に必要な事項に関すること。	3	医事情報課
医療サービス委員会	(1) 職員の接遇の向上に関すること。 (2) 医療サービス向上に係る施設整備に関すること。 (3) 患者満足度アンケートの実施・分析に関すること。 (4) 医療サービス改善策実施計画の策定に関すること。 (5) 医療サービスに係る職員研修の実施に関すること。 (6) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項	3	医事情報課
広報委員会	(1) 各種情報メディアの利用についての調査及び検討に関すること。 (2) 院内外への情報提供に関すること。 (3) その他設置目的を達成するために必要な事項	3	総務課

名 称	所 掌 事 項	令和7年度 開催回数	担当課
研修運営委員会	(1) 研修医の定員について審議 (2) 臨床研修医の診療科への配属の調整 (3) 専門研修医の診療科への配属について意見上申 (4) 委員会における審議結果の管理者への報告 (5) その他臨床研修の運営に関すること。 ※臨床研修病院群研修管理委員会、研修医選考試験委員会を含む	8	総務課
大学院連携講座運営委員会	(1) 連携講座で修学する当院の職員の研究に関すること。 (2) 連携講座で修学する当院の職員の支援に関すること。 (3) その他連携講座に関すること。	1	総務課
臨床修練委員会	(1) 外国医師又は外国歯科医師が行う臨床修練の受入体制の整備計画、受入計画、臨床修練計画の策定に関すること。 (2) 外国医師又は外国歯科医師が行う臨床修練の受入れの決定及び実施にかかる条件整備に関すること。 (3) その他外国医師又は外国歯科医師が行う臨床修練に関すること。	0	総務課
教育研修委員会	(1) 職員等に対する教育・研修（他の主管に属するものを除く。）のプログラムの作成、管理及び評価に関すること。 (2) 職員の研修等への助成に関すること。 (3) 職員の研究及び論文等の表彰審査に関すること。 (4) その他設置目的を達成するために必要な事項	5	総務課
中央図書室運営委員会	(1) 中央図書室の利用及び運営に関すること。 (2) 中央図書室の利用状況の把握や分析に関すること。 (3) 中央図書室の運営上の懸案事項に関すること。 (4) 中央図書室の購入図書の選定、取得及び処分等に関すること。 (5) その他設置目的を達成するために必要な事項	1	総務課
情報システム管理運営委員会	(1) 電子計算機利用に係る長期計画等の策定に関すること。 (2) 電算処理業務の範囲及びその開発計画に関すること。 (3) 前2号に掲げるもののほか、電子計算機に係る個人情報の保護及び電子計算機の運営に係る重要事項に関すること。	2	医事情報課
診療記録管理委員会	(1) 診療記録の取扱いについての院内標準化に関すること。 (2) 全ての医療従事者から発生する診療記録の問題に関すること。 (3) 診療記録の書式等の採用又は改正に関すること。 (4) 中央カルテ管理室の運営に関すること。 (5) その他診療記録に関する諸問題	4	医事情報課
D P C 委員会	(1) 適切なD P C コーディングに関すること。 (2) 診断及び治療方法の適正化、標準化に関すること。 (3) その他D P C 業務に係る課題に関すること。	4	経営管理課
クリニカルパス委員会	(1) クリニカルパスの開発及び普及に関すること。 (2) クリニカルパスの運用及び指導に関すること。 (3) クリニカルパスの評価及び修正に関すること。 (4) クリニカルパスに関する職員の教育及び研修に関すること。 (5) その他クリニカルパスに関すること。	1	経営管理課
災害対策委員会	(1) 院内の災害対策の指針に関すること。 (2) 職員への災害教育のあり方に関すること。 (3) 院内の災害対策訓練の企画立案に関すること。 (4) B C P に関すること。 (5) 職員が受けた院外の災害対策訓練の院内での活用に関すること。 (6) 関係機関との協定の確認に関すること。 (7) 各災害拠点病院との協力関係の強化及び災害対策マニュアルの整合性の確認に関すること。	2	総務課
病院機能評価受審委員会	(1) 機能評価受審計画の策定に関すること。 (2) 機能評価受審上の問題点の把握と改善計画の策定に関すること。 (3) 機能評価受審に係る職員研修に関すること。 (4) その他前条の目的を達成するために必要な事項	4	受審委員会 事務局
職員子育て支援行動計画推進委員会	(1) 行動計画の推進に関すること。 (2) 行動計画の推進に必要な事項の検討及び調整に関すること。 (3) その他行動計画に関する必要な事項	1	総務課

名 称	所 掌 事 項	令和7年度 開催回数	担当課
児童虐待に関する委員会	(1) 虐待問題に関する知識と技術の取得に関すること。 (2) 虐待問題に関する患者とその家族の支援に関する知識と技術の取得に関すること。 (3) 虐待問題に関する診療・防止の実践に関すること。 (4) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項	3	医事情報課
利益相反委員会	(1) 鹿児島市立病院において研究等を実施する職員の利益相反(以下「C O I」という。)に関する指導 (2) C O I の状況についてのヒアリング及び審査, C O I 管理のための適切な措置の検討 (3) C O I の管理に関する措置等について, 管理者に対する意見陳述。 (4) 管理者への活動状況報告	28	総務課
摂食嚥下委員会 (現：廃止)	(1) 入院患者の摂食嚥下機能評価に関すること。 (2) 安全な食事提供に関すること。 (3) 摂食嚥下サポートチームの活動に関すること。 (4) 摂食嚥下のリスクマネジメントに関すること。 (5) 全職員が科学的根拠に基づいた摂食機能訓練を実践することに対しての支援に関すること。 (6) その他必要な事項に関すること。	1	総務課
病院事業経営計画策定 推進委員会	(1) 経営計画の策定に関すること。 (2) 経営計画の進行管理に関すること。 (3) その他経営計画に必要な事項に関すること。	2	経営管理課
物品購入等入札参加有 資格業者指名停止等審 査委員会	鹿児島市立病院物品購入等入札参加有資格業者名簿に登録された者に対する指名停止及び見積合わせ参加停止に関すること。	0	経営管理課
事務局総務課業務委託 等契約業者選定委員会 (現：事務局業務委託等 契約業者選定委員会)	(1) 制限付き一般競争入札, 企画提案競技及び公募型プロポーザル方式参加者の資格審査に関すること。 (2) 制限付き一般競争入札, 企画提案競技及び公募型プロポーザル方式参加者の選定に関すること。 (3) 指名競争入札参加者の資格及び選定に関すること。 (4) その他契約に関すること。	13	総務課
事務局医事情報課業務 委託等契約業者選定委 員会 (現：事務局業務委託等 契約業者選定委員会 に統合)	(1) 制限付き一般競争入札, 企画提案競技及び公募型プロポーザル方式参加者の資格審査に関すること。 (2) 制限付き一般競争入札, 企画提案競技及び公募型プロポーザル方式参加者の選定に関すること。 (3) その他契約に関すること。	3	医事情報課
事務局経営管理課業務 委託等契約業者選定委 員会 (現：事務局業務委託等 契約業者選定委員会 に統合)	(1) 制限付き一般競争入札, 企画提案競技及び公募型プロポーザル方式参加者の資格審査に関すること。 (2) 制限付き一般競争入札, 企画提案競技及び公募型プロポーザル方式参加者の選定に関すること。 (3) その他契約に関すること。	4	経営管理課
がん治療・支援セン ター運営委員会	(1) 質の高いがん診療の提供に関すること。 (2) がん登録及びがん診療の情報管理に関すること。 (3) がん診療に従事する医療従事者の研修に関すること。 (4) 地域のがん診療病院との連携に関すること。 (5) がん診療の情報提供に関すること。 (6) がん治療・支援センターの運営に関すること。 (7) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項	1	医事情報課
医療連携・ 入退院センター会議	(1) 地域の医療機関と業務連携に関すること。 (2) 地域の医療機関への広報に関すること。 (3) 医療連携・入退院センターの運営に関すること。 (4) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項	12	医療連携室
リハビリテーション部 運営委員会	(1) リハビリテーション部の運用に関する事項 (2) リハビリテーションの依頼・実施に関する事項 (3) リハビリテーションの評価・計測に関する事項 (4) リハビリテーション部の機器に関する事項 (5) リハビリテーション部の業務改善に関する事項 (6) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項	2	リハビリ テーション 部

名 称	所 掌 事 項	令和7年度 開催回数	担当課
地域医療支援推進委員会	(1) 施設や医療機器等の共同利用に関すること。 (2) 共同利用のための医師の登録に関すること。 (3) 登録医との連携に関すること。 (4) 地域医療従事者に対する研修に関すること。 (5) 諸記録の閲覧に関すること。 (6) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項	4	医事情報課
認知症ケア委員会	(1) 認知症患者の抽出、評価、治療方針及び退院支援に関すること。 (2) その他必要な事項に関すること。	3	医事情報課
薬剤部運営委員会	(1) 薬剤師の介入による患者満足度の向上に関すること。 (2) 薬剤師の介入による医師及び看護師の負担軽減に関すること。 (3) 地域の医療機関及び保険薬局との連携推進に関すること。 (4) 地域のリーダーとなる薬剤師の育成に関すること。 (5) 医薬品の購入、使用及び廃棄に関すること。 (6) 鹿児島大学病院等との人事交流に関すること。 (7) 薬剤師及び薬学生の当院での研修受入れに関すること。 (8) その他薬剤部に関すること。	2	薬剤部
看護師特定行為研修管理委員会	(1) 病院の特定行為研修の全般的な管理に関すること。 (2) 病院の特定行為研修を受講する者（以下「研修生」という。）の全般的な管理に関すること。 (3) 研修生の履修状況の管理に関すること。 (4) 病院の特定行為研修の修了の際の評価及び判定に関すること。 (5) その他病院の特定行為研修及び研修生の管理に関すること。	1	総務課
看護師特定行為研修運営委員会	(1) 保健師助産師看護師法第37条の2第2項第3号に規定する特定行為区分（以下「特定行為区分」という。）ごとの特定行為研修計画（以下「研修計画」という。）等の作成に関すること。 (2) 研修計画の調整に関すること。 (3) 病院の特定行為研修の定員に関すること。 (4) 病院の特定行為研修を受講する者（以下「研修生」という。）の募集及び選考に関すること。 (5) 研修生の採用に関すること。 (6) センターの管理及び運営に関すること。 (7) その他病院の特定行為研修の運営及びセンターに関すること。	2	総務課
鹿児島市立病院だより編集委員会	(1) 鹿児島市立病院だよりの編集・発行に関すること。 (2) 鹿児島市立病院だよりの編集・発行に係る調査及び検討に関すること。 (2) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項	3	医事情報課
新型インフルエンザ等新興感染症対策会議	(1) 新型インフルエンザ等新興感染症の院内対応に関すること。 (2) 新型インフルエンザ等新興感染症の院内における課題に関すること。 (3) 入院患者の状態や治療法等の情報の共有に関すること。 (4) その他前条の設置目的を達成するために必要な事項に関すること。	0	総務課
先進内視鏡診断・治療センター運営委員会	(1) 軟性内視鏡・硬性内視鏡・低侵襲手術支援ロボット等の医療機器の管理体制に関すること。 (2) 内視鏡室の運営に関すること。 (3) 内視鏡室外での内視鏡検査・治療の施行に関すること。 (4) 内視鏡下手術（腹腔鏡手術・低侵襲ロボット支援手術等を含む）に関すること。	0	総務課
病床再編検討委員会	(1) 病棟の配置及び病床数に関すること。 (2) 病棟における診療科の配置及び病床数の配分に関すること。 (3) その他病床再編に関し必要な事項	0	病院 再整備室
スマートフォン利活用委員会	(1) 業務用スマートフォンのアプリケーション選定に関すること。 (2) 業務用スマートフォンの院内ルールに関すること。 (3) その他業務用スマートフォンの管理、運用に関し必要な事項	1	医事情報課
絵画等選定検討委員会	(1) 病院内に展示する絵画等の選定に関すること。 (2) 前項のほか、寄贈に関する協議を行うこと。 (3) 前2項の結果を市病院事業管理者へ報告すること。	0	総務課
建設工事一般競争入札資格審査委員会	(1) 制限付き一般競争入札に付する工事の入札に関すること。 (2) 入札参加資格要件等の設定及び審査に関すること。 (3) 地方自治法施行令第167条の10の2の2第3項に規定する落札者決定基準に関すること。 (4) その他市長が必要と認める事項	0	経営管理課

(16) 診療報酬, 薬価基準

	診 療 報 酬	薬 価 基 準	
平成元年	4月 消費税導入 平均0.11%引上げ	4月 2.4%引上げ（医療費ベースで 0.65%）	
平成2年	4月 平均3.7%引上げ	4月 9.2%引下げ（医療費ベースで 2.7%）	
平成3年			
平成4年	4月 平均5.0%引上げ	4月 8.1%引下げ（医療費ベースで 2.5%）	
平成5年			
平成6年	4月 平均3.3%引上げ 10月 平均1.5%引上げ	4月 6.6%引下げ（医療費ベースで 2.1%）	
平成7年			
平成8年	4月 平均3.4%引上げ	4月 6.8%引下げ（医療費ベースで 2.6%）	
平成9年	4月 平均1.7%引上げ	4月 4.4%引下げ（医療費ベースで 1.32%）	
	全 体 改 定 率	診療報酬（本体）	薬価及び診療材料等(医療費ベース)
平成10年	4月 1.3%引下げ	4月 平均1.5%引上げ	4月 2.8%引下げ
平成11年			
平成12年	4月 平均1.9%引上げ	4月 0.2%引上げ	4月 1.7%引下げ
平成13年			
平成14年	4月 2.7%引下げ	4月 平均1.3%引下げ	4月 1.4%引下げ
平成15年			
平成16年	4月 1.0%引下げ	改定無し	4月 1.0%引下げ
平成17年			
平成18年	4月 3.16%引下げ	4月 平均1.36%引下げ	4月 1.8%引下げ
平成19年			
平成20年	4月 0.82%引下げ	4月 平均0.38%引上げ	4月 1.2%引下げ
平成21年			
平成22年	4月 0.19%引上げ	4月 平均1.55%引上げ	4月 1.36%引下げ
平成23年			
平成24年	4月 0.004%引上げ	4月 平均1.38%引上げ	4月 1.38%引下げ
平成25年			
平成26年	4月 0.10%引上げ	4月 平均0.73%引上げ	4月 0.63%引下げ
平成27年			
平成28年	4月 0.84%引下げ	4月 平均0.49%引上げ	4月 1.33%引下げ
平成29年			
平成30年	4月 1.19%引下げ	4月 平均0.55%引上げ	4月 1.74%引下げ
令和元年	10月 0.07%引下げ	10月 平均0.41%引上げ	10月 0.48%引下げ
令和2年	4月 0.46%引下げ	4月 平均0.55%引上げ	4月 1.01%引下げ
令和3年			
令和4年	4月 0.94%引下げ	4月 平均0.43%引上げ	4月 1.37%引下げ
令和5年			
令和6年	6月 0.12%引下げ	6月 平均0.88%引上げ	4月 1.00%引下げ （ただし、材料価格は6月施行）
令和7年			
令和8年	6月 2.22%引上げ	6月 平均3.09%引上げ	4月 0.87%引下げ （ただし、材料価格は6月施行）

4. 高度医療機器一覧表 ※1千万円以上の機器（令和8年3月末現在）

所 管	器 械 の 名 称	数 量
呼吸器内科	呼吸器内視鏡用超音波システム	1
循環器内科	アブレーションシステム	1
	OCT画像診断装置	1
	心臓血管撮影装置	1
	冷凍アブレーション装置	1
消化器外科	手術用内視鏡システム	1
乳腺外科	乳房X線診断装置	1
心臓血管外科	内視鏡システム	1
	ECMO装置	1
整形外科	関節鏡システム	1
	X線装置	2
	脊椎外科用手術台	1
	神経機能検査装置	1
形成外科	高気圧酸素治療装置	1
	手術用顕微鏡	2
	内視鏡統合ビデオシステム	1
	皮膚良性血管病変治療用レーザー装置	1
	レーザー照射装置	1
脳神経外科	手術用顕微鏡	2
救急科	体外循環装置用遠心ポンプ駆動装置	2
泌尿器科	パルスホルミウム・ヤグレーザ	1
	腹腔鏡手術システム	1
	膀胱鏡検査HDシステム	1
	体外式結石破碎装置	1
	超音波画像診断装置	1
産婦人科	双胎間輸血レーザー装置	1
	胎児分娩監視システム	1
	リモートアフターローディング治療装置	1
新生児内科	人工呼吸器	1
眼科	手術用顕微鏡	1
	白内障手術装置	1
	光干渉断層計	2
	マルチカラーレーザー光凝固装置	1
	眼底カメラ	1
	眼科手術装置	1
	広角デジタル眼撮影装置	1
	前眼部OCT	1
耳鼻咽喉科	手術用顕微鏡	2
	鼻副鼻腔咽頭内視鏡手術システム	1

所 管	器 械 の 名 称	数 量
耳鼻咽喉科	炭酸ガスレーザ	1
	手術用内視鏡システム	1
	内視鏡診断装置	1
麻酔科	気管支鏡システム	1
歯科口腔外科	超音波手術器械装置	1
病理診断科	自動免疫染色装置	2
	ホルムアルデヒド対策システム	1
	自動包埋装置	1
	液状処理細胞診前処理装置	1
	バーチャルスライドスキャナー	1
救命救急センター	全身用X線C T装置	1
	X線撮影装置	1
	F P D搭載型ポータブルX線装置	1
	リアルタイム薬品管理装置	1
総合周産期母子医療センター	E C M O 装置	1
	全身麻酔器	1
	ドクターヘリ用保育器搬送用システム	1
	新生児用人工呼吸器	5
先進内視鏡診断・治療センター	3D腹腔鏡システム	2
	超音波気管支ファイバースコープ	1
	超音波内視鏡システム	1
	内視鏡ビデオ情報システム	1
	内視鏡用超音波観測装置	1
	L E D内視鏡システム	1
集中治療部	リアルタイム薬品管理装置	1
中央手術部	手術台	5
	人工心肺装置	2
	麻酔記録システム	1
	手術用ナビゲーションユニット	1
	内視鏡下手術支援ロボット	2
	経皮的腎碎石用機器	1
	神経機能検査装置	1
	蛍光イメージングシステム	1
	全身麻酔器	1
	手術映像システム	3
	統合型臨床情報（手術支援）システム	1
	トレーディングシステム	2
	内視鏡システム	1
	手術用照明器・4 K術野カメラシステム	1
放射線技術科	X線撮影装置	5
	全身用X線C T装置	3

所 管	器 械 の 名 称	数 量
放射線技術科	血管造影撮影装置	2
	磁気共鳴画像診断装置	3
	X線テレビ装置	2
	Cアーム搭載X線TVシステム	2
	乳房X線診断装置	1
	デジタルX線画像処理システム	1
	X線C T組合せ型血管造影装置	1
	X線C T組合せ型核医学用診断装置	1
	リニアック治療装置	1
	X線C T組合せ型ポジトロンC T装置(P E T - C T)	1
	F P D搭載型ポータブルX線装置	1
	医用画像処理ワークステーション	1
	放射線治療計画用X線C T装置	1
	一般撮影画像処理ユニット	1
	胸部画像解析サーバー	1
臨床工学部	I A B P 装置	2
	患者監視装置	1
	体外循環装置用遠心ポンプ駆動装置	1
薬剤部	全自動錠剤分包機	1
	注射薬自動払出システム	1
	調剤進捗管理システム	1
臨床検査技術科	超音波診断装置	12
	臨床化学自動分析装置	1
	全自動細菌検査装置	1
	自動採血管準備装置	1
	微生物分類同定分析装置	1
	総合血液システム	2
中央材料室	高圧蒸気滅菌装置	4
	洗浄機	4
	低温プラズマ滅菌装置	2
	酸化エチレンガス滅菌装置	1
	R O 水製造装置	1
7 階南病棟	セントラルモニタ	1
8 階南病棟	パルス方式キセノン紫外線(U V) 照射ロボット	2
医事情報課	内視鏡情報管理システム	1
	映像統合管理システム	1
	院内ネットワークシステム	1
	統合診療支援プラットフォーム	1
合 計		171

5. 病院事業特別会計財務の状況

(1) 収益的収入及び支出（税込み）

収 入

科 目	年 度	令和7年度決算額		令和8年度予算額	
		金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)
病 院 事 業 収 益		27,045,565,431	100.00	27,882,146,000	100.00
医 業 収 益		24,582,985,332	90.89	25,732,991,000	92.29
入 院 収 益		17,730,160,843	65.55	18,765,215,000	67.30
外 来 収 益		6,623,057,742	24.49	6,716,237,000	24.09
その他医業収益		229,766,747	0.85	251,539,000	0.90
医 業 外 収 益		2,462,580,099	9.11	2,149,155,000	7.71
受取利息配当金		20,072,212	0.08	8,676,000	0.03
国 庫 補 助 金		284,497,029	1.05	20,759,000	0.08
県 補 助 金		520,273,000	1.93	503,030,000	1.80
負 担 金 交 付 金		549,331,000	2.03	626,169,000	2.25
他 会 計 補 助 金		405,754,000	1.50	396,642,000	1.42
受 託 収 益		65,852,351	0.24	67,096,000	0.24
長期前受金戻入		457,881,021	1.69	370,931,000	1.33
その他医業外収益		158,636,486	0.59	155,852,000	0.56
そ の 他 補 助 金		283,000	0.00	0	0.00

支 出

年 度 科 目	令和 7 年度決算額		令和 8 年度予算額	
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)
病 院 事 業 費 用	29,101,043,658	100.00	29,979,804,000	100.00
医 業 費 用	28,277,135,664	97.17	29,049,687,000	96.90
給 与 費	13,339,993,876	45.84	13,818,985,000	46.10
材 料 費	9,019,682,951	31.00	9,390,534,000	31.32
経 費	4,036,377,356	13.87	4,098,032,000	13.67
減 価 償 却 費	1,749,976,377	6.01	1,559,849,000	5.20
資 産 減 耗 費	33,043,289	0.11	48,300,000	0.16
研 究 研 修 費	98,061,815	0.34	133,987,000	0.45
医 業 外 費 用	822,829,102	2.83	924,165,000	3.08
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	235,038,184	0.81	229,975,000	0.77
長 期 前 払 消 費 税 額 償 却	68,309,000	0.24	68,321,000	0.23
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	23,705,000	0.08	24,627,000	0.08
雑 損 失	495,776,918	1.70	601,242,000	2.00
特 別 損 失	1,078,892	0.00	952,000	0.00
過 年 度 損 益 修 正 損	1,078,892	0.00	952,000	0.00
予 備 費	0	0.00	5,000,000	0.02
予 備 費	0	0.00	5,000,000	0.02

(2) 資本的収入及び支出（税込み）

収 入

科 目 \ 年 度	令和 7 年度決算額		令和 8 年度予算額	
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)
資 本 的 収 入	1,111,433,000	100.00	1,563,331,000	100.00
企 業 債	344,700,000	31.01	943,700,000	60.36
企 業 債	344,700,000	31.01	943,700,000	60.36
出 資 金	328,483,000	29.56	332,831,000	21.29
一般会計出資金	328,483,000	29.56	332,831,000	21.29
負 担 金	438,250,000	39.43	286,800,000	18.35
一般会計負担金	438,250,000	39.43	286,800,000	18.35

支 出

科 目 \ 年 度	令和 7 年度決算額		令和 8 年度予算額	
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)
資 本 的 支 出	2,365,446,449	100.00	2,560,196,000	100.00
建 設 改 良 費	568,472,658	24.03	1,083,513,000	42.32
資 産 購 入 費	458,519,177	19.38	1,073,816,000	41.94
再 整 備 事 業 費	109,953,481	4.65	9,697,000	0.38
企 業 債 償 還 金	1,796,562,499	75.95	1,471,683,000	57.48
企 業 債 償 還 金	1,796,562,499	75.95	1,471,683,000	57.48
予 備 費	0	0.00	5,000,000	0.20
予 備 費	0	0.00	5,000,000	0.20
そ の 他 資 本 的 支 出	411,292	0.02	0	—
補 助 金 返 還 金	411,292	0.02	0	—

(3) 病院事業会計年度別収支表（税抜き）

(単位：千円)

年 度	総 収 益	うち一般会計 繰 入 金	総 費 用	純 利 益 (△純損失)	繰入金控除後 純 利 益
	A	a		C = A - B	D = (A - a) - B
平成23	13,712,424	350,594	13,439,515	272,909	△ 77,685
平成24	14,160,436	345,619	13,700,017	460,419	114,800
平成25	13,946,037	355,396	13,639,106	306,931	△ 48,465
平成26	14,531,992	366,722	19,048,169	△ 4,516,177	△ 4,882,899
平成27	16,886,859	434,840	20,700,072	△ 3,813,213	△ 4,248,053
平成28	21,657,458	441,609	19,683,239	1,974,219	1,532,610
平成29	19,515,718	716,694	19,719,490	△ 203,772	△ 920,466
平成30	21,333,856	727,543	21,063,796	270,060	△ 457,483
令和元	21,831,188	729,275	22,062,157	△ 230,969	△ 960,244
令和 2	22,529,526	577,814	23,453,769	△ 924,243	△ 1,502,057
令和 3	24,235,083	798,345	23,973,409	261,674	△ 536,671
令和 4	25,381,463	816,538	24,905,729	475,734	△ 340,804
令和 5	23,335,193	548,635	26,157,962	△ 2,822,769	△ 3,371,404
令和 6	25,646,842	810,857	28,246,690	△ 2,599,848	△ 3,410,705
令和 7	27,003,708	955,085	29,064,142	△ 2,060,434	△ 3,015,519

(4) 年度別医業収益及び医業費用（税抜き）

	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	金額(円)	構成比(%)	前年度比(%)	金額(円)	構成比(%)	前年度比(%)	金額(円)	構成比(%)	前年度比(%)	金額(円)	構成比(%)	前年度比(%)
医業収益	入院収益	15,536,606,709	70.8	102.2	15,008,191,241	70.5	96.6	72.2	113.9	17,725,562,938	72.2	103.7
	外来収益	6,116,914,135	27.9	104.4	6,022,253,750	28.3	98.5	26.8	105.6	6,620,897,469	26.9	104.1
	その他の医業収益	278,797,648	1.3	75.6	254,870,586	1.2	91.4	1.0	91.3	213,092,692	0.9	91.6
	① 小計	21,932,318,492	100.0	102.4	21,285,315,577	100.0	97.1	100.0	111.3	24,559,553,099	100.0	103.7
医業費用	給与費	11,266,807,564	48.1	101.5	11,985,291,063	48.6	106.4	49.3	109.9	13,333,036,143	48.5	101.2
	材料費	7,348,211,798	31.3	106.1	7,517,818,212	30.5	102.3	30.7	109.1	8,610,347,794	31.3	105.0
	経費	3,069,996,122	13.1	110.3	3,261,507,667	13.2	106.2	12.9	105.4	3,678,244,511	13.4	107.0
	減価償却費	1,635,284,449	7.0	97.2	1,718,258,054	7.0	105.1	6.6	103.4	1,749,976,377	6.4	98.5
	資産減耗費	24,178,366	0.1	99.1	40,904,196	0.2	169.2	0.0	31.4	33,043,289	0.1	256.9
	研究研修費	99,147,193	0.4	150.2	127,714,702	0.5	128.8	0.5	99.3	93,126,965	0.3	73.4
	② 小計	23,443,625,492	100.0	103.8	24,651,493,894	100.0	105.2	100.0	108.4	27,497,775,079	100.0	102.9
医業収支①－②		△1,511,307,000		－	△3,366,178,317	－	－		－	△2,938,221,980		－

(5) 診療科別医療収益 (税抜き)

診療科	令和7年度						令和6年度		前年度比 C/D×100 (%)
	入院収益		外来収益		入院・外来収益合計 構成比 (%)	合計金額 (円) D			
	金額 (円) A	構成比 (%)	金額 (円) B	構成比 (%)					
内科	0	0.00	12,439,028	0.19	12,439,028	0.05	12,542,276	99.18	
腎臓内科	170,798,557	0.96	62,642,275	0.95	233,440,832	0.96	213,410,236	109.39	
糖尿病・内分泌内科	73,371,617	0.41	77,972,749	1.18	151,344,366	0.62	162,129,215	93.35	
血液・膠原病内科	789,806,314	4.46	877,007,846	13.25	1,666,814,160	6.85	1,556,365,000	107.10	
脳神経内科	877,069,455	4.95	663,697,072	10.02	1,540,766,527	6.33	1,323,629,286	116.40	
呼吸器内科	551,946,409	3.11	438,231,753	6.62	990,178,162	4.07	978,004,745	101.24	
消化器内科	848,308,072	4.79	406,018,193	6.13	1,254,326,265	5.15	1,288,779,649	97.33	
腫瘍内科	427,073,288	2.41	857,655,896	12.95	1,284,729,184	5.28	1,283,893,055	100.07	
循環器内科	1,519,008,329	8.57	181,318,393	2.74	1,700,326,722	6.98	1,565,731,507	108.60	
小児科	865,024,314	4.88	185,396,169	2.80	1,050,420,483	4.31	1,179,637,053	89.05	
精神科	-	-	2,161,059	0.03	2,161,059	0.01	1,808,000	119.53	
消化器外科	1,017,240,228	5.74	56,116,329	0.85	1,073,356,557	4.41	1,046,865,518	102.53	
呼吸器外科	296,442,121	1.67	44,508,082	0.67	340,950,203	1.40	293,731,294	116.08	
乳腺外科	99,572,996	0.56	156,582,134	2.36	256,155,130	1.05	276,509,035	92.64	
小児外科	149,246,536	0.84	34,186,509	0.52	183,433,045	0.75	242,568,003	75.62	
心臓血管外科	671,945,979	3.79	31,821,772	0.48	703,767,751	2.89	600,539,026	117.19	
整形外科	1,331,229,053	7.51	103,888,207	1.57	1,435,117,260	5.90	1,375,597,314	104.33	
形成外科	438,882,236	2.48	98,173,386	1.48	537,055,622	2.21	463,427,213	115.89	
脳神経外科	1,261,170,718	7.12	91,436,539	1.38	1,352,607,257	5.56	1,305,939,374	103.57	
救急科	565,562,900	3.19	108,764,499	1.64	674,327,399	2.77	805,616,036	83.70	
皮膚科	51,820,568	0.29	79,960,798	1.21	131,781,366	0.54	101,119,570	130.32	
泌尿器科	943,406,484	5.32	793,238,342	11.98	1,736,644,826	7.13	1,677,376,726	103.53	
産婦人科	1,672,047,643	9.43	371,709,544	5.61	2,043,757,187	8.39	1,841,652,595	110.97	
新生児内科	1,989,242,580	11.22	122,460,953	1.85	2,111,703,533	8.67	2,042,529,510	103.39	
眼科	493,831,458	2.79	166,749,357	2.52	660,580,815	2.71	617,132,487	107.04	
耳鼻咽喉科	353,269,751	1.99	188,666,774	2.85	541,936,525	2.23	499,041,261	108.60	
リハビリテーション科	-	-	7,348	0.01	7,348	0.01	57,425	12.80	
放射線科	12,708,763	0.07	321,625,776	4.86	334,334,539	1.37	345,149,349	96.87	
麻酔科	84,344,963	0.48	16,670,883	0.25	101,015,846	0.41	156,871,671	64.39	
歯科・歯科口腔外科	171,191,606	0.97	69,789,804	1.05	240,981,410	0.99	197,769,417	121.85	
A 病院計	17,725,562,938	100.00	6,620,897,469	100.00	24,346,460,407	100.00	23,455,422,846	103.80	
B 6年度	17,097,165,822		6,358,257,024		23,455,422,846				
C 増減	628,397,116		262,640,445		891,037,561				
A/B×100 対前年度比(%)	103.68		104.13		103.80				

(6) 行為別医療収益 (税抜き)

行為区分	令和 4 年 度			令和 5 年 度			令和 6 年 度			令和 7 年 度		
	金 額 (円)	構成比 (%)	前年度比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	前年度比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	前年度比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	前年度比 (%)
初 診	95,817,377	0.44	108.67	72,523,666	0.34	75.69	82,076,052	0.35	113.17	79,948,700	0.33	97.41
再 診	110,376,560	0.51	87.32	104,320,650	0.50	94.51	106,432,903	0.45	102.02	108,605,334	0.45	102.04
指 導	358,291,101	1.65	136.19	314,478,630	1.50	87.77	333,812,622	1.42	106.15	351,463,340	1.44	105.29
在 宅	494,914,064	2.29	99.26	449,925,868	2.14	90.91	546,918,099	2.33	121.56	539,729,459	2.22	98.69
投 薬	129,972,595	0.61	85.19	128,013,853	0.61	98.49	165,549,321	0.71	129.32	163,900,969	0.67	99.00
注 射	2,876,586,877	13.28	108.17	3,131,128,210	14.89	108.85	3,251,988,067	13.87	103.86	3,529,544,782	14.50	108.53
処 置	223,071,809	1.03	117.71	169,753,707	0.81	76.10	189,779,681	0.81	111.80	208,470,862	0.86	109.85
手 術	4,873,697,626	22.51	103.39	4,730,700,302	22.49	97.07	5,144,678,197	21.93	108.75	5,529,051,125	22.71	107.47
検 査	1,327,574,590	6.13	111.55	1,125,881,705	5.35	84.81	1,117,226,971	4.76	99.23	1,146,326,008	4.71	102.60
画像診断	769,713,733	3.55	102.30	736,470,820	3.50	95.68	781,831,821	3.33	106.16	749,920,158	3.08	95.92
そ の 他	414,378,131	1.91	93.61	441,813,079	2.10	106.62	660,305,301	2.82	149.45	759,475,970	3.12	115.02
技 工	4,053,669	0.02	90.70	3,860,671	0.02	95.24	3,634,725	0.02	94.15	3,304,799	0.01	90.92
入 院	3,808,791,907	17.59	109.82	3,651,583,555	17.36	95.87	4,028,929,681	17.18	110.33	3,946,621,983	16.21	97.96
D P C	5,911,501,469	27.30	94.63	5,722,228,136	27.21	96.80	6,751,122,214	28.78	117.98	6,925,133,851	28.44	102.58
食事療養	254,779,336	1.18	96.88	247,762,139	1.18	97.25	291,137,191	1.24	117.51	304,963,067	1.25	104.75
計	21,653,520,844	100.00	102.82	21,030,444,991	100.00	97.12	23,455,422,846	100.00	111.53	24,346,460,407	100.00	103.80

(7) 診療科別給食収入

診療科 \ 年 度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	金額(円)	前年度比(%)	金額(円)	前年度比(%)	金額(円)	前年度比(%)	金額(円)	前年度比(%)	金額(円)	前年度比(%)
内 科	51,889,266	93.1	47,195,028	91.0	47,071,845	99.7	56,622,015	120.3	59,584,541	105.2
内 科		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
脳神経内科	15,012,213	100.6	13,021,777	86.7	12,230,102	93.9	17,909,590	146.4	19,483,083	108.8
呼吸器内科	15,036,924	95.0	13,091,945	87.1	16,033,092	122.5	14,739,771	91.9	14,144,968	96.0
血液・膠原病内科	14,354,708	92.5	14,050,383	97.9	11,672,205	83.1	15,583,515	133.5	17,468,441	112.1
腎 臓 内 科	4,739,559	89.2	4,989,427	105.3	4,289,080	86.0	4,820,372	112.4	5,002,322	103.8
糖尿病・内分泌内科	2,745,762	65.9	2,041,496	74.4	2,847,366	139.5	3,568,767	125.3	3,485,727	97.7
消化器内科	18,095,016	87.4	17,340,134	95.8	19,512,353	112.5	26,001,307	133.3	26,739,328	102.8
消化器内科	11,661,236	82.6	11,587,517	99.4	13,268,296	114.5	17,433,870	131.4	18,048,513	103.5
腫 瘍 内 科	6,433,780	97.5	5,752,617	89.4	6,244,057	108.5	8,567,437	137.2	8,690,815	101.4
循環器内科	14,389,800	81.9	13,615,441	94.6	10,694,773	78.5	15,124,645	141.4	16,000,871	105.8
小 児 科	9,900,375	110.4	10,506,424	106.1	11,102,543	105.7	12,965,868	116.8	10,755,173	82.9
外 科	16,509,828	93.5	16,096,899	97.5	13,231,609	82.2	14,716,604	111.2	16,541,723	112.4
消化器外科	10,822,861	89.3	10,330,336	95.4	8,784,581	85.0	9,610,671	109.4	10,571,004	110.0
呼吸器外科	3,563,434	97.6	3,841,867	107.8	2,512,364	65.4	3,546,012	141.1	3,944,345	111.2
乳 腺 外 科	2,123,533	112.3	1,924,696	90.6	1,934,664	100.5	1,559,921	80.6	2,026,374	129.9
心臓血管外科	4,846,807	81.4	3,499,327	72.2	3,343,275	95.5	3,091,197	92.5	2,690,483	87.0
小 児 外 科	996,416	116.9	993,120	99.7	1,091,572	109.9	1,246,740	114.2	948,750	76.1
整 形 外 科	16,660,752	106.4	18,814,906	112.9	16,463,123	87.5	20,522,163	124.7	21,198,001	103.3
形 成 外 科	5,819,735	81.4	7,465,744	128.3	5,310,581	71.1	8,152,863	153.5	8,340,660	102.3
脳神経外科	21,657,047	101.4	20,058,123	92.6	20,222,905	100.8	24,787,806	122.6	23,330,807	94.1
脳神経外科	13,794,324	98.1	13,368,578	96.9	12,570,761	94.0	16,899,900	134.4	17,257,823	102.1
救 急 科	7,862,723	107.7	6,689,545	85.1	7,652,144	114.4	7,887,906	103.1	6,072,984	77.0
皮 膚 科	514,228	85.5	482,080	93.7	356,298	73.9	1,231,616	345.7	1,191,198	96.7
泌 尿 器 科	14,381,038	88.7	13,677,604	95.1	11,116,308	81.3	13,316,103	119.8	15,029,828	112.9
産 婦 人 科	29,548,207	92.1	27,977,128	94.7	32,109,208	114.8	33,460,936	104.2	36,239,365	108.3
新 生 児 科	35,672,688	108.4	30,248,984	84.8	32,146,334	106.3	34,059,894	106.0	34,806,680	102.2
眼 科	5,326,050	81.7	5,375,912	100.9	5,349,572	99.5	5,946,140	111.2	6,385,342	107.4
耳 鼻 咽 喉 科	8,048,415	93.6	6,865,353	85.3	7,103,499	103.5	8,834,042	124.4	8,896,083	100.7
放 射 線 科	14,308	13.7	200,376	1400.4	114,376	57.1	133,868	117.0	47,990	35.8
麻 酔 科	1,677,771	316.9	1,425,820	85.0	722,026	50.6	1,901,264	263.3	1,498,973	78.8
歯科口腔外科	2,464,240	98.9	1,938,490	78.7	2,221,441	114.6	3,325,719	149.7	5,001,238	150.4
合 計	258,411,987	95.1	243,776,893	94.3	239,283,641	98.2	285,440,790	119.3	295,227,034	103.4

(8) 企業債の明細

(単位：円)

種 類	発行年月日	発行総額	年 度			未 償		還 残	高	償 還 終 期
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
病院建設事業費	H23. 3.25	47,700,000	33,254,119	31,785,697	30,289,242	28,764,219	27,210,084	令和22年度		
病院建設事業費	H24. 3.26	5,495,500,000	3,963,603,744	3,795,664,946	3,624,859,055	3,451,137,123	3,274,449,366	令和23年度		
病院建設事業費	H25. 3.25	3,958,900,000	3,420,518,396	3,280,818,888	3,139,016,028	2,995,078,149	2,848,973,106	令和24年度		
病院建設事業費	H26. 3.25	2,000,000,000	1,795,169,077	1,724,964,735	1,653,774,092	1,581,583,292	1,508,378,284	令和25年度		
病院建設事業費	H27. 3.25	10,808,000,000	10,057,286,119	9,675,138,971	9,288,392,301	8,896,990,748	8,500,878,285	令和26年度		
医療機器整備事業費	R 3. 3.25	1,810,400,000	1,448,320,000	1,086,240,000	724,160,000	362,080,000	0	令和7年度		
医療機器整備事業費	R 4. 3.25	832,700,000	832,700,000	666,160,000	499,620,000	333,080,000	166,540,000	令和8年度		
医療機器整備事業費	R 4. 3.31	6,600,000	6,600,000	5,280,000	3,960,000	2,640,000	1,320,000	令和8年度		
医療機器整備事業費	R 5. 8.18	754,900,000			603,920,000	452,940,000	301,960,000	令和9年度		
医療機器整備事業費	R 6. 3.25	719,500,000			719,500,000	575,600,000	431,700,000	令和10年度		
病院再整備事業費	R 6. 3.25	203,500,000			203,500,000	197,999,188	192,421,095	令和35年度		
医療機器整備事業費	R 7. 3.25	258,400,000				258,400,000	206,720,000	令和11年度		
病院再整備事業費	R 7. 3.25	226,400,000				226,400,000	226,400,000	令和36年度		
病院再整備事業費	R 7.12.24	78,200,000					78,200,000	令和37年度		
医療機器整備事業費	R 8. 3.25	266,500,000					266,500,000	令和12年度		
病院解体事業費	H28. 3.25	331,000,000	132,400,000	99,300,000	66,200,000	33,100,000	0	令和7年度		
病院解体事業費	H29. 3.27	877,200,000	438,600,000	350,880,000	263,160,000	175,440,000	87,720,000	令和8年度		
合 計		28,675,400,000	22,128,451,455	20,716,233,237	20,820,350,718	19,571,232,719	18,119,370,220			

※令和6年度までに償還済の企業債は除く。

6. 病 院 統 計

(1) 入院延患者数

(単位：人，％)

診 療 科	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度	構 成 比
内 科	0	0	0	0	0	0.0
糖尿病・内分泌内科	1,421	1,081	1,517	1,864	1,765	1.0
血液・膠原病内科	8,060	8,007	6,717	8,473	9,249	5.1
腎 臓 内 科	2,603	2,876	2,374	2,615	2,630	1.5
脳 神 経 内 科	9,241	7,654	7,211	10,272	10,638	5.9
呼 吸 器 内 科	9,255	8,245	9,648	8,605	8,290	4.6
消 化 器 内 科	8,622	8,897	10,236	12,683	12,641	7.0
腫 瘍 内 科	4,350	4,050	4,111	5,841	5,718	3.1
循 環 器 内 科	8,647	8,400	6,847	9,100	9,329	5.1
小 児 科	9,943	10,148	11,846	12,335	10,346	5.7
精 神 科	0	0	0	0	0	0.0
消 化 器 外 科	9,580	9,274	8,514	8,955	9,304	5.1
呼 吸 器 外 科	2,290	2,474	1,572	2,111	2,311	1.3
乳 腺 外 科	1,356	1,253	1,175	954	1,212	0.7
小 児 外 科	1,383	1,469	1,460	1,461	1,150	0.6
心臓血管外科	3,075	2,357	2,203	1,985	1,887	1.0
整 形 外 科	9,763	11,048	9,912	11,820	11,757	6.5
リウマチ科	0	0	0	0	0	0.0
形 成 外 科	3,763	4,553	3,372	4,944	4,897	2.7
脳 神 経 外 科	8,846	8,717	8,146	10,368	10,311	5.7
救 急 科	5,982	5,097	5,772	6,523	5,110	2.8
皮 膚 科	328	298	216	718	698	0.4
泌 尿 器 科	9,699	9,298	7,862	9,003	9,517	5.2
産 婦 人 科	17,845	16,706	19,296	19,342	20,163	11.1
新 生 児 内 科	23,169	21,262	20,812	20,370	19,538	10.7
眼 科	3,481	3,507	3,593	3,889	4,110	2.3
耳 鼻 咽 喉 科	4,969	4,291	4,647	5,309	5,298	2.9
リハビリテーション科	－	－	0	0	0	0.0
放 射 線 科	16	124	83	100	43	0.0
麻 酔 科	1,188	1,090	617	1,355	1,017	0.6
歯科・歯科口腔外科	1,608	1,308	1,457	2,096	2,956	1.6
合 計	170,483	163,484	161,216	183,091	181,885	100.0
1 日 平 均	467	448	440	502	498	－
対 前 年 度 比	93.16	97.24	98.61	113.57	99.34	－

※令和5年4月リハビリテーション科の開設。

(2) 外来延患者数

(単位：人，％)

診 療 科	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度	構 成 比
内 科	5,060	9,797	3,091	2,250	1,795	0.9
糖尿病・内分泌内科	6,734	6,489	6,667	7,154	7,439	3.9
血液・膠原病内科	6,415	7,081	7,905	8,406	8,676	4.6
腎 臓 内 科	4,630	4,966	4,784	5,366	5,795	3.0
脳 神 経 内 科	7,235	7,163	6,881	7,285	7,465	3.9
呼 吸 器 内 科	8,276	8,844	7,996	7,595	8,150	4.3
消 化 器 内 科	14,596	15,359	14,317	15,091	14,947	7.8
腫 瘍 内 科	7,354	7,682	7,511	7,583	6,829	3.6
循 環 器 内 科	7,934	7,692	7,601	7,375	8,159	4.3
小 児 科	8,471	9,341	8,868	8,597	9,122	4.8
精 神 科	376	545	534	683	766	0.4
消 化 器 外 科	3,484	3,438	3,155	3,354	3,135	1.7
呼 吸 器 外 科	2,160	2,359	1,917	1,703	1,781	0.9
乳 腺 外 科	4,118	4,241	4,006	4,128	3,664	1.9
小 児 外 科	3,489	3,458	3,352	3,367	3,352	1.8
心臓血管外科	1,043	1,147	1,106	1,064	964	0.5
整 形 外 科	7,426	8,435	7,888	7,728	7,814	4.1
リウマチ科	0	0	0	0	0	0.0
形 成 外 科	7,561	7,778	7,472	7,729	7,732	4.1
脳 神 経 外 科	5,655	5,583	5,196	5,225	5,084	2.7
救 急 科	3,701	3,688	4,063	5,204	4,448	2.3
皮 膚 科	4,206	4,502	3,974	4,459	4,769	2.5
泌 尿 器 科	11,945	12,432	11,526	12,273	12,862	6.8
産 婦 人 科	17,744	17,329	16,979	16,456	17,609	9.2
新 生 児 内 科	2,941	2,778	2,658	2,861	2,951	1.6
眼 科	10,281	10,439	9,716	9,538	9,632	5.1
耳 鼻 咽 喉 科	8,592	8,272	8,318	8,009	8,061	4.2
リハビリテーション科	－	－	27	31	0	0.0
放 射 線 科	6,387	5,825	4,892	5,134	5,037	2.6
麻 酔 科	2,027	2,172	2,194	2,482	2,600	1.4
歯科・歯科口腔外科	11,738	11,400	10,357	10,159	9,932	5.2
合 計	191,579	200,235	184,951	188,289	190,570	100.0
1 日 平 均	792	824	764	778	787	－
対 前 年 度 比	106.75	104.52	92.37	101.80	101.21	－

※令和5年4月リハビリテーション科の開設。

(3) 入院・外来合計延患者数

(単位：人，％)

診療科	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	構成比
内科	5,060	9,797	3,091	2,250	1,795	0.5
糖尿病・内分泌内科	8,155	7,570	8,184	9,018	9,204	2.5
血液・膠原病内科	14,475	15,088	14,622	16,879	17,925	4.8
腎臓内科	7,233	7,842	7,158	7,981	8,425	2.3
脳神経内科	16,476	14,817	14,092	17,557	18,103	4.9
呼吸器内科	17,531	17,089	17,644	16,200	16,440	4.4
消化器内科	23,218	24,256	24,553	27,774	27,588	7.4
腫瘍内科	11,704	11,732	11,622	13,424	12,547	3.4
循環器内科	16,581	16,092	14,448	16,475	17,488	4.7
小児科	18,414	19,489	20,714	20,932	19,468	5.2
精神科	376	545	534	683	766	0.2
消化器外科	13,064	12,712	11,669	12,309	12,439	3.3
呼吸器外科	4,450	4,833	3,489	3,814	4,092	1.1
乳腺外科	5,474	5,494	5,181	5,082	4,876	1.3
小児外科	4,872	4,927	4,812	4,828	4,502	1.2
心臓血管外科	4,118	3,504	3,309	3,049	2,851	0.8
整形外科	17,189	19,483	17,800	19,548	19,571	5.3
リウマチ科	0	0	0	0	0	0.0
形成外科	11,324	12,331	10,844	12,673	12,629	3.4
脳神経外科	14,501	14,300	13,342	15,593	15,395	4.1
救急科	9,683	8,785	9,835	11,727	9,558	2.6
皮膚科	4,534	4,800	4,190	5,177	5,467	1.5
泌尿器科	21,644	21,730	19,388	21,276	22,379	6.0
産婦人科	35,589	34,035	36,275	35,798	37,772	10.1
新生児内科	26,110	24,040	23,470	23,231	22,489	6.0
眼科	13,762	13,946	13,309	13,427	13,742	3.7
耳鼻咽喉科	13,561	12,563	12,965	13,318	13,359	3.6
リハビリテーション科	－	－	27	31	0	0.0
放射線科	6,403	5,949	4,975	5,234	5,080	1.4
麻酔科	3,215	3,262	2,811	3,837	3,617	1.0
歯科・歯科口腔外科	13,346	12,708	11,814	12,255	12,888	3.5
合計	362,062	363,719	346,167	371,380	372,455	100.0
対前年度比	102.05	100.46	95.17	107.28	100.29	－

※令和5年4月リハビリテーション科の開設。

(4) 入院患者数（項目別）

（単位：人）

診 療 科	項 目 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖 尿 病・ 内 分 泌 内 科		8	11	13	8	10	12	16	12	8	12	11	17	138
	糖尿病	7	9	10	5	7	9	14	10	6	6	10	14	107
	代謝障害	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
	その他	1	2	3	3	2	3	2	2	2	6	1	2	29
血 液 ・ 膠 原 病 内 科		43	39	27	40	39	38	45	37	30	34	30	37	439
	リンパ組織、造血組織及び関連組織の 悪性新生物	30	25	14	26	25	17	29	30	20	25	22	27	290
	無形成性貧血及びその他の貧血	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	5
	その他	12	14	13	13	13	21	15	6	10	9	8	10	144
腎 臓 内 科		14	19	21	20	17	20	23	14	20	20	16	19	223
	代謝障害	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	4
	糸球体疾患	6	8	11	7	9	8	11	1	9	6	3	8	87
	腎不全	7	3	4	4	5	4	7	6	7	8	7	5	67
	その他	1	8	6	7	3	8	4	7	4	6	6	5	65
脳 神 経 内 科		59	51	57	53	52	60	58	45	47	48	50	51	631
	中枢神経系のウイルス感染症	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	5
	中枢神経系の炎症性疾患	3	5	2	4	6	7	5	3	3	2	4	7	51
	中枢神経系の脱髄疾患	5	3	5	2	2	3	3	0	3	1	1	1	29
	多発性ニューロパチ＜シ＞ー及びそ の他の末梢神経系の障害	3	3	7	6	2	5	6	1	2	2	2	6	45
	神経筋接合部及び筋の疾患	3	0	2	1	2	2	3	1	1	1	0	1	17
	脳血管疾患	24	27	25	22	22	19	20	24	19	22	27	24	275
	その他	20	12	16	18	17	23	21	16	19	19	16	12	209
呼 吸 器 内 科		62	67	55	68	54	60	67	53	58	73	50	66	733
	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	36	38	34	40	32	39	40	34	35	33	30	42	433
	インフルエンザ及び肺炎	2	7	8	7	5	2	0	2	2	9	3	6	53
	慢性下気道疾患	9	4	2	2	3	0	3	3	7	8	3	2	46
	外的因子による肺疾患	2	1	1	5	4	4	2	3	4	5	3	2	36
	主として間質を障害するその他の呼吸 器疾患	1	6	1	1	3	4	5	4	3	6	4	7	45
	下気道の化膿性及びえ＜壊＞死性病 態	2	0	2	0	0	0	1	1	2	2	1	3	14
	胸膜のその他の疾患	0	2	0	0	0	1	4	1	0	1	0	0	9
	呼吸器系のその他の疾患	1	1	1	2	0	0	0	0	0	2	2	0	9
	その他	9	8	6	11	7	10	12	5	5	7	4	4	88
消 化 器 内 科		107	108	104	96	91	119	125	88	96	109	103	97	1243
	腸管感染症	0	3	4	2	3	8	4	0	1	2	2	1	30
	ウイルス肝炎	1	1	1	1	1	3	1	0	1	5	2	0	17
	消化器の悪性新生物	42	33	39	33	31	32	49	31	29	43	33	42	437
	食道、胃及び十二指腸の疾患	5	13	6	6	5	7	4	5	6	4	1	3	65
	非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	1	2	2	0	2	1	2	0	3	1	0	0	14
	腸のその他の疾患	10	9	6	9	6	6	9	12	8	9	9	6	99
	肝疾患	14	3	5	3	9	9	13	5	6	4	11	5	87
	胆のう＜嚢＞、胆管及び膵の障害	19	30	30	20	26	28	24	21	27	22	27	20	294
	消化器系のその他の疾患	5	2	0	5	1	4	4	4	1	3	4	4	37
	その他	10	12	11	17	7	21	15	10	14	16	14	16	163
腫 瘍 内 科		46	40	58	53	31	45	53	48	46	59	50	50	579
	消化器の悪性新生物	36	35	53	45	25	37	44	43	39	45	44	35	481
	肝疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	胆のう＜嚢＞、胆管及び膵の障害	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
	消化器系のその他の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	その他	10	5	4	8	5	8	9	5	5	13	6	15	93
循 環 器 内 科		85	81	77	77	71	71	79	82	78	81	92	98	972

診 療 科	項 目 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小 児 科		131	140	123	111	106	135	116	111	132	106	122	74	1407
	腸管感染症	3	8	7	3	4	5	3	1	8	5	8	4	59
	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	中枢神経系の炎症性疾患	0	0	2	1	1	7	2	0	0	0	0	0	13
	インフルエンザ及び肺炎	16	16	10	8	10	12	19	21	34	15	20	2	183
	呼吸器系のその他の疾患	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	2	0	6
	尿路系のその他の疾患	1	0	1	1	0	3	0	0	1	0	0	2	9
	筋骨格系の先天奇形及び変形	3	3	1	3	3	2	3	5	1	1	2	3	30
	その他	108	113	100	95	85	106	88	84	88	84	90	63	1104
消 化 器 外 科		59	53	54	53	58	50	50	53	54	63	48	67	662
	消化器の悪性新生物	28	20	25	17	22	26	24	19	19	21	19	24	264
	良性新生物	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	4
	食道、胃及び十二指腸の疾患	3	1	0	0	1	0	2	1	2	3	0	1	14
	虫垂の疾患	5	2	7	6	6	4	1	5	4	5	2	6	53
	ヘルニア	5	8	3	5	4	4	6	8	7	7	6	10	73
	腹膜の疾患	4	2	1	0	1	1	2	2	1	5	0	2	21
	胆のう＜嚢＞、胆管及び膵の障害	7	5	8	6	6	8	3	2	6	4	4	7	66
	消化器系のその他の疾患	0	0	2	0	1	0	1	1	0	0	1	0	6
	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	0	1	0	1	0	2	0	1	1	0	2	1	9
	その他	7	14	8	17	17	4	11	14	14	18	13	15	152
呼 吸 器 外 科		16	16	19	17	16	21	16	15	16	19	15	12	198
	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	5	10	11	8	12	11	9	9	11	12	9	9	116
	良性新生物	3	1	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	8
	胸膜のその他の疾患	4	3	4	2	2	5	2	1	3	3	2	2	33
	その他	4	2	4	5	2	5	4	5	2	4	3	1	41
乳 腺 外 科		12	9	13	9	9	11	13	7	9	10	10	9	121
	乳房の悪性新生物	10	8	9	9	9	8	10	7	7	8	8	9	102
	その他	2	1	4	0	0	3	3	0	2	2	2	0	19
小 児 外 科		27	23	20	27	27	26	26	15	20	12	6	22	251
	良性新生物	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	食道、胃及び十二指腸の疾患	1	0	1	2	0	0	2	0	0	0	0	0	6
	虫垂の疾患	4	5	3	4	4	4	5	1	3	1	1	5	40
	ヘルニア	4	7	5	8	7	8	8	6	6	8	2	6	75
	腸のその他の疾患	2	2	2	1	0	3	1	1	2	0	0	1	15
	消化器系のその他の疾患	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4
	男性生殖器の疾患	2	1	4	2	0	1	2	1	3	0	0	2	18
	消化器系のその他の先天奇形	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	1	1	8
	その他	9	7	4	9	16	8	7	5	6	2	2	6	81
心臓血管外科		13	8	9	9	9	8	17	13	14	10	13	14	137
	その他の型の心疾患	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	10	5	7	6	6	5	13	7	9	7	8	4	87
	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	1	0	1	2	0	2	1	3	3	1	2	6	22
	その他	2	2	1	1	3	1	3	3	2	2	3	4	27
整 形 外 科		65	64	54	75	74	83	77	73	73	80	67	76	861
	関節障害	6	7	7	5	4	10	12	5	5	1	4	10	76
	筋骨格系の先天奇形及び変形	4	1	0	5	2	1	1	6	3	4	1	2	30
	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	5	4	4	4	4	7	5	3	6	9	7	2	60
	肩及び上腕の損傷	2	4	4	3	3	4	1	4	1	4	5	4	39
	肘及び前腕の損傷	6	8	5	4	8	4	3	2	6	6	2	9	63
	手首及び手の損傷	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
	股関節部及び大腿の損傷	5	4	1	8	3	5	4	3	11	13	6	9	72
	膝及び下腿の損傷	2	1	4	10	4	8	4	5	2	1	1	3	45
	足首及び足の損傷	1	1	0	1	1	1	2	1	0	1	1	0	10
	その他	34	34	29	35	44	43	45	44	38	41	40	37	464

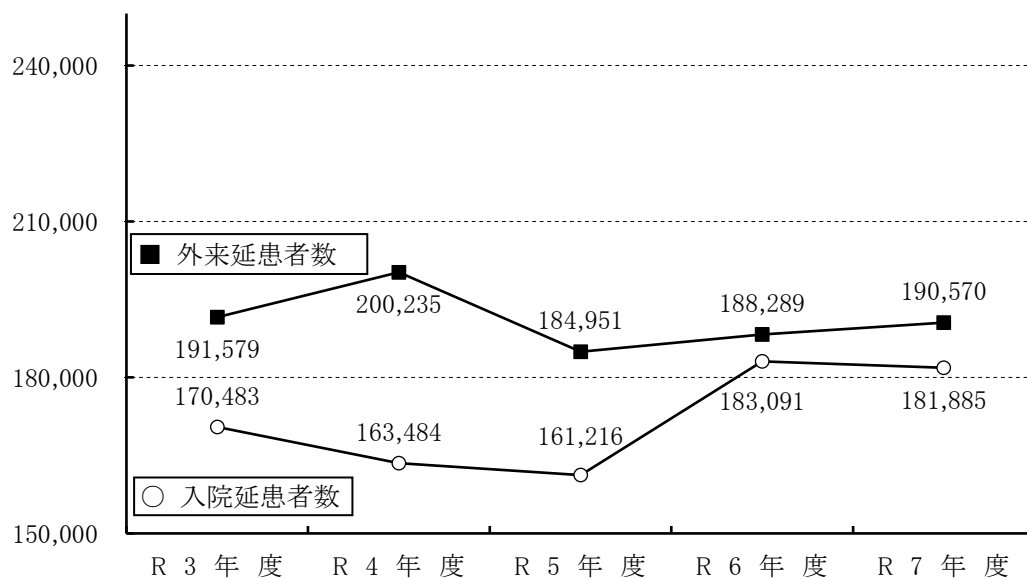
診 療 科	項 目 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
形 成 外 科		49	40	40	53	51	35	43	46	47	52	49	56	561
	皮膚の黒色腫及びその他の皮膚の悪性新生物	2	5	2	3	1	3	1	3	2	2	4	2	30
	皮膚及び皮下組織の感染症	2	1	2	3	7	1	0	1	1	5	1	2	26
	軟部組織障害	0	0	1	3	1	1	1	0	1	0	1	0	9
	骨障害及び軟骨障害	2	1	2	1	0	2	1	1	0	0	0	1	11
	眼、耳、顔面及び頸部の先天奇形	1	1	1	7	2	4	1	4	2	4	7	5	39
	手首及び手の損傷	3	1	3	5	5	1	2	4	6	5	2	4	41
	熱傷及び腐食	6	2	2	5	2	3	5	1	2	3	7	3	41
	その他	33	29	27	26	33	20	32	32	33	33	27	39	364
脳 神 経 外 科		63	55	52	57	47	46	60	43	56	62	61	61	663
	良性新生物	1	0	2	3	0	1	0	1	1	0	2	0	11
	中枢神経系の炎症性疾患	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	5
	脳血管疾患	39	39	29	33	27	29	43	33	36	36	33	42	419
	頭部損傷	15	7	12	13	12	9	9	4	7	15	8	10	121
	その他	7	9	8	8	8	7	8	5	12	11	16	8	107
救 急 科		53	37	46	33	36	43	39	46	42	46	37	39	497
	その他の細菌性疾患	2	2	5	4	5	5	1	0	3	2	3	2	34
	外的因子による肺疾患	3	2	2	1	1	1	1	0	3	2	1	0	17
	腎不全	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	胸部＜郭＞損傷	3	3	4	1	3	1	3	4	1	7	2	2	34
	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	1	0	3	1	5	4	3	7	4	4	3	1	36
	多部位の損傷	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
	熱傷及び腐食	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4
	薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	4	3	5	4	0	3	2	4	4	3	1	1	34
	薬用を主としない物質の毒作用	1	0	2	4	1	4	1	0	0	0	1	1	15
皮 膚 科		7	11	10	13	7	9	9	11	6	6	10	7	106
	皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	1	4	2	2	3	1	1	2	2	1	1	0	20
	水疱症	3	1	1	3	0	2	3	1	1	1	3	1	20
	じんま＜蕁麻疹＞疹及び紅斑	0	1	2	0	0	1	0	1	1	1	1	3	11
	その他	3	5	5	8	4	5	5	7	2	3	5	3	55
泌 尿 器 科		98	88	102	96	93	95	98	91	76	93	84	94	1108
	男性生殖器の悪性新生物	19	18	19	27	26	19	16	17	21	19	18	23	242
	腎尿路の悪性新生物	40	28	38	34	34	44	44	36	30	40	36	43	447
	腎不全	1	3	1	1	0	0	2	0	0	1	0	1	10
	尿路結石症	5	4	11	6	5	10	8	11	6	6	8	5	85
	腎及び尿管のその他の障害	0	3	2	0	2	2	0	2	0	0	0	2	13
	尿路系のその他の疾患	3	6	4	3	2	1	3	3	2	4	2	2	35
	腎尿路系の先天奇形	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	4
	その他	30	26	26	25	23	19	24	22	17	23	19	18	272
産 婦 人 科		130	125	143	130	135	136	146	133	132	150	131	145	1636
	女性生殖器の悪性新生物	21	23	25	18	17	21	21	22	21	28	23	26	266
	良性新生物	12	7	11	11	11	10	14	13	13	13	17	18	150
	性状不詳又は不明の新生物	4	5	6	4	7	3	3	8	7	5	6	7	65
	女性生殖器の非炎症性障害	8	13	11	13	11	17	15	16	9	12	12	11	148
	流産に終わった妊娠	3	4	7	2	3	3	2	2	1	3	1	8	39
	妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞における浮腫、たんぱく＜蛋白＞尿及び高血圧性障害	5	5	6	7	10	3	5	5	4	6	4	3	63
	主として妊娠に関連するその他の母体障害	6	6	3	9	3	13	6	4	8	4	5	5	72
	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	41	31	41	43	34	35	38	33	38	41	30	38	443
	分娩の合併症	21	26	23	17	24	18	30	21	25	25	22	20	272
	分娩	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	3
	その他	9	5	10	6	14	13	11	9	6	12	11	9	115

診 療 科	項 目 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新 生 児 内 科		38	41	53	41	46	41	44	32	41	54	42	40	513
	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	7	4	11	6	7	5	9	4	5	4	6	6	74
	周産期に特異的な感染症	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	4
	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	2	1	1	0	1	1	2	1	3	6	1	1	20
	胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害	0	0	0	1	3	0	1	0	1	1	2	1	10
	胎児及び新生児の外皮及び体温調節に関連する病態	3	8	2	7	1	1	4	2	4	6	2	1	41
	神経系の先天奇形	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	循環器系の先天奇形	2	0	2	0	0	4	2	0	0	1	0	1	12
	その他	24	28	37	26	33	30	26	25	28	35	29	29	350
眼 科		88	76	79	88	74	68	66	66	58	66	61	75	865
	水晶体の障害	34	31	33	37	26	30	23	22	17	29	25	31	338
	脈絡膜及び網膜の障害	42	37	37	38	36	32	36	33	31	29	26	33	410
	緑内障	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	5
	硝子体及び眼球の障害	11	8	9	13	10	6	7	10	9	7	9	10	109
	その他	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	3
耳 鼻 咽 喉 科		32	34	27	47	33	32	34	31	27	36	37	43	413
	中耳及び乳様突起の疾患	1	2	1	2	2	1	2	1	2	2	4	2	22
	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	4	3	7	4	4	2	7	3	3	7	5	3	52
	甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物	0	0	2	0	1	1	0	3	3	0	0	2	12
	急性上気道感染症	1	2	0	3	2	2	2	1	3	1	2	0	19
	口腔、唾液腺及び顎の疾患	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	7
	その他	25	26	16	37	24	26	22	23	16	26	25	35	301
麻 酔 科		0	0	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	8
歯 科 口 腔 外 科		20	22	17	30	35	22	19	19	23	28	23	24	282
	多数歯う蝕（障がい者歯科治療）	1	4	1	1	5	2	3	1	2	3	1	0	24
	顎骨骨折	1	1	1	2	3	0	1	2	2	4	5	2	24
	顎骨腫瘍（のう胞含む）	2	0	1	8	3	4	3	1	1	3	2	4	32
	軟組織腫瘍（良性・悪性）	2	3	1	5	1	2	1	3	5	6	2	3	34
	口唇裂・口蓋裂	0	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	5
	埋伏智歯	12	5	4	7	12	9	5	6	8	4	7	5	84
	歯性上顎洞炎	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	歯性感染症（顎骨骨髓炎、蜂窩織炎）	1	0	1	2	4	3	2	2	0	4	3	4	26
	その他	1	6	8	3	7	2	4	3	5	4	3	5	51

(5) 延患者数・一日平均患者数推移表

ア 入院・外来延患者数推移表

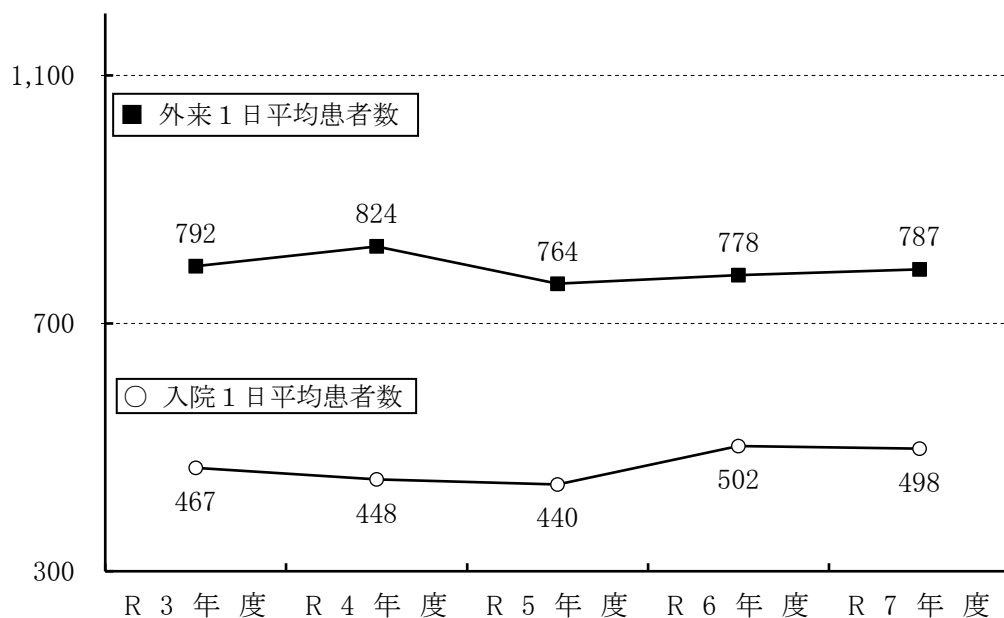
(単位：人)



区 分	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
入院延患者数	170,483	163,484	161,216	183,091	181,885
外来延患者数	191,579	200,235	184,951	188,289	190,570
合 計	362,062	363,719	346,167	371,380	372,455

イ 入院・外来一日平均患者数推移表

(単位：人)



区 分	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
入院1日平均	467	448	440	502	498
外来1日平均	792	824	764	778	787

(6) 住所地別患者数

(県内)

市郡名	市 町 村 名	入 院	外 来
市	鹿 児 島 市	101,152	129,553
	鹿 屋 市	5,468	3,538
	枕 崎 市	1,802	1,533
	阿 久 根 市	528	535
	出 水 市	2,555	1,482
	指 宿 市	4,566	3,467
	西 之 表 市	1,503	923
	垂 水 市	761	862
	薩 摩 川 内 市	6,060	4,305
	日 置 市	7,407	8,058
	曾 於 市	668	470
	霧 島 市	9,691	7,187
	いちき串木野市	3,929	3,316
	南 さ つ ま 市	3,107	2,829
	志 布 志 市	975	479
鹿児島郡	奄 美 市	1,765	520
	南 九 州 市	3,239	2,944
	伊 佐 市	1,424	1,124
	始 良 市	8,192	7,480
	小 計	164,792	180,605
薩摩郡	三 島 村	59	56
	十 島 村	34	83
	小 計	93	139
薩摩郡	さ つ ま 町	1,182	771

(県外)

市郡名	市 町 村 名	入 院	外 来
出水郡	長 島 町	468	356
始良郡	湧 水 町	754	583
曾於郡	大 崎 町	534	349
肝属郡	東 串 良 町	298	194
	錦 江 町	216	218
	南 大 隅 町	362	214
熊毛郡	肝 付 町	743	443
	小 計	1,619	1,069
	中 種 子 町	1,205	505
大島郡	南 種 子 町	548	399
	屋 久 島 町	1,660	1,209
	小 計	3,413	2,113
大島郡	大 和 村	256	53
	宇 検 村	25	15
	瀬 戸 内 町	135	67
	龍 郷 町	192	70
	喜 界 町	1,053	809
	徳 之 島 町	616	424
	天 城 町	371	176
	伊 仙 町	414	223
	和 泊 町	365	196
	知 名 町	169	146
	与 論 町	310	99
	小 計	3,906	2,278
県 内	合 計	176,761	188,263

(単位：人)

県 外	県 名	入 院	外 来
県	福 岡 県	656	250
	佐 賀 県	4	11
	長 崎 県	48	21
	熊 本 県	603	196
外	大 分 県	218	64
	宮 崎 県	1,188	695
	沖 縄 県	175	46
	そ の 他	2,232	1,024
県 外	合 計	5,124	2,307
(県内) + (県外)			
全 体	合 計	181,885	190,570

(7) 負担区分による患者延数

負担区分 入院・外来		社 保		国 保	退職医療	後期高齢者	医療扶助	公務災害 労働災害	そ の 他	合 計
		本 人	家 族							
令和7年度	入 院	36,831	40,111	40,774	61	54,187	6,930	1,642	1,349	181,885
	比率(%)	20.25	22.05	22.43	0.03	29.79	3.81	0.90	0.74	100.00
	外 来	47,080	36,169	43,604	173	49,162	7,005	1,454	5,923	190,570
令和7年度	比率(%)	24.70	18.98	22.88	0.09	25.80	3.68	0.76	3.11	100.00
	合 計	83,911	76,280	84,378	234	103,349	13,935	3,096	7,272	372,455
令和7年度	比率(%)	22.53	20.49	22.65	0.06	27.75	3.74	0.83	1.95	100.00
令和6年度	入 院	77,881	79,294	87,668	355	100,915	13,753	3,217	8,297	371,380
	比率(%)	20.97	21.35	23.61	0.10	27.17	3.70	0.87	2.23	100.00
令和5年度	入 院	73,541	76,228	84,771	325	86,121	13,625	2,688	8,868	346,167
	比率(%)	21.24	22.02	24.49	0.09	24.88	3.94	0.78	2.56	100.00
令和4年度	入 院	78,616	80,732	93,586	511	86,110	13,609	3,292	7,263	363,719
	比率(%)	21.61	22.20	25.73	0.14	23.67	3.74	0.91	2.00	100.00
令和3年度	入 院	75,380	81,394	94,484	580	84,365	14,848	3,018	7,993	362,062
	比率(%)	20.82	22.48	26.10	0.16	23.30	4.10	0.83	2.21	100.00

(8) 手術件数

(単位：人)

診療科	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
内科	0	0	0	0	1
糖尿病・内分泌内科	0	0	0	1	0
血液・膠原病内科	1	3	0	0	0
腎臓内科	29	41	25	34	42
脳神経内科	32	40	32	35	28
呼吸器内科	1	3	0	0	0
消化器内科	7	1	7	4	3
腫瘍内科	25	37	37	45	53
循環器内科	59	45	50	32	56
小児科	5	1	3	3	1
外科	-	-	-	-	-
消化器外科	680	664	616	670	663
呼吸器外科	191	201	121	127	148
乳腺外科	64	52	57	71	76
小児外科	334	280	242	280	203
心臓血管外科	261	247	211	208	221
整形外科	702	699	692	779	785
形成外科	419	420	374	453	465
脳神経外科	376	355	310	343	344
救急科	56	38	39	35	51
皮膚科	0	0	0	0	1
泌尿器科	649	679	602	662	683
産婦人科	992	916	937	917	1,003
新生児内科	25	50	35	17	14
眼科	814	883	875	951	1,073
耳鼻咽喉科	291	279	290	349	368
放射線科	0	0	0	11	9
麻酔科	2	1	2	1	2
歯科・歯科口腔外科	153	114	113	141	156
合計	6,168	6,049	5,670	6,169	6,449
前年度比(%)	99.69	98.07	93.73	108.80	104.54

※中央手術室実施分の件数。

(9) 麻酔種別件数

(単位：件)

年度	全麻	全麻＋硬麻	硬麻	脊麻	局麻	他	合計
令和7年度	3,374	681	5	749	421	1,222	6,452
令和6年度	3,336	630	4	704	429	1,067	6,170
令和5年度	3,042	596	6	653	377	1,002	5,676

(10) 手術・処置項目別件数

(単位：件)

診療科	項 目 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血液・ 膠原病内科		1	1	2	0	0	1	1	1	0	1	0	0	8
腎臓内科		7	2	3	3	1	5	4	4	5	2	4	2	42
	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	4
	末梢動脈瘻造設術（内シャント造設術）（単純なもの）	4	2	2	2	1	3	3	4	3	1	4	2	31
	その他	3	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	7
脳神経内科		10	8	11	10	8	8	12	11	11	8	8	13	118
	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術，腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	0	0	1	2	0	0	1	2	1	1	0	1	9
	気管切開術	1	0	0	1	1	0	1	0	2	0	2	1	9
	経皮的脳血栓回収術	1	1	4	1	1	3	2	1	3	1	1	3	22
	重症痙性麻痺治療薬髄腔内持続注入用植込型ポンプ薬剤再充填	4	4	4	3	4	3	3	4	3	4	2	6	44
	その他	4	3	2	3	2	2	5	4	2	2	3	2	34
呼吸器内科		2	3	1	2	1	1	0	1	0	1	3	13	28
消化器内科		101	111	121	119	94	115	147	125	122	116	112	99	1382
	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）（その他）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	7
	食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡によるもの，一連として）	0	2	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	6
	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	0	5	6	2	5	3	5	6	1	3	4	5	45
	超音波内視鏡下瘻孔形成術（腹腔内膿瘍に対するもの）	3	2	2	2	1	1	0	0	1	4	1	1	18
	内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術）	4	4	5	2	0	4	3	2	1	2	1	4	32
	内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）	4	0	3	3	1	1	1	1	2	0	1	3	20
	内視鏡的胆道結石除去術	1	6	1	0	1	3	1	4	1	0	1	2	21
	内視鏡的乳頭切開術	3	11	6	3	3	5	5	7	6	5	6	2	62
	その他	85	80	98	107	83	98	132	104	108	99	97	80	1171
腫瘍内科		14	14	16	19	7	11	10	13	22	18	10	14	168
循環器内科		65	65	60	78	49	58	55	57	69	63	68	72	759
	経皮的カテーテル心筋焼灼術	18	18	17	18	18	24	19	14	18	17	19	18	218
	経皮的冠動脈ステント留置術	11	6	5	5	3	6	4	10	7	3	3	13	76
	経皮的冠動脈形成術	8	6	6	12	7	8	7	6	8	11	6	4	89
	大動脈バルーンパンピング法	1	0	0	11	0	0	1	2	0	0	6	0	21
	ペースメーカー移植術	4	13	5	4	6	3	6	6	11	8	11	6	83
	四肢の血管拡張術・血栓除去術	15	16	20	12	9	11	14	13	14	17	18	16	175
	その他	8	6	7	16	6	6	4	6	11	7	5	15	97
小児科		6	7	4	10	4	7	7	5	8	5	4	2	69
	腸重積症整復術（非観血的なもの）	1	2	0	3	1	1	0	3	5	3	0	1	20
	その他	5	5	4	7	3	6	7	2	3	2	4	1	49

診療科	項 目 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消化器外科		75	74	76	67	64	77	75	71	72	88	69	84	892
	肝切除術（2区域切除）	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に限局する）	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5
	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍）	1	1	3	3	1	1	1	1	2	1	0	1	16
	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	7	9	7	3	5	6	7	4	3	6	4	4	65
	腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）（内視鏡手術用支援機器使用）	0	2	0	0	1	1	3	3	1	1	1	3	16
	腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4
	膵頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う）	1	0	2	2	0	1	2	1	1	1	0	0	11
	その他	65	61	63	58	54	67	62	62	65	79	64	73	773
呼吸器外科		9	15	13	14	15	11	13	14	12	13	12	9	150
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）	1	2	4	0	3	1	1	2	2	3	4	5	28
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除、1肺葉超・手術用支援機器使用）	1	3	3	5	4	4	3	3	2	1	1	2	32
	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの））	2	1	1	1	2	0	2	1	1	2	1	1	15
	その他	5	9	5	8	6	6	7	8	7	7	6	1	75
乳 腺 外 科		6	8	9	5	5	8	9	5	9	4	9	9	86
	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除併施しない）	2	3	1	1	0	0	1	1	2	0	0	1	12
	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・腋窩部郭清を伴わないもの）	1	2	1	2	3	2	4	1	3	2	5	1	27
	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	2	3	1	2	2	1	2	2	1	2	0	1	19
	乳腺腫瘍摘出術（長径5cm以上）	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	1	0	5	0	0	5	2	1	3	0	4	6	27
小 児 外 科		24	24	19	28	29	28	26	19	15	12	7	24	255
	腹腔鏡下虫垂切除術	3	4	2	0	2	3	2	0	1	1	1	3	22
	ヘルニア手術（臍ヘルニア）	0	1	0	1	2	1	2	2	1	1	0	2	13
	停留精巣固定術	12	11	2	13	16	7	7	3	3	2	2	7	85
	経皮的内視鏡下胃瘻造設術	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	その他	9	8	15	13	9	17	15	13	10	8	4	12	133
心 臓 血 管 外		24	30	25	28	19	51	38	38	38	20	27	31	369
	ステントグラフト内挿術（胸部大動脈）	2	2	0	3	0	2	4	1	3	3	2	1	23
	下肢静脈瘤血管内焼灼術	1	0	1	1	0	1	1	3	3	1	2	5	19
	冠動脈バイパス移植術	2	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	7
	大動脈瘤切除術（胸部）	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	不整脈手術（メイズ手術）	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	4
	弁置換術	0	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	6
	その他	18	25	22	22	18	46	33	32	31	14	22	24	307
整 形 外 科		91	75	77	111	85	93	103	98	101	93	94	96	1117
	骨折観血的手術（前腕）	4	4	1	2	2	2	0	3	2	0	3	3	26
	骨折観血的手術（大腿）	3	2	0	2	2	2	0	1	3	9	3	2	29
	骨長調整手術（骨端軟骨発育抑制術）	0	0	0	0	7	4	4	0	2	1	0	1	19
	人工関節置換術（股）	3	2	1	2	0	1	4	1	3	0	3	1	21
	人工関節置換術（膝）	1	0	2	0	1	2	3	0	0	0	1	1	11
	人工骨頭挿入術（股）	3	4	1	2	3	0	2	0	6	4	4	0	29
	内反足手術	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	7
	その他	77	62	72	102	70	81	89	93	84	78	80	87	975

診療科	項 目 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
形 成 外 科		131	116	117	135	125	109	105	118	112	115	100	115	1398
	眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）	7	3	2	9	4	4	3	2	7	8	5	6	60
	顔面多発骨折観血的手術	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	合指症手術（骨関節形成を要す）	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4
	切断四肢再接合術（手・指）	2	0	2	1	2	1	0	1	2	0	0	1	12
	多指症手術（骨関節形成を要す）	3	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	9
	皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	2	6	7	6	2	1	1	4	3	2	5	1	40
	その他	117	107	105	119	115	103	99	107	99	104	90	106	1271
脳 神 経 外 科		46	33	32	43	42	27	42	23	35	32	34	37	426
	経皮的頸動脈ステント留置術	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	7
	水頭症手術（シャント手術）	1	1	1	2	1	1	4	1	0	1	3	3	19
	頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜下）	1	1	0	1	2	1	0	1	0	3	0	0	10
	頭蓋内血腫除去術（開頭・脳内）	3	0	1	2	1	0	1	0	0	1	1	2	12
	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	2	0	3	3	0	0	0	1	2	0	3	1	15
	脳血管内手術（1箇所）	2	3	4	4	1	2	8	4	5	2	4	4	43
	脳血管内手術（脳血管内ステントを用いるもの）	6	4	2	2	0	0	4	2	4	1	2	3	30
	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）	2	3	2	1	4	0	2	1	1	1	2	3	22
	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	3	0	0	1	2	2	0	0	0	1	0	0	9
	その他	25	18	19	27	31	20	23	13	23	22	17	20	259
救 急 科		37	39	40	39	54	41	63	50	68	56	49	50	586
	開胸心臓マッサージ	0	0	0	1	1	3	1	2	2	0	1	0	11
	経皮的心肺補助法（初日）	1	0	1	1	1	0	0	0	2	2	1	1	10
	経皮的動脈遮断術	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	心膜切開術	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	6
	その他	36	38	39	37	51	36	61	48	64	51	47	49	557
皮 膚 科		1	0	2	3	4	4	5	2	2	6	4	6	39
	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	0	0	0	0	2	0	0	1	1	2	2	2	10
	皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	0	0	2	1	2	1	2	0	0	1	1	1	11
	皮膚切開（長径10cm未満）	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	1	3	9
	その他	1	0	0	0	0	2	2	0	1	3	0	0	9
泌 尿 器 科		118	106	116	98	113	90	108	83	77	84	77	87	1157
	経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術（ホルミウム又は倍周波数レーザー）	3	3	2	3	3	3	4	1	4	2	2	1	31
	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術（一連につき）	3	2	3	3	0	0	2	0	1	2	0	0	16
	末梢動脈瘻造設術（内シャント造設術）（単純なもの）	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	2	2	1	0	2	4	2	0	2	0	0	4	19
	腹腔鏡下副腎摘出術	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	1	0	5
	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	4	2	1	2	0	1	1	2	1	3	0	2	19
	その他	106	96	108	90	105	82	99	80	69	76	74	80	1065

診療科	項 目 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
産 婦 人 科		116	117	112	115	124	124	140	97	118	137	108	110	1418
	子宮筋腫摘出（核出）術	0	3	0	1	0	1	0	1	4	2	3	0	15
	子宮全摘術（開腹と腹腔鏡による）	3	5	3	6	8	7	6	3	5	9	6	8	69
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（開腹と腹腔鏡による）	6	7	3	3	1	1	4	4	4	5	7	3	48
	子宮脱手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	帝王切開術（緊急切開）	28	25	29	24	23	19	29	26	26	22	22	20	293
	帝王切開術（選択切開）	12	14	11	13	14	12	15	6	12	16	13	6	144
	子宮頸管縫縮術	3	4	9	3	6	9	11	6	4	7	6	5	73
	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	64	59	57	64	72	75	75	51	63	76	50	68	774
新 生 児 内 科		14	18	15	7	12	9	14	10	7	16	10	10	142
	気管切開術	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	新生児仮死蘇生術（仮死第1度）	5	6	9	4	5	4	4	5	6	6	6	7	67
	新生児仮死蘇生術（仮死第2度）	6	3	2	2	2	4	6	1	0	5	2	1	34
	水頭症手術（シャント手術）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	網膜光凝固術（その他特殊なもの・一連につき）	0	0	1	0	2	0	1	0	0	1	1	1	7
	その他	414	391	335	448	363	330	360	333	312	300	312	398	4296
眼 科		154	136	127	150	135	114	125	123	113	105	107	143	1532
	硝子体茎頭微鏡下離断術（その他）	4	6	7	8	6	3	5	5	2	5	4	5	60
	硝子体茎頭微鏡下離断術（網膜付着組織を含むもの）	37	25	25	30	28	24	28	30	27	22	23	21	320
	水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合・その他のもの）	76	71	73	81	69	64	64	66	55	61	57	77	814
	水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合・縫着レンズを挿入するもの）	13	8	3	9	9	6	5	4	4	2	5	5	73
	増殖性硝子体網膜症手術	2	10	4	6	5	3	4	1	3	1	2	9	50
	網膜光凝固術（その他特殊なもの・一連につき）	1	3	0	1	3	1	3	3	5	1	3	2	26
	網膜光凝固術（通常のもの・一連につき）	2	2	3	1	4	0	2	3	2	2	3	5	29
	網膜復位術	3	0	3	3	3	2	2	1	2	2	1	1	23
	緑内障手術（濾過手術）	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	15	11	9	11	7	11	12	10	13	9	9	18	135
耳 鼻 咽 喉 科		51	59	40	74	40	49	55	41	43	45	49	56	602
	咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
	鼓膜形成手術	1	1	1	2	2	1	1	0	2	1	3	2	17
	甲状腺悪性腫瘍手術（全摘）（頸部外側区域郭清を伴わないもの）	0	0	2	0	1	1	0	3	2	0	0	0	9
	耳下腺腫瘍摘出術（浅葉）	1	1	1	1	1	1	1	0	2	2	1	1	13
	人工内耳植込術	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3
	舌悪性腫瘍手術（切除）	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型（選択的（複数洞）副鼻腔手術）	6	1	2	6	0	4	7	10	2	6	2	1	47
	その他	41	56	33	65	35	42	45	28	34	35	43	50	507
麻 酔 科		2	1	1	0	13	3	0	4	0	0	0	0	24
	気管切開術	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4
	その他	0	1	1	0	13	2	0	3	0	0	0	0	20

診療科	項 目 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
歯 口 腔 外 科		103	143	116	158	152	111	131	99	143	140	143	115	1554
	集中的歯科治療	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	顎骨（歯槽骨含む）骨折整復固定術	1	3	1	7	6	2	0	1	3	4	4	0	32
	顎骨（のう胞含む）摘出術	4	11	10	18	6	6	12	5	6	14	9	14	115
	軟組織腫瘍（悪性・良性）切除術	4	4	3	9	4	5	1	3	2	10	3	7	55
	拔牙術	71	79	63	88	99	73	92	61	90	74	91	63	944
	上顎洞手術	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	歯性感染症（顎骨骨髓炎症, 蜂窩織炎）	1	2	4	1	1	5	3	2	9	12	4	5	49
	唾液腺疾患手術	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	5
	その他	21	44	35	35	35	20	22	25	33	24	31	25	350
総 計		1208	1205	1155	1316	1195	1155	1288	1112	1202	1180	1108	1197	14321

(11) 検査件数

ア 取扱い検査項目別件数（単位：件）※輸血検査についてはE単位で算定する

検査項目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
一般検査	55,452	56,456	56,789	57,642	57,618
血液検査	740,484	741,300	742,110	789,201	791,092
血清検査	63,832	90,905	70,589	68,659	64,610
細菌検査	55,298	54,767	49,645	55,293	55,293
輸血検査	35,271	40,393	34,223	37,098	40,615
生化学検査	2,009,225	2,044,252	2,046,642	2,225,529	2,233,383
その他の検査	—	—	—	—	—
生理機能検査	38,398	39,129	37,922	38,617	39,736
院内検査計	2,997,960	3,067,202	3,037,920	3,272,039	3,282,347
院外検査計	27,104	27,382	26,241	30,451	31,547
合計	3,025,064	3,094,584	3,064,161	3,302,490	3,313,894

イ 令和7年度診療科別取扱い項目件数

診療科	内科	血液・膠原病内科	糖尿病・内分泌内科	腎臓内科	脳神経内科	呼吸器内科	消化器内科	腫瘍内科	循環器内科	小児科	整形外科
項目数（件）	18,289	223,496	86,581	133,843	102,718	132,099	275,081	163,825	109,237	130,693	26,355
構成比（％）	0.9	10.7	4.1	6.4	4.9	6.3	13.2	7.8	5.2	6.3	1.3
診療科	リウマチ科	消化器外科	呼吸器外科	乳腺外科	心臓血管外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	新生児内科	産科
項目数（件）	0	41,517	15,500	44,175	6,830	15,185	31,305	16,143	173,169	2,317	29,733
構成比（％）	0.0	2.0	0.7	2.1	0.3	0.7	1.5	0.8	8.3	0.1	1.4
診療科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科	小児外科	放射線科	麻酔科	救急科	精神科	産科新生児科	合計
項目数（件）	105,682	18,790	42,610	13,870	8,395	443	1,195	119,402	59	4	2,088,541
構成比（％）	5.1	0.9	2.0	0.7	0.4	0.0	0.1	5.7	0.0	0.0	100

ウ 令和7年度病棟別取扱い項目件数

診療科	ICU	救急病棟	4階北	4階南	MFICU	NICU	GCU	新生児回復室	5階北
項目数（件）	128,966	114,386	59,023	40,757	25,878	82,243	16,730	0	57,478
構成比（％）	10.5	9.3	4.8	3.3	2.1	6.7	1.4	0.0	4.7
診療科	5階南	SCU	6階北	6階南	7階北	7階南	8階北	8階南	その他
項目数（件）	94,390	27,038	115,405	130,588	58,016	80,878	50,671	133,103	9,437
構成比（％）	7.7	2.2	9.4	10.7	4.7	6.6	4.1	10.9	0.8
									合計
									1,224,987
									100

(12) 放射線取扱い件数等

ア 利用人数

(単位：人)

区 分	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度	構成比(%)
一 般 撮 影	75,002	76,975	75,315	79,386	80,985	63.88
血 管 造 影	1,531	1,550	1,585	1,732	1,859	1.47
透 視	2,635	2,783	2,826	3,364	3,492	2.75
R I	2,358	2,272	1,965	1,873	1,761	1.39
C T	22,671	23,178	22,790	24,425	24,213	19.10
M R I	7,801	7,905	8,079	8,497	8,523	6.72
放射線治療(a+b)	7,873	6,723	6,237	6,531	5,951	4.69
a リニアック	7,813	6,679	6,194	6,483	5,908	4.66
b アフターローディング	60	44	43	48	43	0.03
合 計	119,871	121,386	118,797	125,808	126,784	100.00

イ 年度別取扱い

(単位：件、枚)

区 分	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
放 射 線 取 扱 件 数	155,722	160,900	159,689	170,530	172,051
使 用 フ ィ ル ム	12	9	0	13	6

ウ 診療科別利用状況

(単位：人)

診 療 科	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度	構成比(%)
内 科	212	218	223	187	240	0.19
糖尿病・内分泌内科	234	221	292	386	287	0.23
血液・膠原病内科	2,454	2,258	2,078	2,434	2,651	2.09
腎 臓 内 科	705	737	717	894	815	0.64
脳 神 経 内 科	5,036	4,875	4,530	5,202	5,541	4.37
呼 吸 器 内 科	13,126	13,212	13,437	12,243	13,205	10.42
消 化 器 内 科	7,210	7,998	8,274	8,962	9,226	7.28
循 環 器 内 科	6,918	6,596	5,922	6,778	7,248	5.72
腫 瘍 内 科	3,890	3,760	4,074	4,276	3,832	3.02
小 児 科	5,025	5,326	6,207	6,417	6,445	5.08
消 化 器 外 科	5,685	5,890	5,670	5,739	5,716	4.51
呼 吸 器 外 科	4,085	4,441	3,328	3,471	3,477	2.74
乳 腺 外 科	2,941	3,080	3,086	2,934	2,396	1.89
小 児 外 科	1,331	1,340	1,288	1,150	1,165	0.92
心 臓 血 管 外 科	2,198	2,071	2,073	2,147	2,371	1.87
整 形 外 科	10,357	11,300	11,069	11,933	11,849	9.35
リウマチ科	0	0	0	0	0	0.00
形 成 外 科	1,545	1,619	1,445	1,564	1,509	1.19
脳 神 経 外 科	7,772	7,757	7,376	8,001	8,469	6.68
救 急 科	6,975	5,990	7,111	9,678	8,223	6.49
皮 膚 科	223	204	228	218	203	0.16
泌 尿 器 科	8,205	8,092	7,399	8,796	8,678	6.84
産 婦 人 科	5,079	4,671	4,865	4,870	5,345	4.22
新 生 児 内 科	7,228	7,421	6,622	4,731	4,984	3.93
眼 科	695	732	734	828	820	0.65
耳 鼻 咽 喉 科	3,028	3,254	3,181	3,367	3,078	2.43
放 射 線 科	2,996	3,141	3,060	3,118	2,916	2.30
麻 酔 科	1,878	2,375	1,800	2,699	2,928	2.31
歯科・歯科口腔外科	2,840	2,807	2,708	2,785	3,167	2.50
合 計	119,871	121,386	118,797	125,808	126,784	100.00

(13) 薬剤業務件数

ア 調剤業務件数

(単位：枚)

項 目	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
処 方 箋 枚 数	173,779	171,402	171,843	187,794	192,396
入 院	97,652	93,372	95,073	109,665	112,705
外 来	76,127	78,030	76,770	78,129	79,691
外来院内	2,296	1,973	2,020	2,408	2,082
外来院外	73,831	76,057	74,750	75,721	77,609
院外処方箋発行率	97.0%	97.5%	97.4%	96.9%	97.4%

イ 注射薬調剤業務件数

(単位：枚)

項 目	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
注 射 箋 枚 数	195,259	199,092	195,948	218,669	213,430
入 院	176,508	180,494	176,582	197,207	193,203
外 来	18,751	18,598	19,366	21,462	20,227

ウ 薬剤治療管理業務件数

(単位：件)

項 目	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
血中濃度測定件数	3,444	3,592	3,514	3,602	3,380
入 院	1,555	1,641	1,397	1,397	1,289
外 来	1,889	1,951	2,117	2,205	2,091

エ 製剤業務件数

(単位：件)

項 目	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
滅菌製剤	品 目 数	4	3	3	3
	件 数	521	536	523	567
一般製剤	品 目 数	14	15	11	13
	件 数	743	518	394	436
軟 膏	品 目 数	5	7	4	4
	件 数	417	415	359	364
合 計	品 目 数	23	25	18	20
	件 数	1,681	1,469	1,276	1,367

オ 無菌調製業務件数

(単位：件)

項 目	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
I V H	2,742	2,238	1,909	1,805	1,845
新生児センター輸液	520	349	352	365	364
抗 悪 性 腫 瘍 剤	16,870	17,075	16,426	16,387	16,002

カ 薬剤管理指導業務件数

(単位：件)

項 目	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
患 者 数	10,595	10,011	11,821	17,852	16,430
件 数	11,628	11,659	13,494	18,611	21,982

(14) 病理診断件数

(単位：件)

項 目	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
病 理 組 織 診 断	6,521	6,261	6,100	6,386	6,707
術中迅速組織診断	331	299	303	260	319
細 胞 診	6,372	5,808	5,198	5,302	5,475
合 計	13,224	12,368	11,601	11,948	12,501
前 年 度 比 (%)	100.62	93.53	93.80	102.99	104.63

(15) リハビリテーション患者延人数

ア 療法別延人数

(単位：人)

項 目	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
理 学 療 法	29,721	22,759	28,371	35,562	36,769
前年度比 (%)	109.56	76.58	124.66	125.35	103.39
作 業 療 法	11,583	13,339	14,713	14,774	19,076
前年度比 (%)	89.83	115.16	110.30	100.41	129.12
言 語 療 法	7,474	7,048	8,731	9,773	9,827
前年度比 (%)	106.86	94.30	123.88	111.93	100.55
合 計	48,778	43,146	51,815	60,109	65,672
前年度比 (%)	103.75	88.45	120.09	116.01	109.25

イ 入院・外来別延人数

(単位：人)

項 目	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
入 院	47,601	42,051	50,663	58,903	64,218
構 成 比 (%)	97.59	97.46	97.78	97.99	97.79
外 来	1,177	1,095	1,152	1,206	1,454
構 成 比 (%)	2.41	2.54	2.22	2.01	2.21
合 計	48,778	43,146	51,815	60,109	65,672

(16) 分娩件数

(単位：人、件)

区 分	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
男 児 数	361	334	347	320	364
女 児 数	365	339	338	311	329
性 別 不 明	0	1	2	0	0
分 娩 件 数	※726	※601	※629	※576	623
前 年 度 比 (%)	100.13	-	104.66	91.57	108.16

※ 分娩件数は、妊娠22週以降の死産を含む。4年度より、胎児数から母体数へ積算方法を変更。

(17) 年度別死亡者数及び解剖数

(単位：人)

項 目	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
死 亡 者 数	378	406	387	491	458
解 剖 数	19	12	7	7	5
剖 検 率 (%)	5.0	2.96	1.81	1.43	1.09

(18) 患者給食食別件数

(単位：食)

区 分		3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
一般治療食	流 動 食	2,363	2,403	2,845	3,658	4,385
	軟 食	53,792	56,658	57,029	70,519	68,753
	常 食	146,036	139,434	134,140	157,783	162,349
	小 計	202,191	198,495	194,014	231,960	235,487
特 別 治 療 食	口腔・咽頭食道疾患食	89	118	88	81	91
	胃 ・ 腸 疾 患 食	17,479	17,484	17,068	20,430	17,354
	肝 ・ 胆 疾 患 食	4,269	4,237	2,361	3,949	3,998
	脾 臓 疾 患 食	5,170	6,348	4,527	4,751	4,186
	心 臓 疾 患 食	12,166	10,605	10,442	10,235	9,953
	高 血 圧 症 食	9,182	8,031	9,906	9,390	8,549
	腎 臓 疾 患 食	17,134	15,097	11,059	14,708	12,692
	貧 血 症 食	760	527	406	340	163
	糖 尿 病 食	44,214	39,814	37,683	42,081	42,548
	肥 満 症 食	381	168	552	261	144
	高 脂 血 症 食	1,569	2,338	2,170	1,999	2,658
	痛 風 食	8	0	0	0	36
	妊 娠 高 血 圧 食	3,069	3,285	4,139	3,802	4,005
	食 欲 不 振 食	5,058	5,143	7,253	6,245	7,662
	検 査 食	270	203	177	249	175
	無 (低) 菌 食	3,239	804	1,241	1,712	2,099
	濃 厚 流 動 食	33,076	30,710	25,356	37,823	36,568
	離 乳 食	2,875	2,809	4,298	3,345	2,196
	小 児 期 食	9,220	8,603	8,013	10,849	9,106
	乳 児 期 食	53,606	52,928	54,022	43,386	38,457
	そ の 他	0	0	0	0	0
	小 計	222,384	209,252	200,761	215,636	202,640
合 計		425,025	407,747	394,775	447,596	438,127
前 年 度 比 (%)		95.82	95.93	96.82	113.38	97.88

(19) 栄養食事指導件数

(単位：件)

食 種 日 付		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		加算	非加算	合 計	加算	非加算	合 計	加算	非加算	合 計	加算	非加算	合 計	加算	非加算	合 計
流 動 食	外 来			0			0			2			1			8
	入 院							2			1			4	4	
軟 食	外 来			1			0	1		2			0			9
	入 院	1						1						2	7	
常 食	外 来	3		7	3	2	7	3		8	1	3	5	6	5	23
	入 院	2	2			2		4	1			1		8	4	
胃・腸疾患食	外 来	39	1	348	64		364	50		373	72	2	522	45		484
	入 院	306	2		294	6		311	12		439	9		408	31	
肝・胆疾患食	外 来	10		17	7		10	10		18	14		22	16	1	40
	入 院	7			2	1		8			8			23		
脾臓疾患食	外 来	3		26	2		24	1		25	1		25			36
	入 院	23			20	2		24			24			36		
心臓疾患食	外 来	1		72	2		45	4		67	5		59	10	1	81
	入 院	71			43			59	4		53	1		66	4	
高血圧症食	外 来	4		44	8		56	7		69	12		58	34		83
	入 院	39	1		46	2		58	4		45	1		48	1	
腎臓疾患食	外 来	58		154	73		131	36	1	66	50		94	64	1	118
	入 院	95	1		55	3		29			44			51	2	
貧血症食	外 来	2		3			1	1		1			0	5		7
	入 院	1			1									2		
糖尿病食	外 来	179		412	206		385	146		345	205		464	159	3	451
	入 院	229	4		179			197	2		253	6		275	14	
エネルギー調整食	外 来	5		10	10	1	12	5		16	11		20	67	1	77
	入 院	5			1			10	1		9			9		
脂質異常症食	外 来	4	1	13	9		43	4		23	5		30	18	1	54
	入 院	8			34			18	1		25			35		
痛 風 食	外 来	1		2	1		1	1		1			1	1		1
	入 院	1									1					
先天性代謝異常食	外 来			0			0			0			0	1		1
	入 院															
妊娠高血圧症食	外 来			52	2		52	5		67	2		53	1		43
	入 院	51	1		50			61	1		51			42		
アレルギー食	外 来			0			0			0			0			0
	入 院															
が ん	外 来	584		598	720	2	754	667		702	672		709	739	3	789
	入 院	14			32			34	1		37			47		
低 栄 養	外 来	3		6	5	1	9			2			2			2
	入 院	3			3			2			2			1	1	
嚥 下 障 害	外 来			6			7	1		7			3			6
	入 院	6			7			6			3			5	1	
離 乳 期 食	外 来	3		5	2		4	1		2			2		1	1
	入 院	1	1		1	1		1			1	1				
幼 児 期 食	外 来	1		2	1		1			1	2	4	8	5	4	14
	入 院	1							1		2			3	2	
母 親 学 級				0			0		12	12		122	122		145	145
計	外 来	900	2	1,778	1,115	6	1,906	943	1	1,809	1,052	9	2,078	1,171	21	2,328
	入 院	864	12		768	17		825	40		997	20		1,065	71	
集 団 指 導	外 来			48			39			33			46			20
	入 院	48			39			33			46			20		
	小 計			48			39			33			46			20
病 棟 訪 問				3,799			3,437			4,321			5,479			4,952
総 合 計				5,625			5,382			6,163			7,603			7,300

7. 救 急 統 計 (救命救急センター受付分)

(1) 診療科別救急患者数

(単位：人)

診 療 科	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
内 科	4,174	3,488	6(8)	0	4
糖尿病・内分泌内科	8	26	21	19(21)	17
血液・膠原病内科	47	56	74(75)	52(54)	51
腎 臓 内 科	26	45	23	28	22(23)
脳 神 経 内 科	440	370	351(352)	474(479)	465
呼 吸 器 内 科	377	272	214	140(143)	164(166)
消 化 器 内 科	255	328	315(318)	371(375)	310
腫 瘍 内 科	70	82	42(43)	46	40
循 環 器 内 科	463	357	274(277)	389(393)	410(414)
小 児 科	1,384	1,572	1,788(1,793)	1,843(1,852)	1,716(1,719)
精 神 科	1	1	0	2	1
消 化 器 外 科	250	264	211(213)	193(194)	184
呼 吸 器 外 科	26	16	16	25	21
乳 腺 外 科	34	31	18	10	11
小 児 外 科	254	183	153(154)	134	117(118)
心 臓 血 管 外 科	32	16	8	13	13(15)
整 形 外 科	272	288	215	272(274)	274
リ ウ マ チ 科	0	0	0	0	0
形 成 外 科	214	191	159	193(195)	190
脳 神 経 外 科	428	399	395(397)	493	505(508)
救 急 科	3,683(3,684)	3,632	4,211(4,212)	5,547(5,548)	4,801(4,803)
皮 膚 科	4	11	2	9	16
泌 尿 器 科	330	244	194	213	255
産 婦 人 科	243(561)	283(575)	266(706)	293(689)	308(761)
新 生 児 内 科	8(340)	5(321)	26(488)	19(514)	12(552)
眼 科	9	12	6(11)	6	2(4)
耳 鼻 咽 喉 科	34	28	37(39)	46(52)	35(38)
放 射 線 科	0	1	0	1	1
麻 酔 科	100	103	15(18)	11(15)	7(9)
歯科・歯科口腔外科	76	56	35	45(46)	53(54)
合 計	13,242(13,893)	12,360(12,968)	9,075(10,009)	10,887(11,827)	10,005(11,024)
前 年 度 比 (%)	153.94(150.41)	93.94(93.34)	73.42(77.18)	119.97(118.16)	91.90(93.21)

※ () 内は、直接搬入された患者を含む。令和5年度以降、MFICU・NICU・救急科以外も () 内に計上。

(2) 時間内・時間外別患者数

(単位：人，％)

区 分		3 年 度		4 年 度		5 年 度		6 年 度		7 年 度	
入 院	時 間 内	1,941 (14.6)	2,002 (14.4)	1,851 (15.0)	1,901 (14.7)	2,798 (30.8)	3,228 (32.3)	3,503 (32.2)	4,010 (33.9)	3,382 (33.8)	3,897 (35.4)
	時 間 外	2,196 (16.6)	2,669 (19.2)	2,200 (17.8)	2,644 (20.3)	1,396 (15.4)	1,773 (17.6)	1,801 (16.5)	2,135 (18.1)	1,683 (16.8)	2,055 (18.6)
	計	4,137 (31.2)	4,671 (33.6)	4,051 (32.8)	4,545 (35.0)	4,194 (46.2)	5,001 (50.0)	5,304 (48.7)	6,145 (52.0)	5,065 (50.6)	5,952 (54.0)
外 来	時 間 内	5,178 (39.1)	5,186 (37.3)	4,369 (35.3)	4,379 (33.8)	3,255 (35.9)	3,315 (33.1)	3,585 (32.9)	3,641 (30.8)	3,267 (32.7)	3,338 (30.3)
	時 間 外	3,927 (29.7)	4,036 (29.1)	3,940 (31.9)	4,044 (31.2)	1,626 (17.9)	1,693 (16.9)	1,998 (18.4)	2,041 (17.2)	1,673 (16.7)	1,734 (15.7)
	計	9,105 (68.8)	9,222 (66.4)	8,309 (67.2)	8,423 (65.0)	4,881 (53.8)	5,008 (50.0)	5,583 (51.3)	5,682 (48.0)	4,940 (49.4)	5,072 (46.0)
合 計	時 間 内	7,119 (53.7)	7,188 (51.7)	6,220 (50.3)	6,280 (48.5)	6,053 (66.7)	6,543 (65.5)	7,088 (65.1)	7,651 (64.7)	6,649 (66.5)	7,235 (65.7)
	時 間 外	6,123 (46.3)	6,705 (48.3)	6,140 (49.7)	6,688 (51.5)	3,022 (33.3)	3,466 (34.5)	3,799 (34.9)	4,176 (35.3)	3,356 (33.5)	3,789 (34.3)
	計	13,242 (100.0)	13,893 (100.0)	12,360 (100.0)	12,968 (100.0)	9,075 (100.0)	10,009 (100.0)	10,887 (100.0)	11,827 (100.0)	10,005 (100.0)	11,024 (100.0)

※（ ）内は，構成比

※右欄は，MFICU・NICU等に直接搬入された患者を含む。

(3) 市内・市外別患者数

(単位：人，％)

区 分		3 年 度		4 年 度		5 年 度		6 年 度		7 年 度	
入 院	市 内	2,844 (21.5)	3,089 (22.2)	2,841 (23.0)	3,059 (23.5)	2,937 (32.4)	3,295 (32.8)	3,686 (33.9)	4,092 (34.6)	3,493 (34.9)	3,901 (35.4)
	市 外	1,293 (9.7)	1,582 (11.4)	1,210 (9.8)	1,486 (11.5)	1,257 (13.9)	1,706 (17.0)	1,618 (14.9)	2,053 (17.4)	1,572 (15.7)	2,051 (18.6)
	計	4,137 (31.2)	4,671 (33.6)	4,051 (32.8)	4,545 (35.0)	4,194 (46.2)	5,001 (50.0)	5,304 (48.7)	6,145 (52.0)	5,065 (50.6)	5,952 (54.0)
外 来	市 内	7,773 (58.7)	7,839 (56.4)	7,113 (57.5)	7,197 (55.5)	3,846 (42.4)	3,908 (39.0)	4,413 (40.5)	4,479 (37.9)	3,881 (38.8)	3,970 (36.0)
	市 外	1,332 (10.1)	1,383 (10.0)	1,196 (9.7)	1,226 (9.5)	1,035 (11.4)	1,100 (11.0)	1,170 (10.7)	1,203 (10.1)	1,059 (10.6)	1,102 (10.0)
	計	9,105 (68.8)	9,222 (66.4)	8,309 (67.2)	8,423 (65.0)	4,881 (53.8)	5,008 (50.0)	5,583 (51.3)	5,682 (48.0)	4,940 (49.4)	5,072 (46.0)
合 計	市 内	10,617 (80.2)	10,928 (78.6)	9,954 (80.5)	10,256 (79.0)	6,783 (74.7)	7,203 (71.9)	8,099 (74.4)	8,571 (72.5)	7,374 (73.7)	7,871 (71.4)
	市 外	2,625 (19.8)	2,965 (21.4)	2,406 (19.5)	2,712 (21.0)	2,292 (25.3)	2,806 (28.1)	2,788 (25.6)	3,256 (27.5)	2,631 (26.3)	3,153 (28.6)
	計	13,242 (100.0)	13,893 (100.0)	12,360 (100.0)	12,968 (100.0)	9,075 (100.0)	10,009 (100.0)	10,887 (100.0)	11,827 (100.0)	10,005 (100.0)	11,024 (100.0)

※（ ）内は，構成比

※右欄は，MFICU・NICU等に直接搬入された患者を含む。

(4) 救急車搬入患者数

ア 時間内・時間外別患者数

(単位：人，％)

区 分		3 年 度		4 年 度		5 年 度		6 年 度		7 年 度	
入 院	時 間 内	906 (27.5)	913 (26.8)	899 (28.1)	904 (27.4)	1,212 (35.7)	1,354 (37.3)	1,643 (34.7)	1,804 (36.2)	1,566 (36.1)	1,727 (37.7)
	時 間 外	1,269 (38.6)	1,374 (40.4)	1,170 (36.6)	1,268 (38.4)	852 (25.1)	942 (26.0)	1,208 (25.5)	1,299 (26.0)	1,171 (27.0)	1,254 (27.4)
	計	2,175 (66.1)	2,287 (67.2)	2,069 (64.7)	2,172 (65.8)	2,064 (60.8)	2,296 (63.3)	2,851 (60.3)	3,103 (62.2)	2,737 (63.2)	2,981 (65.1)
外 来	時 間 内	349 (10.6)	349 (10.2)	346 (10.8)	346 (10.4)	686 (20.2)	686 (18.8)	857 (18.1)	857 (17.2)	789 (18.2)	792 (17.3)
	時 間 外	766 (23.3)	768 (22.6)	784 (24.5)	785 (23.8)	647 (19.0)	648 (17.9)	1,021 (21.6)	1,030 (20.6)	806 (18.6)	806 (17.6)
	計	1,115 (33.9)	1,117 (32.8)	1,130 (35.3)	1,131 (34.2)	1,333 (39.2)	1,334 (36.7)	1,878 (39.7)	1,887 (37.8)	1,595 (36.8)	1,598 (34.9)
合 計	時 間 内	1,255 (38.1)	1,262 (37.0)	1,245 (38.9)	1,250 (37.8)	1,898 (55.9)	2,040 (56.2)	2,500 (52.9)	2,661 (53.3)	2,355 (54.4)	2,519 (55.0)
	時 間 外	2,035 (61.9)	2,142 (63.0)	1,954 (61.1)	2,053 (62.2)	1,499 (44.1)	1,590 (43.8)	2,229 (47.1)	2,329 (46.7)	1,977 (45.6)	2,060 (45.0)
	計	3,290 (100.0)	3,404 (100.0)	3,199 (100.0)	3,303 (100.0)	3,397 (100.0)	3,630 (100.0)	4,729 (100.0)	4,990 (100.0)	4,332 (100.0)	4,579 (100.0)

※（ ）内は，構成比

※右欄は，MFICU・NICU等に直接搬入された患者を含む。

イ 市内・市外別患者数

(単位：人，％)

区 分		3 年 度		4 年 度		5 年 度		6 年 度		7 年 度	
入 院	市 内	1,444 (43.9)	1,497 (44.0)	1,380 (43.1)	1,425 (43.1)	1,411 (41.5)	1,515 (41.7)	1,971 (41.7)	2,097 (42.0)	1,858 (42.9)	1,979 (43.2)
	市 外	731 (22.2)	790 (23.2)	689 (21.5)	747 (22.6)	653 (19.2)	781 (21.5)	880 (18.6)	1,006 (20.2)	879 (20.3)	1,002 (21.9)
	計	2,175 (66.1)	2,287 (67.2)	2,069 (64.6)	2,172 (65.7)	2,064 (60.7)	2,296 (63.2)	2,851 (60.3)	3,103 (62.2)	2,737 (63.2)	2,981 (65.1)
外 来	市 内	942 (28.6)	944 (27.7)	962 (30.1)	963 (29.2)	1,156 (34.0)	1,156 (31.8)	1,638 (34.6)	1,645 (33.0)	1,345 (31.0)	1,347 (29.4)
	市 外	173 (5.3)	173 (5.1)	168 (5.3)	168 (5.1)	177 (5.2)	178 (4.9)	240 (5.1)	242 (4.8)	250 (5.8)	251 (5.5)
	計	1,115 (33.9)	1,117 (32.8)	1,130 (35.4)	1,131 (34.3)	1,333 (39.3)	1,334 (36.8)	1,878 (39.7)	1,887 (37.8)	1,595 (36.8)	1,598 (34.9)
合 計	市 内	2,386 (72.5)	2,441 (71.7)	2,342 (73.2)	2,388 (72.3)	2,567 (75.6)	2,671 (73.6)	3,609 (76.3)	3,742 (75.0)	3,203 (73.9)	3,326 (72.6)
	市 外	904 (27.5)	963 (28.3)	857 (26.8)	915 (27.7)	830 (24.4)	959 (26.4)	1,120 (23.7)	1,248 (25.0)	1,129 (26.1)	1,253 (27.4)
	計	3,290 (100.0)	3,404 (100.0)	3,199 (100.0)	3,303 (100.0)	3,397 (100.0)	3,630 (100.0)	4,729 (100.0)	4,990 (100.0)	4,332 (100.0)	4,579 (100.0)

※（ ）内は，構成比

※右欄は，MFICU・NICU等に直接搬入された患者を含む。

(5) ウォークイン患者数

ア 時間内・時間外別患者数

(単位：人，％)

区 分		3 年 度		4 年 度		5 年 度		6 年 度		7 年 度	
入 院	時 間 内	712 (8.3)	746 (8.3)	677 (8.6)	699 (8.5)	1,136 (27.5)	1,175 (26.9)	1,343 (29.5)	1,379 (29.1)	1,295 (31.4)	1,331 (30.5)
	時 間 外	714 (8.4)	1,005 (11.2)	850 (10.9)	1,136 (13.8)	484 (11.8)	583 (13.3)	505 (11.1)	576 (12.2)	459 (11.1)	562 (12.9)
	計	1,426 (16.7)	1,751 (19.5)	1,527 (19.5)	1,835 (22.3)	1,620 (39.2)	1,758 (40.2)	1,848 (40.7)	1,955 (41.3)	1,754 (42.6)	1,893 (43.4)
外 来	時 間 内	4,301 (50.4)	4,306 (48.0)	3,504 (44.7)	3,510 (42.6)	1,688 (40.9)	1,729 (39.6)	1,869 (41.1)	1,904 (40.3)	1,643 (39.9)	1,691 (38.8)
	時 間 外	2,807 (32.9)	2,908 (32.5)	2,811 (35.8)	2,899 (35.1)	824 (19.9)	881 (20.1)	829 (18.2)	869 (18.4)	724 (17.6)	777 (17.8)
	計	7,108 (83.3)	7,214 (80.5)	6,315 (80.5)	6,409 (77.7)	2,512 (60.8)	2,610 (59.8)	2,698 (59.3)	2,773 (58.7)	2,367 (57.4)	2,468 (56.6)
合 計	時 間 内	5,013 (58.7)	5,052 (56.3)	4,181 (53.3)	4,209 (51.1)	2,824 (68.3)	2,904 (66.5)	3,212 (70.7)	3,283 (69.4)	2,938 (71.3)	3,022 (69.3)
	時 間 外	3,521 (41.3)	3,913 (43.7)	3,661 (46.7)	4,035 (48.9)	1,308 (31.7)	1,464 (33.5)	1,334 (29.3)	1,445 (30.6)	1,183 (28.7)	1,339 (30.7)
	計	8,534 (100.0)	8,965 (100.0)	7,842 (100.0)	8,244 (100.0)	4,132 (100.0)	4,368 (100.0)	4,546 (100.0)	4,728 (100.0)	4,121 (100.0)	4,361 (100.0)

※（ ）内は，構成比

※右欄は，MFICU・NICU等に直接搬入された患者を含む。

イ 市内・市外別患者数

(単位：人，％)

区 分		3 年 度		4 年 度		5 年 度		6 年 度		7 年 度	
入 院	市 内	1,154 (13.5)	1,317 (14.7)	1,247 (15.9)	1,396 (17.0)	1,309 (31.7)	1,383 (31.8)	1,464 (32.2)	1,518 (32.1)	1,411 (34.2)	1,485 (34.1)
	市 外	272 (3.2)	434 (4.8)	280 (3.6)	439 (5.3)	311 (7.5)	375 (8.6)	384 (8.4)	437 (9.2)	343 (8.3)	408 (9.4)
	計	1,426 (16.7)	1,751 (19.5)	1,527 (19.5)	1,835 (22.3)	1,620 (39.2)	1,758 (40.2)	1,848 (40.7)	1,955 (41.3)	1,754 (42.6)	1,893 (43.4)
外 来	市 内	6,376 (74.7)	6,439 (71.8)	5,729 (73.1)	5,799 (70.3)	2,096 (50.7)	2,144 (49.1)	2,227 (49.0)	2,280 (48.2)	1,982 (48.1)	2,050 (47.0)
	市 外	732 (8.6)	775 (8.7)	586 (7.4)	610 (7.4)	416 (10.0)	466 (10.7)	471 (10.4)	493 (10.5)	385 (9.3)	418 (9.6)
	計	7,108 (83.3)	7,214 (80.5)	6,315 (80.5)	6,409 (77.7)	2,512 (60.8)	2,610 (59.8)	2,698 (59.3)	2,773 (58.7)	2,367 (57.4)	2,468 (56.6)
合 計	市 内	7,530 (88.2)	7,756 (86.5)	6,976 (89.0)	7,195 (87.3)	3,405 (82.4)	3,527 (80.7)	3,691 (81.2)	3,798 (80.3)	3,393 (82.3)	3,535 (81.1)
	市 外	1,004 (11.8)	1,209 (13.5)	866 (11.0)	1,049 (12.7)	727 (17.6)	841 (19.3)	855 (18.8)	930 (19.7)	728 (17.7)	826 (18.9)
	計	8,534 (100.0)	8,965 (100.0)	7,842 (100.0)	8,244 (100.0)	4,132 (100.0)	4,368 (100.0)	4,546 (100.0)	4,728 (100.0)	4,121 (100.0)	4,361 (100.0)

※（ ）内は，構成比

※右欄は，MFICU・NICU等に直接搬入された患者を含む。

(6) 交通事故救急患者数

ア 時間内・時間外別患者数

(単位：人，％)

区 分		3 年 度		4 年 度		5 年 度		6 年 度		7 年 度	
入 院	時 間 内	56 (22.7)	56 (22.7)	26 (11.6)	26 (11.6)	62 (23.4)	62 (23.4)	91 (25.2)	91 (25.2)	102 (29.7)	102 (29.7)
	時 間 外	54 (21.9)	54 (21.9)	72 (32.0)	72 (32.0)	21 (7.9)	21 (7.9)	47 (13.0)	47 (13.0)	37 (10.8)	37 (10.8)
	計	110 (44.6)	110 (44.6)	98 (43.6)	98 (43.6)	83 (31.3)	83 (31.3)	138 (38.2)	138 (38.2)	139 (40.5)	139 (40.5)
外 来	時 間 内	72 (29.1)	72 (29.1)	45 (20.0)	45 (20.0)	137 (51.7)	137 (51.7)	139 (38.5)	139 (38.5)	156 (45.5)	156 (45.5)
	時 間 外	65 (26.3)	65 (26.3)	82 (36.4)	82 (36.4)	45 (17.0)	45 (17.0)	84 (23.3)	84 (23.3)	48 (14.0)	48 (14.0)
	計	137 (55.4)	137 (55.4)	127 (56.4)	127 (56.4)	182 (68.7)	182 (68.7)	223 (61.8)	223 (61.8)	204 (59.5)	204 (59.5)
合 計	時 間 内	128 (51.8)	128 (51.8)	71 (31.6)	71 (31.6)	199 (75.1)	199 (75.1)	230 (63.7)	230 (63.7)	258 (75.2)	258 (75.2)
	時 間 外	119 (48.2)	119 (48.2)	154 (68.4)	154 (68.4)	66 (24.9)	66 (24.9)	131 (36.3)	131 (36.3)	85 (24.8)	85 (24.8)
	計	247 (100.0)	247 (100.0)	225 (100.0)	225 (100.0)	265 (100.0)	265 (100.0)	361 (100.0)	361 (100.0)	343 (100.0)	343 (100.0)

※（ ）内は，構成比

※右欄は，MFICU・NICU等に直接搬入された患者を含む。

イ 市内・市外別患者数

(単位：人，％)

区 分		3 年 度		4 年 度		5 年 度		6 年 度		7 年 度	
入 院	市 内	46 (18.6)	46 (18.6)	32 (14.3)	32 (14.3)	40 (15.2)	40 (15.2)	67 (18.5)	67 (18.5)	61 (17.8)	61 (17.8)
	市 外	64 (25.9)	64 (25.9)	82 (36.4)	82 (36.4)	43 (16.2)	43 (16.2)	71 (19.7)	71 (19.7)	78 (22.7)	78 (22.7)
	計	110 (44.5)	110 (44.5)	114 (50.7)	114 (50.7)	83 (31.3)	83 (31.3)	138 (38.2)	138 (38.2)	139 (40.5)	139 (40.5)
外 来	市 内	74 (30.0)	74 (30.0)	39 (17.3)	39 (17.3)	117 (44.2)	117 (44.2)	150 (41.6)	150 (41.6)	131 (38.2)	131 (38.2)
	市 外	63 (25.5)	63 (25.5)	72 (32.0)	72 (32.0)	65 (24.5)	65 (24.5)	73 (20.2)	73 (20.2)	73 (21.3)	73 (21.3)
	計	137 (55.5)	137 (55.5)	111 (49.3)	111 (49.3)	182 (68.7)	182 (68.7)	223 (61.8)	223 (61.8)	204 (59.5)	204 (59.5)
合 計	市 内	120 (48.6)	120 (48.6)	71 (31.6)	71 (31.6)	157 (59.2)	157 (59.2)	217 (60.1)	217 (60.1)	192 (56.0)	192 (56.0)
	市 外	127 (51.4)	127 (51.4)	154 (68.4)	154 (68.4)	108 (40.8)	108 (40.8)	144 (39.9)	144 (39.9)	151 (44.0)	151 (44.0)
	計	247 (100.0)	247 (100.0)	225 (100.0)	225 (100.0)	265 (100.0)	265 (100.0)	361 (100.0)	361 (100.0)	343 (100.0)	343 (100.0)

※（ ）内は，構成比

※右欄は，MFICU・NICU等に直接搬入された患者を含む。

(7) 住所地別救急患者数

(県内)				(県外)				(単位：人)	
市郡名	市町村名	人口	患者数	市郡名	市町村名	人口	患者数	県名	患者数
市	鹿児島市	576,783	7,374 (7,871)	出水郡	長島町	8,493	15 (21)	福岡県	37 (49)
	鹿屋市	95,390	127 (153)	始良郡	湧水町	8,100	23 (23)	佐賀県	5 (5)
	枕崎市	17,689	68 (70)	曾於郡	大崎町	11,277	17 (19)	長崎県	6 (6)
	阿久根市	16,991	28 (28)	肝属郡	東串良町	5,917	8 (9)	熊本県	21 (34)
	出水市	49,258	41 (64)		錦江町	5,607	6 (6)	大分県	9 (11)
	指宿市	35,512	175 (184)		南大隅町	5,197	9 (9)	宮崎県	36 (46)
	西之表市	13,311	38 (41)	熊毛郡	肝付町	12,407	13 (18)	沖縄県	6 (10)
	垂水市	12,034	41 (43)		小計	29,128	36 (42)	その他	155 (190)
	薩摩川内市	87,177	189 (242)		中種子町	6,672	20 (21)	県外合計	275 (351)
	日置市	44,411	311 (330)	大島郡	南種子町	4,802	8 (11)	(県内) + (県外)	
	曾於市	29,429	32 (34)		屋久島町	10,579	53 (62)	全体合計	10,005 (11,024)
	霧島市	119,986	268 (360)		小計	22,053	81 (94)		
	いちき串木野市	25,282	127 (144)	大島郡	大和村	1,260	3 (5)		
	南さつま市	29,586	138 (149)		宇検村	1,487	0 (0)		
	志布志市	26,526	37 (41)		瀬戸内町	7,481	2 (2)		
	奄美市	37,572	13 (29)		龍郷町	5,580	2 (4)		
	南九州市	29,271	115 (125)		喜界町	5,817	12 (12)		
	伊佐市	21,214	47 (62)		徳之島町	8,993	11 (18)		
	始良市	76,701	285 (369)		天城町	5,002	2 (5)		
	小計	1,344,123	9,454 (10,339)		伊仙町	5,540	9 (11)		
	三島村	328	10 (10)		和泊町	5,578	4 (8)		
	十島村	686	5 (5)		知名町	5,116	3 (8)		
薩摩郡	小計	1,014	15 (15)		与論町	4,724	2 (2)		
	さつま町	17,679	39 (45)		小計	56,578	50 (75)		
県内合計				県内合計				1,498,445 9,730 (10,673)	

※()内はMFICU・NICU等に
直接搬入された患者を含む。

※人口は令和8年4月1日現在の
鹿児島県毎月推計人口による。

(8) 離島救急統計（鹿児島県市町村総合事務組合資料より）

ア 医療機関別医療従事者添乗件数

(単位：人)

医療従事者所属	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
鹿児島市立病院	8	3	7	2	2	0	2
鹿児島大学病院	0	0	0	0	0	0	0
県立鹿屋医療センター	0	0	0	0	0	0	0
県立大島病院	8	20	21	26	19	18	22
鹿児島赤十字病院	3	16	10	13	8	4	2
他国公赤十字医師会	3	7	12	13	5	2	2
島内診療所	12	13	17	14	8	9	6
島内開業医師	67	79	78	57	67	59	46
島外民間病院	10	0	3	7	5	13	8
看護師等	45	50	42	39	44	52	46
合 計	156	188	190	171	158	157	134

イ 緊急患者収容病院別

(単位：人)

緊急患者収容病院	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
鹿児島市立病院	27	32	23	18	15	20	18
鹿児島大学病院	11	8	10	9	7	8	12
県立鹿屋医療センター	0	0	0	0	0	0	0
県立大島病院	4	17	13	17	19	11	12
沖縄県立中部病院	2	0	0	0	0	1	1
鹿児島赤十字病院	1	1	2	2	0	0	0
鹿児島市医師会病院	0	1	0	0	0	0	1
他国公赤十字医師会	21	18	23	20	12	26	15
民間病院	47	58	66	57	53	45	37
未 収 容	1	2	2	0	0	0	0
合 計	114	137	139	123	106	111	96

ウ 鹿児島市立病院収容患者の地域別件数

(単位：人)

市 町 村 名	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
西 之 表 市	7	3	3	1	0	3	7
奄 美 市	1	4	3	3	4	2	4
大 和 村	0	2	0	0	0	0	1
宇 検 村	0	0	0	1	0	0	0
中 種 子 町	3	1	2	1	1	7	1
南 種 子 町	0	3	0	3	2	4	0
屋 久 島 町	6	4	3	2	3	1	1
薩 摩 川 内 市	5	3	2	0	0	1	0
十 島 村	1	7	3	0	3	1	0
三 島 村	0	2	0	1	1	1	1
瀬 戸 内 町	0	1	0	0	1	0	0
龍 郷 町	0	0	0	0	0	0	1
徳 之 島 町	0	0	0	0	0	0	0
知 名 町	0	0	0	0	0	0	0
喜 界 町	2	2	2	1	0	0	1
伊 仙 町	0	0	1	1	0	0	0
天 城 町	0	0	0	0	0	0	0
和 泊 町	1	0	0	0	0	0	0
与 論 町	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	1	0	4	4	0	0	1
合 計	27	32	23	18	15	20	18

(9) 救急車等による母体搬入数（分娩センター）

(単位：人)

年 度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
母 体 搬 入 数	219	173	217	221	230

(10) 鹿児島県ドクターヘリ運航状況

年度	要請 件数	受諾 件数	受諾内訳				要請 不応需 件数	要請不応需内訳						診療 人数	基地病院 への 受入人数	基地病院 受入率 (%)
			現場 出動	施設間 搬送	その他 (Dr.デリ バリー 等)	ミッ ション 中止		日没 制限	時間外 要請	天候 不良	重複 要請	その他 (適応外)	機体 整備			
7 年度	1,276	896	467	175	3	251	380	0	6	81	274	0	19	654	268	41.0
6 年度	1,351	931	499	190	6	236	420	3	6	126	283	0	2	703	300	42.7
5 年度	1,437	939	491	178	0	270	498	6	2	134	334	2	20	673	247	36.7
4 年度	1,348	924	469	184	3	268	424	5	7	86	315	2	9	659	230	34.9
3 年度	1,463	977	477	196	3	301	486	8	13	110	335	2	18	682	271	39.7

(11) 鹿児島市ドクターカー運行状況

年度	要請件数	出場件数	出場における患者数※				未出場 件数	診療人数	基地病院 への 受入人数	基地病院 受入率 (%)
			ドクターカー搬送		その他 搬送	出場後 キャンセル				
			当院へ	他院へ						
7 年度	1,167	1,083	178	244	173	532	84	595	203	34.1
6 年度	1,061	988	240	251	111	422	73	602	254	42.2
5 年度	1,133	1,036	184	247	142	497	97	573	194	33.9
4 年度	1,492	1,336	146	245	123	856	156	514	169	32.9
3 年度	1,451	1,266	179	246	149	706	185	574	202	35.2

※複数傷病者事案があるため、患者数の合計と出場件数は完全に一致しない。

8. 新生児センター統計

(1) 入院患者数

(単位：人，％)

区 分	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
院 内 出 生	441 (74.2)	410 (71.4)	384 (76.7)	377 (76.9)	402 (77.6)
院 外 出 生	153 (25.8)	164 (28.6)	117 (23.3)	113 (23.1)	116 (22.4)
合 計	594	574	501	490	518

※ () 内は，構成比

(2) 市内・市外別患者数

(単位：人，％)

区 分	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
市 内	269 (45.3)	253 (44.1)	217 (43.3)	233 (47.6)	235 (45.4)
市 外	325 (54.7)	321 (55.9)	284 (56.7)	257 (52.4)	283 (54.6)
県 内	260 (80.0)	263 (81.9)	232 (81.7)	217 (84.4)	239 (84.5)
県 外	65 (20.0)	58 (18.1)	52 (18.3)	40 (15.6)	44 (15.5)
合 計	594	574	501	490	518

※ () 内は，構成比

(3) 体重別患者数

(単位：人)

区 分	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
9 9 9 g 以下	46 (10)	41 (13)	41 (6)	36 (7)	28 (0)
1, 0 0 0 g 以上 1, 4 9 9 g 以下	52 (1)	45 (1)	53 (1)	45 (0)	46 (2)
1, 5 0 0 g 以上 1, 9 9 9 g 以下	102 (2)	91 (2)	87 (0)	80 (0)	83 (1)
2, 0 0 0 g 以上 2, 4 9 9 g 以下	150 (1)	153 (3)	128 (1)	134 (0)	145 (0)
2, 5 0 0 g 以上	244 (0)	244 (4)	192 (2)	195 (3)	216 (2)
合 計	594 (14)	574 (23)	501 (10)	490 (10)	518 (5)

※ () 内は，死亡数で再掲

9. 公的研究費等

番号	区分	研究課題名	診療科名	研究代表者	研究費
1	AMED 革新的がん医療実 用化研究事業 (R7年度)	外分泌機能推定による膵がん悪性 化リスク層別化に有用な血液バイ オマーカーの臨床開発	消化器内科	坪内 博仁	65万円
2	AMED 革新的がん医療実 用化研究事業 (R7年度)	体外診断用血液腫瘍マーカーを用 いた膵がん検診の導入に向けたフ ィジビリティー研究	消化器内科	田口 宏樹	65万円
3	AMED 成育疾患克服等総 合研究事業 (R7年度)	新生児ヘモクロマトーシスに対す る胎内ガンマグロブリン大量静注 療法の医師主導治験	産婦人科	前田 隆嗣	7万円
4	AMED 臨床研究・治験推 進研究事業 (R7年度)	新規脳梗塞血栓溶解薬の国内導入 を目指した研究開発	脳神経内科	宮下 史生	52万円
5	厚生労働省科学研 究費 (R7年度分)	クロマチン変化の時間軸に着目し た消化器癌治療耐性因子の解明	消化器外科	喜多 芳昭	100万円
6	科学研究費助成事 業 (R7年度)	ノンコーディングRNAを治療標 的とした乾癬の新たな病態解明	皮膚科	東 裕子	130万円

10. 研究発表，論文発表

(1) 病院事業管理者

ア 学会，講演会等における研究発表（2025. 4～2026. 3）

発 表 演 題	年月，場所	学会，講演会等名	発表者及び共同研究者
当科における肝細胞癌に対する陽子線治療症例の検討	2025. 5 福 岡	第125回日本消化器病学会九州支部例会／第119回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	伊集院 翔，玉井 努，堀 剛 坪内 博仁，井戸 章雄
超音波内視鏡にて胆管との交通を確認し得た感染性肝嚢胞の一例	2025. 5 福 岡	第125回日本消化器病学会九州支部例会／第119回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	日高 里美，伊集院 翔，田口 宏樹 玉井 努，新山 寛季，庄 彬亘 宮内 涼，樺山 雅之，中村 義孝 那須雄一郎，堀 剛，坪内 博仁 井戸 章雄
IgA血管炎の消化管病変に対してPSLが奏功し，内視鏡的な経過が追えた1例	2025. 5 福 岡	第125回日本消化器病学会九州支部例会／第119回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	坂下 敬季，樺山 雅之，日高 里美 新山 寛季，庄 彬亘，宮内 涼 伊集院 翔，中村 義孝，那須雄一郎 田口 宏樹，玉井 努，堀 剛 坪内 博仁，井戸 章雄
当院におけるDEB-TACEの有用性と安全性の検討	2025. 6 東 京	第61回日本肝臓学会総会	玉井 努，馬渡 誠一，熊谷公太郎 橋口 正史，伊集院 翔，室町 香織 堀 剛，坪内 博仁，井戸 章雄

イ 学術論文等の研究発表 (2025. 4～2026. 3)

論 文 題 目	署名, 誌名等及び巻, 頁, 年月	著者及び共同執筆者
切除不能肝細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害薬両方にて甲状腺中毒症をきたした症例の検討	日本消化器病学会雑誌, 122巻 5 号 p 359-367, 2025. 5	山里 侑, 玉井 努, 伊集院 翔 馬渡 誠一, 室町 香織, 橋口 正史 堀 剛, 坪内 博仁, 井戸 章雄
A case of Heyde Syndrome Complicated by Alcoholic Liver Cirrhosis in Which Aortic Valve Stenosis Was Diagnosed due to Gastrointestinal Bleeding.	Internal Med, 2025. 5	Hidaka S, Hashiguchi M, Ijuin S Muromachi K, Tamai T, Kodama T Nakazawa J, Nasu Y, Hori T Tsubouchi H, Ido A.
[Thyrotoxicosis induced by immune checkpoint inhibitor therapy for unresectable hepatocellular carcinoma:a case report]	Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi, 2025. 5	Yamazato Y, Tamai T, Ijuin S Mawatari S, Muromachi K Hashiguchi M, Hori T, Tsubouchi H Ido A.
Histological characteristics of primary biliary cholangitis in patients with incomplete responses to ursodeoxycholic acid	Hum Pathol, 2025. 12	Harada K, Kakuda Y, Tanaka A Abe M, Namisaki e T, Shimoda S Zeniya M, Ido A, Yoshiji H Ohira H, Umeda A, Kamiya Y Higashine Y, Hojo S, Imai T Kawano T, Tsubouchi H Nakanuma Y.
Heyde Syndrome Complicated by Alcoholic Liver Cirrhosis in Which Aortic Valve Stenosis Was Diagnosed due to Gastrointestinal Bleeding.	Intern Med. 2025. 12	Hidaka S, Hashiguchi M, Ijuin S Muromachi K, Tamai T, Kodama T Nakazawa J, Nasu Y, Hori T Tsubouchi H, Ido A.

(2) 診療部門

ア 学会、講演会等における研究発表（2025. 4～2026. 3）

科 名	発 表 演 題	年月、場所	学会、講演会等名	発表者及び共同研究者
糖尿病・ 内 分 泌 内 科	糖尿病未治療・治療中断患者における糖尿病性多発神経障害と栄養指標の関連	2025. 5 岡 山	第68回日本糖尿病学会 年次学術集会	堀之内秀治, 出口 尚寿 山神 大, 向井 美希 平原茉莉絵, 森野勝太郎 西尾 善彦
	AKT阻害剤カピバセルチブ投与後2日目に急激な高血糖を来した一例	2025. 10 北九州	第63回日本糖尿病学会 九州地方会	與那嶺 整, 向井 美希 大保 崇彦, 堀之内秀治 野元 優貴, 江口 裕可 吉中 平次
血 液・ 膠 原 病 内 科	原発性シェーグレン症候群にてステロイド治療抵抗性免疫性血小板減少性紫斑病を発症し、エルトロロンバグとリツキシマブを併用し奏効した症例	2025. 4 福岡市	第69回リウマチ学会	川田 英明, 新川 哲弘
	溶骨性病変を認め多剤抵抗性であったが、エルラタマブが有効であった多発性骨髄腫の症例	2025. 10 神戸市	第87回血液学会	新居 亮彦, 川田 英明
	鹿児島件ATLレジストリーによるATL治療解析（2021～2025）	2025. 10 神戸市	第87回血液学会	中村 大輔, 新居 亮彦 川田 英明
腎臓内科	抗糸球体基底膜（GBM）腎炎に対してリツキシマブおよび二重ろ過血漿交換療法（DFPP）と選択的血漿交換療法（SePE）を施行した一例	2025. 6 大阪市	第70回日本透析医学会 学術集会・総会	吉嶺 陽造, 潤田 心 大塚 彰行
	2型糖尿病合併CKD患者に対する治療戦略を考える	2025. 7 鹿児島市	糖尿病関連腎臓病の 治療 up to date	吉嶺 陽造
	2025 CKD予防講演会	2025. 10 鹿児島市	市民向け講演会	吉嶺 陽造
	CKDと高カリウム血症の治療を考える	2026. 3 薩摩川内市	第4回Renal Meeting	吉嶺 陽造
脳 神 経 内 科	静脈洞血栓症内の血腫増大により死亡した多血症の一例	2025. 5 那覇市	第349回日本内科学 会九州地方会	森 理沙, 牧 美充 久保 純平, 徳浦 大樹 川田 英明, 福添 大地 西牟田洋介, 渡邊 修
	ICAD-LVOに対する血管内治療の現状	2025. 5 大阪市	第66回日本神経学会 学術大会	平嶺 敬人, 宮下 史生 山下 悠亮, 岡田 敬史 福添 大地, 斧渕 奈旺 山岸 正之, 佐藤 雅樹 新納 忠明, 谷口 歩 西牟田洋介, 渡邊 修
	下行大動脈内の血栓が原因と考えられる後脊髄動脈症候群の一例	2025. 5 那覇市	第349回日本内科学 会九州地方会	林 佑翼, 牧 美充 久保 純平, 徳浦 大樹 渡邊 修

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
脳 神 経 内 科	脳卒中急性期診療をVitrea 1stに変更後に経験した悩んだ症例	2025. 6 鹿児島市	第5回ViPS-Vitrea Perfusion Seminar-	宮下 史生
	当院の急性期脳梗塞治療の現状と再発予防について	2025. 6 広島市	Neurology Conference in Hiroshima 2025	宮下 史生
	KMET2nd Esperanceの使用経験	2025. 7 鹿児島市	Kyushu Mechanical Thrombectomy seminar	平嶺 敬人
	ある脳塞栓症の一例	2025. 7 軽井沢町	第11回軽井沢脳血管内治療センター	平嶺 敬人
	劇的に改善したギラン・バレー症候群（GBS）の一例	2025. 8 大分市	第350回日本内科学会九州地方会	黒川彩希子, 牧 美充 久保 純平, 徳浦 大樹 渡邊 修
	黒色真菌が原因と考えられた脳脊髄炎の一例	2025. 8 大分市	第350回日本内科学会九州地方会	金子 優, 牧 美充 久保 純平, 徳浦 大樹 渡邊 修
	頸部直接穿刺による内頸動脈ステント留置術の1例	2025. 9 札幌市	第6回日本脳神経内科血管治療研究会	平嶺 敬人, 鶴園 尚史 岡田 敬史, 新納 忠明 谷口 歩, 菅田 真生 宮下 史生, 西牟田洋介 渡邊 修
	当院のAIS治療におけるSOFIAFLOW使用法	2025. 9 札幌市	第6回日本脳神経内科血管治療研究会	宮下 史生
	当院におけるヒフデュラの使用経験	2025. 10 鹿児島市	FcRnセミナー in kagoshima	久保 純平
	急性期病院における認知症診療	2025. 10 鹿児島市	鹿児島市立病院地域医療連携講演会	渡邊 修
	急性期病院における認知症への取り組み～抗アミロイド抗体療法にも触れて～	2025. 11 南さつま市加世田	認知症セミナー in 南薩	渡邊 修
	内頸動脈閉塞または狭窄に対する, 緊急percutaneous transluminal angioplasty (PTA)/carotid artery stenting(CAS)の現状	2025. 11 大阪市	第41回日本脳神経血管内治療学会学術集会	平嶺 敬人, 鶴園 尚史 岡田 敬史, 新納 忠明 谷口 歩, 菅田 真生 宮下 史生, 西牟田洋介 渡邊 修
	鹿児島市立病院の流儀	2025. 12 鹿児島市	匠の流儀～Our Philosophy of Mechanical Thrombectomy～	宮下 史生
	抗凝固療法下での脳塞栓症再発について	2026. 1 鹿児島市	脳心連携WEBカンファレンスin鹿児島	宮下 史生
	Solitaireの有効性	2026. 2 福岡市	Solitaire User's Meeting@HAKATA	平嶺 敬人
	繰り返す心原性脳塞栓症に対して経皮的左心耳閉鎖術を行った一例	2026. 3 鹿児島市	第250回日本神経学会九州地方会	鶴園 尚史, 平嶺 敬人 岡田 敬史, 徳浦 大樹 宮下 史生, 奥井 英樹 西牟田洋介, 渡邊 修

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
脳 神 経 内 科	輸液全開が生む“Pseudo-MES” ー経頭蓋エコーtranscranial color flow imaging(TC-CFI) で両側同時に出現し た 2 例	2026. 3 大阪市	第51回日本脳卒中学 会学術集会	平嶺 敬人, 鶴園 尚史 岡田 敬史, 鮫島 芳宗 大薄 卓也, 佐藤 雅紀 米永 理法, 谷口 歩 西牟田洋介, 渡邊 修
	経過中にヘパリン起因性血小板減少症を 合併した腫瘍関連脳梗塞の 1 例	2026. 3 大阪市	第51回日本脳卒中学 会学術集会	岡田 敬史, 鶴園 尚史 平嶺 敬人, 宮下 史生 西牟田洋介, 渡邊 修
	軽症 (NIHSS≤5) のLVO症例における 血管内再開通療法 (EVT) の有効性と 安全性の検討	2026. 3 大阪市	第51回日本脳卒中学 会学術集会	鶴園 尚史, 平嶺 敬人 岡田 敬史, 宮下 史生 西牟田洋介, 渡邊 修
	アルツハイマー病治療 ー現在・過去・未来ー	2026. 3 奄美市名瀬	認知症連携セミナー in 奄美	渡邊 修
	肺癌治療中に陰性ミオクローススが出現 したZIC4抗体陽性傍腫瘍性神経症候群 の一例	2026. 3 鹿児島市	第250回日本神経学 会九州地方会	徳浦 大樹, 牧 美充 久保 純平, 渡邊 修
消 化 器 内 科	IgA血管炎の消化管病変に対してPSLが 奏功し, 内視鏡的な経過が追えた 1 例	2025. 5. 16 久留米	第125回日本消化器 病学会九州支部例会 /第119回日本消化器 内視鏡学会九州支部 例会	坂下 敬季, 樺山 雅之 那須雄一郎, 大西 純平 大重 直也, 青木 孝弘 今村 優太, 伊集院 翔 中村 義孝, 田口 宏樹 梶 一晃, 堀 剛 坪内 博仁
	当科におけるEUS-HGS関連手技の現状	2025. 5. 17 久留米	第125回日本消化器 病学会九州支部例会 /第119回日本消化器 内視鏡学会九州支部 例会	中村 義孝, 田口 宏樹 樋之口 真, 橋元 慎一
	COVID-19関連ギラン・バレー症候群後 にクローン病を発症し, ウバダシチニブ が有効であった一例	2025. 8. 22 ～23 札幌	第16回日本炎症性腸 疾患学会学術集会	青木 孝弘, 前田 将久 森 聡志, 田中 啓仁 小牧 佑雅, 上村 修司 井戸 章雄
	術後胆管空腸吻合部狭窄に対して経皮的 治療が奏効した 1 例	2025. 10. 2 名古屋	第61回日本胆道学会 学術集会	後野 徹宏, 中村 亮介 平塚 裕晃, 丸尾 達 光安 峻, 外園 友之 中島 美紀, 松岡 大介 立川 勝子, 永山林太郎 野間栄次郎, 久部 高司 田口 宏樹

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
消 化 器 内 科	IMPACT OF BILIARY DRAINAGE FOR UNRESECTABLE PANCREATIC CANCER TREATED WITH NANOLIPOSOMAL IRINOTECAN WITH FLUOROURACIL AND FOLINIC ACID:A MULTICENTERED PROSPECTIVE STUDY (NAPOLEON- 2)	2025. 10. 4 Berlin	UEGW	Wataru Yoshioka Futa Koga Mototsugu Shimokawa Taiga Otsuka Shuzo Yunotani Shunya Nakashita Noriko Oza Shotaro Noge Kenichiro Murayama Masayuki Kitsuka Hikaru Fujimoto Junichi Nakazawa Tomoko Kodama Masahiro Kawahira Hozumi Shimokawa Yudai Shinohara Tomomi Koike Hisanobu Oda Norikazu Mitsui Reina Kawasaki Tatsuma Morikita Shigeyuki Takeshita Shiho Arima Ryusuke Shibata Koshiro Toyodome Atsuko Kakiyara Tomoyasu Yoshihiro Takashi Imajima Satoru Yamaga Shunji Arita Wataru Kusano Yasunori Kawaguchi Kazuo Nishikawa Takashi Inagaki Satoshi Otsu Hiroki Taguchi Kenichi Jikuya Tomo Terada Tatsunori Sakai Yujiro Ueda Takahiro Sakae Hironori Sawase Machiko Kawahira Kenta Nio Norimasa Araki Kenji Sakaki Yasushi Ide Tsuyoshi Shirakawa Toshihiko Mizuta and Kenji Mitsugi

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
消 化 器 内 科	壊死性膵炎を契機に有機リン中毒と判明した一例	2025. 10. 29 大 阪	第53回日本救急医学会総会・学術集会	中村 茂宏, 奥田龍一郎 吉原 秀明, 田口 宏樹 中前 琢磨, 林 敬人 高間 辰雄
	当院における胆石性急性胆嚢炎治療の現状	2025. 11. 28 大 分	第126回日本消化器病学会九州支部例会 /第120回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	中村 義孝, 田口 宏樹 前村 公成, 堀 剛
	術後胆管空腸吻合部狭窄に対して完全被覆型自己拡張型胆管金属ステント（F C S E M S）が有用であった2例	2025. 11. 28 大 分	第126回日本消化器病学会九州支部例会 /第120回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	今村 優太, 田口 宏樹 青木 孝弘, 大西 純平 大重 直也, 樺山 雅之 中村 義孝, 伊集院 翔 梶 一晃, 那須雄一郎 堀 剛, 坪内 博仁
	胃潰瘍脾動脈穿破による大量出血に対して三度の血管内治療を要した一例	2025. 11. 28 大 分	第126回日本消化器病学会九州支部例会 /第120回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	青木 孝弘, 樺山 雅之 今村 優太, 大重 直也 大西 純平, 伊集院 翔 中村 義孝, 梶 一晃 那須雄一郎, 田口 宏樹 堀 剛, 坪内 博仁
	硬化療法後にエコーにて静脈瘤及び供血路の血流低下を確認し得た直腸・肛門静脈瘤破裂の2例	2025. 11. 28 大 分	第126回日本消化器病学会九州支部例会 /第120回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	大重 直也, 伊集院 翔 樺山 雅之, 室町 香織 梶 一晃, 那須雄一郎 玉井 努, 堀 剛 坪内 博仁, 井戸 章雄
	抗凝固療法およびアンチトロンビン投与が奏功した若年性の門脈血栓症の一例	2025. 11. 28 大 分	第126回日本消化器病学会九州支部例会 /第120回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	油木田瑛介, 伊集院 翔 大重 直也, 室町 香織 梶 一晃, 玉井 努 堀 剛, 坪内 博仁 井戸 章雄
	救命し得なかった難治性膵液漏の1例	2025. 11. 28 大 分	第126回日本消化器病学会九州支部例会 /第120回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	森 理沙, 児島 一成 山里 侑, 板山 雄亮 田平 悠二, 柴田 隆佑 児玉 朋子, 橋之口 真 有馬 志穂, 田ノ上史郎 橋元 慎一, 上村 修司
	当院におけるマイクロ波焼灼療法及びラジオ波焼灼療法の有用性の検討	2025. 11. 29 大 分	第126回日本消化器病学会九州支部例会 /第120回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	伊集院 翔, 梶 一晃 玉井 努, 坪内 博仁 井戸 章雄
呼 吸 器 内 科	入院を要した自然気胸23症例の臨床的検討	2025. 4 東京都	第65回日本呼吸器学会学術講演会	初 博晃, 宮田真里奈 大脇 一人, 里村 緑 窪田 幸司
腫瘍内科	切除不要胆道癌における治療戦略	2025. 4 沖縄 Web	沖縄胆道がん Expert Symposium	中澤 潤一

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
腫瘍内科	免疫介在性有害事象右往左往	2025. 7 鹿児島	Endometrial cancer Seminar in Kagoshima	中澤 潤一
	Second-line nanoliposomal irinotecan and fluorouracil with folinic acid after first-line gemcitabine plus nab-paclitaxel in oleder patients with metastatic pancreatic cancer	2025. 10 横 浜	第63回日本癌治療学会学術集会	中澤 潤一, 白川 剛 下川 元継, 大塚 大河
	高齢者がん薬物療法の現在地と未来展望 ～暦年齢の境界線 消化器癌の場合～	2026. 1 Web	第13回日本臨床腫瘍学会 九州地区セミナー	中澤 潤一
	高齢膀胱癌患者に2次治療は有用か？	2026. 3 Web	Panccreatic Cancer Experet Web Academy in Japan	中澤 潤一
小 児 科	生後3か月未満のRSウイルス感染症入院症例の治療と予後	2025. 4. 18 ～20 名古屋	第128回日本小児科学会	山田 浩平, 児玉 祐一 神村 未来, 堀之内健佑 安留 悠希, 加藤 嘉一 塩川 直宏, 樋木 大祐 福重 寿郎, 野村 裕一
	免疫グロブリン投与後に drug reaction with eosinophilia and systemic symptoms (DRESS) を発症した9か月女児	2025. 4. 18 ～20 名古屋	第128回日本小児科学会	堀之内健祐, 矢野 龍葵 加藤 嘉一, 山田 浩平 児玉 祐一, 福重 寿郎
	6か月未満で発症した川崎病症例における臨床症状と治療反応性, 冠動脈後遺症の検討	2025. 5. 17 宮 崎	第23回九州川崎病研究会	堀之内健祐, 上野 健太 祝迫 洋樹, 下園 翼 高橋 宜宏, 川村 順平 樋木 大祐, 福重 寿郎 野村 裕一
	シクロスポリンAの長期投与を要した3例	2025. 5. 17 宮 崎	第23回九州川崎病研究会	下園 翼, 祝迫 洋樹 堀之内健祐, 樋木 大祐 福重 寿郎, 野村 裕一
	川崎病と鑑別を要した扁桃周囲膿瘍	2025. 6. 1 鹿児島	第188回日本小児科学会鹿児島地方会	祝迫 洋樹, 矢野 龍葵 山田 浩平, 樋木 大祐 児玉 祐一, 福重 寿郎 野村 裕一
	肺炎を合併した先天性皮膚カンジダ症の正期産児	2025. 6. 1 鹿児島	第188回日本小児科学会鹿児島地方会	久米 研悟, 今村 真理 榎木 美幸, 児玉 祐一 西川 拓朗, 田崎 貴嗣
	先天性喉頭蓋嚢胞による上気道狭窄症状のため気道確保を要した新生児例	2025. 6. 1 鹿児島	第188回日本小児科学会鹿児島地方会	山田 浩平, 堀之内健祐 下園 翼, 加藤 嘉一 児玉 祐一, 福重 寿郎
	先天性喉頭蓋嚢胞による上気道狭窄症状のため気道確保を要した乳児例	2025. 7. 4 ～6 東 京	第38回日本小児救急医学会学術集会・第32回小児集中治療ワークショップ	山田 浩平, 堀之内健祐 駒走 昌也, 下園 翼 加藤 嘉一, 児玉 祐一 福重 寿郎

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
小 児 科	Rastelli術後遠隔期にNeisseria macace による縦隔洞炎・菌血症をきたした一例	2025. 7. 10 ～12 津	第61回日本小児循環 器学会総会・学術集 会	下園 翼, 祝迫 洋樹 堀之内健祐, 樋木 大祐 児玉 祐一, 福重 寿郎 緒方 裕樹, 松葉 智之
	痙攣の管理に難渋している副甲状腺機能 低下症の3か月男児例	2025. 7. 26 鹿児島	鹿児島小児内分泌症 例検討会	加藤 嘉一
	急激に状態が悪化した敗血症性ショック の1例	2025. 8. 30 福岡	第24回九州・沖縄小 児救急医学研究会	下園 翼, 駒走 昌也 堀之内健祐, 山田 浩平 福重 寿郎
	頭部外傷から9年経過し診断された複合 型下垂体機能低下症の10歳女児例	2025. 10. 19 鹿児島	第189回日本小児科 学会鹿児島地方会	加藤 嘉一, 檜作 和子 徳永美菜子, 溝田美智代 福重 寿郎
	非代償性肝硬変を呈し肝移植を行った Wilson 病の1例	2025. 10. 19 鹿児島	第189回日本小児科 学会鹿児島地方会	寺師矢於馬, 児玉 祐一 祝迫 洋樹, 山田 浩平 樋木 大祐, 福重 寿郎
	鹿児島県内における小児深頸部膿瘍の後 方視的検討	2025. 10. 19 鹿児島	第189回日本小児科 学会鹿児島地方会	下園 翼, 児玉 祐一 楠生 亮, 塩川 直宏 高橋 宜宏, 水流 尚志 今村 真理, 山遠 剛 江口 太助, 島子 敦史 田中 裕治, 川村 英樹 林 多聞, 福重 寿郎
	頭部外傷から9年経過し診断された複合 下垂体機能低下症の10歳女児例	2025. 10. 31 千葉	第58回日本小児内分 泌学会学術集会	加藤 嘉一, 檜作 和子 徳永美菜子, 溝田美智代 福重 寿郎
	血栓性微小血管症を合併した黄色ブドウ 球菌による伝染性膿痂疹の女児	2025. 11. 8 ～9 千葉	第57回日本小児感染 症学会	駒走 昌也, 児玉 祐一 堀之内健祐, 下園 翼 加藤 嘉一, 福重 寿郎
	肺炎を合併した先天性皮膚カンジダ症の 正期産児	2025. 11. 8 ～9 千葉	第57回日本小児感染 症学会	久米 研悟, 今村 真理 榎木 美幸, 児玉 祐一 西川 拓朗, 田崎 貴嗣
	マイコプラズマ感染症による腸間膜リン パ節炎を起こした12歳男子男児	2025. 11. 8 ～9 千葉	第57回日本小児感染 症学会	末廣 悠花, 寺師矢於馬 清水 大地, 下園 翼 加藤 嘉一, 樋木 大祐 児玉 祐一, 福重 寿郎
	活性型ビタミンDの副作用と食欲不振に よる脱水症の合併で著明な高Ca血症を 呈した重症心身障がい者の一例	2025. 11. 21 ～22 津	第50回日本重症心身 障害学会学術集会	馬場 悠生, 米衛ちひろ 四俣 一幸
	鹿児島県内における小児深頸部膿瘍の後 方視的検討	2025. 11. 28 ～30 福岡	第95回日本感染症学 会西日本地方会	下園 翼, 児玉 祐一 山遠 剛, 塩川 直宏 池田 賢一, 高橋 宜宏 川村 英樹
	DASC(Days of Antibiotics Spectrum Coverage)を用いたKlebsiella pneumoniae菌血症に対する抗菌薬適正 使用支援活動の評価	2025. 11. 28 ～30 福岡	第73回日本化学療法 学会西日本支部総会	福元 裕介, 池田 賢一 児玉 祐一, 新田 哲也 楠生 亮, 川村 英樹

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
小 児 科	歯科開業医における歯科治療時の外来経口抗菌薬使用に関するアンケート 2018年と2025年時点での抗菌薬使用の経年比較	2025. 11. 28 ～30 福 岡	第73回日本化学療法学会西日本支部総会	新田 哲也, 池田 賢一 児玉 祐一, 楠生 亮
	頭部外傷から9年経過し診断された複合下垂体機能低下症の10歳女児例	2026. 1. 9 鹿児島	第2回鹿児島下垂体疾患セミナー	加藤 嘉一, 檜作 和子 徳永美菜子, 溝田美智代 福重 寿郎
	VA-ECMO の導入で救命し得た急性心筋炎の8歳女児	2026. 2. 1 鹿児島	第190回日本小児科学会鹿児島地方会	下園 翼, 祝迫 洋樹 光延 拓朗, 山田 浩平 樋木 大祐, 福重 寿郎
	嘔気・嘔吐が遷延した抗アクアポリン4抗体陽性視神経脊髄炎スペクトラム障害の1例	2026. 2. 1 鹿児島	第190回日本小児科学会鹿児島地方会	末廣 悠花, 松藤まゆみ 馬場 悠生, 光延 拓朗 山田 浩平, 福重 寿郎
	ステロイド依存性・抵抗性の腹痛にDiamino-diphenyl sulfone(DDS) が有効だったIgA 血管炎の3例	2026. 2. 1 鹿児島	第190回日本小児科学会鹿児島地方会	加藤 嘉一, 神村 未来 祝迫 洋樹, 樋木 大祐 児玉 祐一, 福重 寿郎
	急激に状態が悪化した敗血症性ショックの1例	2026. 2. 21 鹿児島	第92回鹿児島救急医学会	下園 翼, 駒走 昌也 堀之内健祐, 加藤 嘉一 児玉 祐一, 山田 浩平 福重 寿郎
新 生 児 内 科 N I C U	周産期医療の砦を守るために～医療現場と行政の取り組み～	2025. 7 横浜市	第61回日本周産期・新生児医学会学術集会 NICU・MFICU 合同シンポジウム	徳久 琢也
	グルタチオン合成酵素欠損症の1例	2025. 7 大阪市	第61回日本周産期・新生児医学会学術集会	山本 剛士
	鹿児島県における新生児遠隔医療への取り組み	2025. 7 大阪市	第3回周産期・新生児遠隔医療研究会	屋良朝太郎
	重症慢性肺疾患に難治性気胸を合併した1例	2025. 9 岐阜市	慢性肺疾患研究会	山本 剛士
	周産期医療体制に対する新生児医療連絡会の取り組み	2025. 11 横浜市	第69回日本新生児生 育医学会学術集会	徳久 琢也
	重症慢性肺疾患に難治性気胸を合併した2例	2025. 11 横浜市	第69回日本新生児生 育医学会学術集会	山本 剛士
	鹿児島県における新生児遠隔医療への取り組み	2026. 1 オンライン	第4回周産期・新生児遠隔医療研究会	屋良朝太郎
	NICU全国調査, 今後の新生児医療について ～地域別集約化の必要性, 鹿児島で行っていること～	2026. 3 東京都	第21回赤ちゃん成育ネットワーク研修フォーラム	徳久 琢也
	地域周産期医療を支える新生児内科医の役割	2026. 3 長崎市	長崎みなとメディカルセンター講演会	徳久 琢也

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
放射線科	右精巣に発生したepidermoid cystの一例	2025. 6 小倉市	第201回日本医学放射線学会九州地方会	日高 誠也, 中山 博史 永里 耕平, 神園 純輝 名ヶ迫 強, 向井 晶絵 中別府良昭, 中條 政敬 吉浦 敬
	卵巣ステロイド細胞腫瘍の一例	2025. 6 小倉市	第201回日本医学放射線学会九州地方会	向井 晶絵, 名ヶ迫 強 神園 純輝, 日高 誠也 永里 耕平, 中山 博史 中別府良昭, 中條 政敬 吉浦 敬
	三尖弁閉鎖症に対するFontan術後に体静脈側副血行路を形成した1例	2025. 12 福岡市	第47回九州IVR研究会	名ヶ迫 強, 向井 晶絵 日高 誠也, 神園 純輝 永里 耕平, 中山 博史 大瀬 新, 林 完勇 吉浦 敬, 祝迫 洋樹
消 化 器 外 科	当院における特発性食道破裂に対する治療の検討	2025. 4 仙 台	第125回日本外科学会定期学術集会	鶴田 祐介, 佐々木 健 下之蘭将貴, 彗田 宣裕 内門 泰斗, 松下 大輔 馬場 研二, 川崎 洋太 有上 貴明, 大塚 隆生
	当科における手術前VR技術支援の導入の効果	2025. 4 仙 台	第125回日本外科学会定期学術集会	庄 亮真, 前村 公成 白尾 貞樹, 喜多 芳昭 瀬戸山徹郎, 飯野 聡 盛 真一郎, 大塚 隆生
	右側結腸癌に対するロボット支援下no-touch isolation techniqueの検討	2025. 4 仙 台	第125回日本外科学会定期学術集会	盛 真一郎, 喜多 芳昭 白尾 貞樹, 庄 亮真 瀬戸山徹郎, 飯野 聡 前村 公成, 大塚 隆生
	A case of distal bile duct cancer treated with laparoscopic median arch ligament resection followed by a staged pancreaticoduodenectomy	2025. 6 軽井沢	第37回日本肝胆膵外科学会学術集会	Yuki Nagata Nanako Nishida Satoshi Iino Kousei Maemura
	A comparison of waterjet dissector and CUSA in laparoscopic liver resection	2025. 6 軽井沢	第37回日本肝胆膵外科学会学術集会	Sadaki Shirao Satoshi Iino Kosei Maemura
	当院における食道癌術後再発症例の予後と治療戦略の検討	2025. 6 京 都	第79回日本食道学会学術集会	鶴田 祐介, 佐々木 健 下之蘭将貴, 野田 昌宏 彗田 宣裕, 内門 泰斗 松下 大輔, 馬場 研二 有上 貴明, 大塚 隆生
	当院における医療タスクシフトの現況と今後の展望	2025. 7 鹿児島	第12回鹿児島セーフティーマネジメント研究会学術集会	鶴田 祐介
	食道外科医のキャリアアップの中で直面してきたジレンマ-反省と今後の展望-	2025. 7 福 岡	第58回日本胸部外科学会九州地方会総会	鶴田 祐介

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
消 化 器 外 科	術前治療後進行直腸癌に対するロボット支援手術	2025. 7 神 戸	第80回日本消化器外科学会総会	喜多 芳昭, 盛 真一郎 白尾 貞樹, 原 章太郎 瀬戸山徹郎, 飯野 聡 前村 公成
	ロボット支援右半結腸切除術における3DVRによる仮想現実手術シミュレーション	2025. 7 神 戸	第80回日本消化器外科学会総会	白尾 貞樹, 盛 真一郎 喜多 芳昭, 原 章太郎 瀬戸山哲郎, 飯野 聡 前村 公成, 大塚 隆生
	当院における大腸癌に対するロボット支援手術の短期成績の検討	2025. 7 神 戸	第80回日本消化器外科学会総会	原 章太郎, 盛 真一郎 喜多 芳昭, 瀬戸山徹郎 飯野 聡, 前村 公成 大塚 隆生
	胸部食道癌に対する開胸と胸腔鏡アプローチによる予後と再発形式の比較	2025. 7 神 戸	第80回日本消化器外科学会総会	鶴田 祐介, 佐々木 健 下之蘭将貴, 松下 大輔 馬場 研二, 川崎 洋太 内門 泰斗, 有上 貴明 前村 公成, 大塚 隆生
	下部直腸癌に対するロボット支援手術における手術戦略の検討	2025. 7 神 戸	第80回日本消化器外科学会総会	盛 真一郎, 喜多 芳昭 原 章太郎, 白尾 貞樹 瀬戸山徹郎, 飯野 聡 前村 公成, 大塚 隆生
	VRによる血管走向の確認が有効であった高位前方切除後のロボット支援下行結腸癌手術の1例	2025. 7 神 戸	第80回日本消化器外科学会総会	枝松真沙弥, 盛 真一郎 白尾 貞樹, 喜多 芳昭 原 章太郎, 瀬戸山徹郎 飯野 聡, 前村 公成 大塚 隆生
	外傷性肝損傷に対して3D-VR画像参照技術を併用した1例	2025. 7 神 戸	第80回日本消化器外科学会総会	東元 智玄, 喜多 芳昭 飯野 聡, 原 章太郎 白尾 貞樹, 瀬戸山徹郎 盛 真一郎, 前村 公成
	完全内臓逆位に対しロボット支援下直腸切断術を行った1例	2025. 8 福 岡	第35回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会	飯尾 俊也, 喜多 芳昭 宇都宮麻子, 鶴田 祐介 平野 拓郎, 飯野 聡 前村 公成
	ドクターヘリにて搬送された交通外傷に対して救急センターにて外科的処置を行い救命できた1例	2025. 9 鹿児島	第90回鹿児島県臨床外科学会総会・医学会	有馬 悠平, 飯尾 俊也 宇都宮麻子, 鶴田 祐介 平野 拓郎, 喜多 芳昭 飯野 聡, 前村 公成
	腹壁癒痕ヘルニア修復術後18年で発症したメッシュ感染症の1例	2025. 9 鹿児島	第20回九州ヘルニア研究会	白尾 貞樹, 喜多 芳昭 原 章太郎, 宇都宮麻子 飯尾 俊也, 鶴田 祐介 平野 拓郎, 瀬戸山徹郎 盛 真一郎, 飯野 聡 前村 公成
	当院における若手医師による大腸癌ロボット支援下手術	2025. 10 北九州	第50回日本大腸肛門病学会九州地方会	飯尾 俊也, 喜多 芳昭 宇都宮麻子, 鶴田 祐介 平野 拓郎, 飯野 聡 前村 公成

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
消 化 器 外 科	当院における大腸癌ロボット支援下手術 の現状と教育	2025. 11 東 京	第82回日本臨床外科 学会学術集会	飯尾 俊也, 喜多 芳昭 宇都宮麻子, 鶴田 祐介 平野 拓郎, 飯野 聡 前村 公成
	結腸癌に対する体腔内吻合の成績と今後の 展望	2025. 12 横 浜	第38回内視鏡外科学 会総会	喜多 芳昭, 盛 真一郎 平野 拓郎, 鶴田 祐介 飯尾 俊也, 宇都宮麻子 飯野 聡, 前村 公成
	閉塞性大腸癌ステント治療後に対するロ ボット支援下手術の検討	2025. 12 横 浜	第38回内視鏡外科学 会総会	宇都宮麻子, 喜多 芳昭 飯尾 俊也, 鶴田 祐介 平野 拓郎, 飯野 聡 前村 公成
	消化管穿孔に対する人工肛門造設術後管 理に難渋した慢性期脊髄損傷患者の1例	2026. 2 横 浜	第62回日本腹部救急 医学会総会	鈴木 理央, 宇都宮麻子 飯尾 俊也, 鶴田 祐介 平野 拓郎, 喜多 芳昭 飯野 聡, 前村 公成
	胆嚢混合性神経内分泌非内分泌腫瘍の1 切除例	2026. 3 北九州	第62回九州外科学会	油木田瑛介, 平野 拓郎 宇都宮麻子, 飯尾 俊也 鶴田 祐介, 喜多 芳昭 飯野 聡, 前村 公成 末吉 和宣
乳腺外科	原発巣と転移リンパ節にサブタイプの乖 離を認めた一例	2025. 9 久留米市	日本乳癌学会九州地 方会	野元 優貴, 吉中 平次 江口 裕可, 末吉 和宣 新田 吉陽, 中条 哲浩
小児外科	嵌頓鼠径ヘルニアの徒手整復後の待機的 手術に対するLPEC法の適応 －鼠径部切開法との比較検討－	2025. 4. 10 仙台市	第125回日本外科学 会定期学術集会	松久保 眞, 緒方 将人 村上 雅一, 杉田光士郎 川野 孝文, 町頭 成郎 鳥飼 源史, 家入 里志
	Anatomical Location of Intestinal Atresia as a Predictor of Clinical Course in Small Bowel Atresia: A Two -Center Study	2025. 4. 13 Melbourne Australia	The 58th Annual PAPS Meeting	Toshio Harumatsu Yudai Tsuruno Ayaka Nagano Masakazu Murakami Koshiro Sugita Shun Onishi Hiroki Otsuka Tomonori Kurimoto Makoto Matsukubo Takafumi Kawano Motofumi Torikai Takuya Tokuhisa Satoshi Ieiri
	超極低出生体重児の鼠径ヘルニアに対す るBest Practice	2025. 5. 23 盛岡市	第23回日本ヘルニア 学会学術集会	松久保 眞, 杉田光士郎 緒方 将人, 長野 綾香 村上 雅一, 矢野 圭輔 春松 敏夫, 川野 孝文 鳥飼 源史, 家入 里志

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
小児外科	当施設で経験した卵巣腫瘍12例についての検討	2025. 6. 1 鹿児島市	第188回小児科地方会	田畑有弥子, 松久保 眞 鳥飼 源史
	新生児胃破裂・胃穿孔のリスク因子の検討	2025. 7. 13 大阪市	第61回日本周産期・新生児医学会 学術集会	春松 敏夫, 神村 未来 大塚 圭祐, 三浦希和子 屋良朝太郎, 栗本 朋典 木部 匡哉, 山本 将功 平川 英司, 大橋 宏史 山本 剛士, 内藤 喜樹 石原 千詠, 鳥飼 源史 徳久 琢也
	小児先天性肺疾患に対する出生前診断症例の増加と胸腔鏡下肺葉切除術の導入による患者背景の変化：多施設における後方視的研究	2025. 9. 6 鹿児島市	第90回鹿児島臨床外科学会医学会	田畑有弥子, 杉田光士郎 久田 正昭, 中目 和彦 西田ななこ, 祁答院千寛 長野 綾香, 鶴野 雄大 矢野 圭輔, 春松 敏夫 大西 峻, 馬場 徳朗 松久保 眞, 川野 孝文 鳥飼 源史, 新山 新 家入 里志
	50%ブドウ糖溶液を用いた胸膜癒着療法が奏功した再発性気胸の一例	2025. 10. 19 鹿児島市	第189回小児科地方会	田畑有弥子, 春松 敏夫 鳥飼 源史
	新生児期に腸瘻造設術を施行した超低出生体重児の長期フォローにおける問題点	2025. 10. 30 大阪市	第41回日本小児外科 秋季シンポジウム・ PSJM	松久保 眞, 杉田光士郎 緒方 将人, 長野 綾香 村上 雅一, 矢野 圭輔 春松 敏夫, 川野 孝文 鳥飼 源史, 家入 里志
	超低出生体重児の消化管手術例の20年の変遷－生存率と神経心理学的発達評価	2025. 11. 1 豊中市	第41回日本小児外科学会 秋季シンポジウム	春松 敏夫, 武藤 充 杉田光士郎, 田畑有弥子 川野 孝文, 鳥飼 源史 家入 里志
	An anatomical location of intestinal atresia as a predictor of clinical course in small bowel atresia: a two-center study at southern in Japan	2025. 11. 12 Antalya Turkey	The 8th World Congress of the World Federation of Associations of Pediatric Surgeons	Toshio Harumatsu Yudai Tsuruno Ayaka Nagano Koshiro Sugita Yumiko Tabata Yumiko Iwamoto Nanako Nishida Chihiro Kedoin Keisuke Yano Shun Onishi Hiroki Otsuka Tomonori Kurimoto Takafumi Kawano Motofumi Torikai Takuya Tokuhisa Satoshi Ieiri

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
小児外科	超極低出生体重児の鼠径ヘルニアに対するLPECの導入と克服すべき課題	2025. 12. 12 横浜市	第38回日本内視鏡外科学会	松久保 眞, 杉田光士郎 緒方 将斗, 長野 綾香 村上 雅一, 矢野 圭輔 川野 孝文, 鳥飼 源史 家入 里志
	腹腔鏡下鼠経ヘルニア修復術 (LPEC) を契機に診断された完全型アンドロゲン不応症の一例	2026. 1. 17 福岡市	第22回九州小児泌尿器研究会	田畑有弥子, 川野 孝文 西田ななこ, 祁答院千寛 鶴野 雄大, 矢野 圭輔 山田 耕嗣, 井口 智生 井手迫俊彦, 鳥飼 源史 榎田 英樹, 家入 里志
	VPシャントチューブが腸閉塞の原因となった先天性水頭症の1例	2026. 2. 1 鹿児島市	第190回小児科地方会	田畑有弥子, 春松 敏夫 鳥飼 源史
	VPシャントチューブが腸閉塞の原因となった先天性水頭症の1例	2026. 2. 28 鹿児島市	第91回鹿児島県臨床外科学会・医学会	田畑有弥子, 春松 敏夫 鳥飼 源史
	50%ブドウ糖溶液を用いた胸膜癒着療法が奏功した再発性気胸の一例	2026. 3. 7 北九州市	第62回九州小児外科学会	田畑有弥子, 春松 敏夫 鳥飼 源史
整形外科	round型椎体再建cageの術後成績と至適設置位置についての検討	2025. 4 千葉	第54回脊椎脊髄病学会学術集会	八尋 雄平, 嶋田 博文 山元 拓哉, 上園 忍 黒島 知樹, 小倉 拓馬 俵積田裕紀, 河村 一郎 富永 博之, 谷口 昇
	椎体再建時のround型cage術後成績と至適設置位置についての検討	2025. 5 東京	第98回日本整形外科学会学術総会	八尋 雄平, 嶋田 博文 山元 拓哉, 上園 忍 黒島 知樹, 小倉 拓馬 俵積田裕紀, 河村 一郎 富永 博之, 谷口 昇
	脊椎外傷up date	2025. 5 鹿児島	整形外科診療フォーラムin鹿児島	八尋 雄平
	脊椎手術におけるPostoperative urinary retentionの3例	2025. 6 久留米	第149回西日本整形・災害外科学会	中川 尚弘, 八尋 雄平 嶋田 博文, 山元 拓哉 城光寺 豪, 瀬戸山 傑 松野下幸弘, 中村 雅洋 谷口 昇
	橈骨尺骨遠位骨端線早期閉鎖に対する検討	2025. 11 横浜	第36回小児整形外科学会学術集会	城光寺 豪, 中村 雅洋 吉野 伸司
	胸腰椎破裂骨折整復不良因子についての検討	2025. 11 鹿児島	第77回鹿児島整形外科集団会	八尋 雄平, 嶋田 博文 山元 拓哉, 川畑 直也 宮口 文宏
	当院における小児大腿骨骨幹部骨折の治療	2026. 1 福岡	第41回九州小児整形外科集談会	城光寺 豪, 中村 雅洋 吉野 伸司
形成外科	地方公立病院におけるレーザー加療の現状	2025. 4 東京	第68回日本形成外科学会総会・学術集会	猪原 康司, 野元 清子 岡村 祥子, 渡邊 龍志 碓元 佐和, 森岡 康祐 副島 一孝, 櫻井 裕之

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
形成外科	東京都内で受傷した小児マムシ咬傷の 1 例	2025. 4 東 京	第68回日本形成外科学会総会・学術集会	林 弘捷, 堀米 迪生 清水 翔一, 諸橋 環 檜村 勉, 副島 一孝
	熱傷壊死組織除去剤ネキソブリッドを用いた当院の使用経験	2025. 5 金 沢	第51回日本熱傷学会総会・学術集会	井上 佐和, 岡村 祥子 岡本 峻, 渡邊 龍志 猪原 康司, 森岡 康祐 櫻井 裕之, 副島 一孝
	遊離下腹部皮弁における部位別還流静脈圧, 血液ガス分析の検討	2025. 7 福 岡	第126回九州・沖縄形成外科学会	猪原 康司, 尾辻 香名 林 弘捷, 井上 佐和 森岡 康祐
	母指再建における腹部菱形皮弁 (Limberg flap) の有用性	2025. 7 東 京	第17回創傷外科学会学術集会	林 弘捷, 尾辻 香名 野間口磨篤, 井上 佐和 猪原 康司, 森岡 康祐 副島 一孝, 櫻井 裕之
	移植下腹部皮弁内の血行動態および還流静脈血格差の検討	2025. 10 鹿児島	第34回日本形成外科学会基礎学術集会	猪原 康司, 櫻井 裕之 尾辻 香名, 林 弘捷 井上 佐和, 森岡 康祐 副島 一孝
	食道癌術後食道再々建術の 2 症例	2025. 10 東 京	第58回新宿フォーラム	尾辻 香名, 森岡 康祐 林 弘捷, 野間口磨篤 井上 佐和, 猪原 康司 副島 一孝, 櫻井 裕之
	食道癌術後食道再々建術の 2 症例	2025. 11 東 京	第52回日本マイクロサージャリー学会	尾辻 香名, 森岡 康祐 林 弘捷, 野間口磨篤 井上 佐和, 猪原 康司 副島 一孝, 櫻井 裕之
	食道癌術後食道再々建術の 2 症例	2025. 11 佐 賀	第127回九州・沖縄形成外科学会	尾辻 香名, 森岡 康祐 林 弘捷, 野間口磨篤 井上 佐和, 猪原 康司 副島 一孝, 櫻井 裕之
	複数診療科, 他職種の連携を要した, 多部位深達性熱傷	2026. 1 東 京	第34回日本熱傷学会関東地方会	猪原 康司
	五右衛門風呂熱傷治療中に発症した ANCA関連血管炎の 1 例	2026. 1 東 京	第34回日本熱傷学会関東地方会	宮村亮太郎, 宮下 采子 猪原 康司, 柳瀬 桜子 藤田 環, 井上 佐和 森岡 康祐
	スマートフォンを用いた手熱傷後リハビリテーションの有用性	2026. 2 長 崎	第36回日本熱傷学会九州地方会	野間口磨篤, 森岡 康祐 尾辻 香名, 林 弘捷 井上 佐和, 猪原 康司 副島 一孝, 櫻井 裕之
	当院における放射線骨盤壊死症例の検討	2026. 3 福 岡	第128回九州・沖縄形成外科学会	井上 佐和, 尾辻 香名 林 弘捷, 野間口磨篤 猪原 康司, 森岡 康祐
	血管柄付き肩甲骨移植を施行した重度四肢外傷症例の検討	2026. 3 福 岡	第128回九州・沖縄形成外科学会	猪原 康司, 尾辻 香名 林 弘捷, 野間口磨篤 井上 佐和, 森岡 康祐

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
脳 神 経 外 科	脳卒中の外科 up to date	2025. 6 鹿 児 島	第 2 回鹿児島大学脳 神経外科郷中セミナ ー	西牟田洋介
	未破裂脳動脈瘤に対する血管内治療	2025. 7 大 阪	脳神経外科 Forum2025 Summer	西牟田洋介
	頸動脈内膜剥離術において液状性脆弱プ ラークを認めた 2 例	2025. 8 鹿 児 島 市	第87回鹿児島脳神経 外科学会	鮫島 芳宗, 米永 理法 大薄 卓也, 佐藤 雅紀 谷口 歩, 時村 洋 西牟田洋介
	DOAC投与中の出血に対する中和療法	2025. 10 横 浜	日本脳神経外科学会 総会	西牟田洋介, 鮫島 芳宗 大薄 卓也, 佐藤 雅紀 米永 理法, 谷口 歩 時村 洋, 花谷 亮典
	フローダイバーター留置後の慢性虚血性 合併症の検討	2025. 11 大 阪	JSNET2025	西牟田洋介, 佐藤 雅紀 鮫島 芳宗, 大薄 卓也 米永 理法, 谷口 歩 花谷 亮典
	aggressive typeへと変化したMRIで CSDAVFと類似したGreater sphenoid wing DAVFの一例	2025. 11 大 阪	第41回日本脳神経血 管内治療学会学術集 会	佐藤 雅紀, 西牟田洋介 (諸木 浩一), (花谷 亮典)
	PRU過反応を呈したステントアシスト コイル患者に対するプラスグレル減量の 1 例	2025. 11 大 阪	第41回日本脳神経血 管内治療学会学術集 会	鮫島 芳宗, 西牟田洋介 大薄 卓也, 佐藤 雅紀 米永 理法, 谷口 歩 花谷 亮典
	小型破裂脳動脈瘤コイル塞栓のfirst coil	2025. 12 鹿 児 島 市	第23回SONIC2025	佐藤 雅紀, 西牟田洋介 (花谷 亮典)
	病院前スケールとしてのFACE 2 ADの 問題点とLVOスケールへの期待	2026. 3 大 阪	Stroke2026	西牟田洋介, 木村 裕貴 斧淵 奈旺, 佐藤 雅紀 大薄 卓也, 米長 理法 谷口 歩, 鶴園 尚史 平嶺 敬人, 岡田 敬史 宮下 史生, 花谷 亮典
皮 膚 科	Sister Mary Joseph's Noduleを契機に診 断された腹膜癌の 1 例	2025. 4 鹿 児 島 市	日本皮膚科学会 第199回鹿児島地方会	山田きよ子, 中澤 潤一 中村 俊昭, 末吉 和宣 井料香代子, 東 裕子
	免疫チェックポイント阻害薬により重症 な皮膚障害を呈した 2 例	2025. 7 鹿 児 島 市	日本皮膚科学会 第200回鹿児島地方会	山田きよ子, 里村 緑 末吉 和宣, 東 裕子
	Identification of keratinocyte-derived microRNA in patients with psoriasis	2025. 9 ベルギー	54th Annual European society for dermatological research Meeting	Higashi Y, Yamakuchi M Fukushige T, Kanekura T Hashiguchi T, Egawa G

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
産婦人科	ドクターヘリによる遠隔地への産科医師派遣を行った妊娠31週胎児機能不全の一例	2025. 4 岡山市	第77回日本産科婦人科学会学術講演会	秋葉 美里, 上塘 正人 前田 隆嗣, 谷口 博子 平川 英司, 橋本 崇史 田中 仁悟, 保崎 憲人
	腹腔内に迷入したIUDの一例	2025. 6 鹿児島市	第 6 回鹿児島県産婦人科手術懇話会	岩間 未紗, 中村 俊昭 松本 純, 上塘 正人 くすもと産婦人科 楠元 雅寛
	子宮破裂を発症した子宮手術既往のない経産婦の 1 例	2025. 7 大阪市	第61回日本周産期・新生児医学会学術集会	石井 隆徳, 中川映理子 庄 隆成, 戸田 薫 前田 隆嗣, 上塘 正人
	2 回の動脈塞栓術後に子宮摘出術を行った産科危機的出血の一例	2025. 7 大阪市	第61回日本周産期・新生児医学会学術集会	谷口 貴之, 前田 隆嗣 庄 隆成, 橋本 崇史 谷口 博子, 上塘 正人
	早期新生児死亡に至った先天性サイトメガロウイルス感染症の一例	2025. 8 鹿児島市	第153回鹿児島産科婦人科学会	秋葉 美里, 橋本 崇史 伊集院崇史, 三浦 美沙 中川映理子, 谷口 博子 前田 隆嗣, 上塘 正人
	リトドリン塩酸塩の長期内服により無顆粒球症を来した 1 例	2025. 8 鹿児島市	第153回鹿児島産科婦人科学会	日高 素希, 中川映理子 三浦 美沙, 橋本 崇史 谷口 博子, 前田 隆嗣 上塘 正人
	子宮体癌について	2025. 8 鹿児島市	若手薬剤師のためのがん薬物療法セミナー	中村 俊昭
	婦人科腫瘍について	2025. 9 鹿児島市	第 2 回助産師研修会	中村 俊昭
	見つかりにくいTOFやTGA, CoAに対するスクリーニングのコツ	2025. 9 鹿児島市	第10回九州山口胎児心臓病研究会	橋本 崇史
	慢性的な経過を辿ったと考えられた重症母児間輸血症候群の一例	2025. 9 秋田市	第39回周産期医療研究会学術集会	松宮 克樹, 橋本 崇史 庄 隆成, 戸田 薫 中川映理子, 三浦 美沙 谷口 博子, 前田 隆嗣 上塘 正人
	当院におけるRPOC症例の検討	2025. 9 秋田市	第39回周産期医療研究会学術集会	秋山 美友, 中川映理子 橋本 崇史, 前田 隆嗣 上塘 正人
	NT肥厚を契機に重症心疾患の診断に至った一例	2025. 9 鹿児島市	第10回九州山口胎児心臓病研究会	保崎 憲人, 橋本 崇史 谷口 博子, 前田 隆嗣 上塘 正人
	当院における子宮頸癌治療の実際	2025. 11 鹿児島市	Cervical Cancer ADC Seminar in KAGOSHIMA	中村 俊昭
	当院における子宮頸部円錐切除術後妊娠における早産リスクの検討	2025. 11 鹿児島市	第 3 回鹿児島県産婦人科病診連携セミナー	保崎 憲人, 橋本 崇史 谷口 博子, 前田 隆嗣 中村 俊昭, 上塘 正人

科 名	発 表 演 題	年月、場所	学会、講演会等名	発表者及び共同研究者
産婦人科	単施設における10年間の治療的子宮頸管縫縮術の有効性の検討	2025. 12 東京都	第18回日本早産学会 学術集会	戸田 薫, 前田 隆嗣 庄 隆成, 中川映理子 三浦 美沙, 橋本 崇史 谷口 博子, 上塘 正人
	Prenatal Diagnosis of 4q Deletion Syndrome (Wolf-Hirschhorn Syndrome) in a Fetus with Multiple Anomalies	2025. 12 横浜市	日本人類遺伝学会 第70回大会	Takashi Hashimoto Toshiro Ikeda Takashi Ijuin Masaya Kibe Takatsugu Maeda Masato Kamitomo
	当院における10年間の切迫早産の周産期データと近年の管理	2026. 1 鹿児島市	令和7年度鹿児島県 産婦人科医会研修会	戸田 薫, 前田 隆嗣 庄 隆成, 中川映理子 三浦 美沙, 橋本 崇史 谷口 博子, 上塘 正人
	当院のGrade A帝王切開と今後のALSO活用	2026. 1 鹿児島市	第154回鹿児島産科 婦人科学会	谷口 貴之, 中川映理子 内藤 喜樹, 前田 隆嗣 上塘 正人 麻酔科 原田 浩輝
	ロボット支援下手術後に再発した子宮体癌の一例 –これまでのロボット支援下手術の経験をふまえて–	2026. 1 鹿児島市	第154回鹿児島産科 婦人科学会	松本 純, 中村 俊昭 竹野 宜代, 和田美智子 上塘 正人
	胎児診断した心耳左側並列の1例	2026. 2 東京都	日本胎児心臓病学会 第32回学術集会	橋本 崇史, 西畠 信 保崎 憲人, 樋木 大祐 上塘 正人
	当院におけるDurvalumabでの子宮体癌治療	2026. 3 鹿児島市	Gynecologic Cancer Seminar in Kagoshima	中村 俊昭
眼 科	治療に難渋した網膜剥離の1例	2025. 6 鹿児島市	第7回九州Retina Associates	山切 啓太
	抗血管内皮増殖因子薬硝子体投与後に急速に白内障が進行した2例	2025. 9 鹿児島市	第286回鹿児島眼科 集談会	山下 眞弘, 山切 啓太 尾曲 史夏, 米満 大智 上村 昭典
	人工知能を用いたOCT構造マップによるポリープ状病巣の検出性能と検者間比較	2025. 10 東 京	第79回日本臨床眼科 学会	池満 仁司, 寺崎 寛人 三原 直久, 船津 諒 岡村 幸輝, 三宅 頌己 今辻 大貴, 椎原 秀樹 園田 祥三, 坂本 泰二
	片頭痛既往をもつ若年女性に発症したParacentral acute middle maculopathyの1例	2025. 12 東 京	第64回日本網膜硝子 体学会総会	山下 眞弘, 上村 昭典 米満 大智, 尾曲 史夏 山切 啓太
	初回手術時の勘違いが原因となった？網膜剥離の再発症例	2025. 12 東 京	第24回難治性網膜硝 子体手術治療研究会	山切 啓太
	思わず「えっ」と声が出た網膜剥離の再発例	2026. 1 福岡市	第4回えみごのみの 会	山切 啓太

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
眼 科	網膜剥離の初回硝子体手術：実践編 第2部 強膜内固定後の網膜剥離 特徴 と手術の問題点	2026. 2 福岡市	第49回日本眼科手術 学会	山切 啓太, 塙本 幸 山根 真, 北川 順久 倉員 敏明
	人工知能を用いたOCT Structural Normality mapによるポリープ状病巣の 検出性能と検者間比較	2026. 2 鹿児島市	第288回鹿児島眼科 集談会	池満 仁司, 三原 直久 船津 諒, 岡村 幸輝 三宅 頌己, 今辻 大貴 園田 祥三, 寺崎 寛人
耳 鼻 咽 喉 科	マイコプラズマ感染により偽膜性喉頭炎 を発症した1例	2025. 5 横浜市	第126回日本耳鼻咽 喉科頭頸部外科学会 総会・学術講演会	徳重 豪士, 西元 謙吾 峠 早紀子, 下藺 知己 松崎 勉, 山下 勝
	術前に診断に至らなかった小児顎下腺粘 表皮癌の1例	2025. 6 奈良市	第87回耳鼻咽喉科臨 床学会総会・学術講 演会	喜山 敏志, 馬越 瑞夫 津曲 省吾, 林 多聞 山下 勝
	人工内耳手術から長期経過後に, インプ ラント除去が必要となった1例	2025. 6 奈良市	第87回耳鼻咽喉科臨 床学会総会・学術講 演会	津曲 省吾, 喜山 敏志 馬越 瑞夫, 林 多聞 高橋 邦行
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	大学医学部保健学科生への「解剖生理学 とスポーツ医学」講義の経験	2025. 6 京都市	第62回日本リハビリ テーション医学会学 術集会	鶴川 俊洋
	筆記試験支援講座「呼吸・循環」と専門 医取得後の未来に向けて	2025. 6 京都市	第62回日本リハビリ テーション医学会学 術集会専門医試験支 援講座	鶴川 俊洋
	スポーツ医学と心臓リハビリテーション を繋げた医療系学生教育について	2025. 7 名古屋市	第31回日本心臓リハ ビリテーション学会 学術集会	鶴川 俊洋
	新規リハビリテーション治療機器購入の 困難さに直面して	2025. 9 佐賀市	第58回日本リハビリ テーション医学会九 州地方会	鶴川 俊洋
	小児心肺運動負荷試験の経験と課題	2025. 9 東京都	第44回日本臨床運動 療法学会学術集会	鶴川 俊洋
	運動療法とリハビリテーション医療 ～内科系疾患～	2025. 9 オンデマンド配信	日本整形外科学会 第52回スポーツ医学 研修会（総論）	鶴川 俊洋
	急性期総合病院における365日リハビリ テーション治療提供体制移行（第3報） と急性期リハビリテーション加算	2025. 10 旭川市	第9回日本リハビリ テーション医学会秋 季学術集会	鶴川 俊洋
	心臓リハビリテーション ～急性期・回復期・生活期～	2025. 11 千葉市	第36回日本臨床スポ ーツ医学会学術集会 シンポジウム	鶴川 俊洋
	10年間のサッカー協会医学委員長活動を 振り返って	2025. 11 千葉市	第36回日本臨床スポ ーツ医学会学術集会	鶴川 俊洋

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
リハビリテーション科	がん患者の代表的なQOL評価と活用の仕方 ～リハビリテーション医学の視点で～	2026. 3 高崎市	第14回日本がんリハビリテーション学会 学術集会シンポジウム	鶴川 俊洋
	最新ガイドラインレクチャー第2部 頭頸部がん	2026. 3 高崎市	第14回日本がんリハビリテーション学会 学術集会企画プログラム	鶴川 俊洋
歯 科 口腔外科	当院における周術期等口腔機能管理の臨床統計的検討	2025. 4 新 潟	日本口腔ケア学会	平原 成浩, 新田 哲也 平野 憂花, 東元郁菜子 六笠 靖子, 山本恵莉香 黒木瀬里奈, 尾辻美奈子 山口麻衣子
	診療情報提供書の意義と書き方	2025. 6 鹿児島市	鹿児島歯学臨床懇話会 ベーシックセミナー	新田 哲也
	鹿児島市立病院歯科口腔外科における時間外救急を受診した外傷患者について	2025. 7 鹿児島市	鹿児島歯学臨床懇話会 ベーシックセミナー	新田 哲也
	診療時間外に救命救急センターを受診した顎顔面外傷患者の臨床統計的観察検討	2025. 8 横 浜	第26回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会	新田 哲也, 吉永 悠 山城 康太, 奥井 達雄
	睡眠時遊行症による異常行動が原因と考えられた全身多発骨折の1例	2025. 8 横 浜	第26回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会	吉永 悠, 山城 康太 平原 成浩, 新田 哲也 奥井 達雄
	歯科診療所における抗菌薬選択の実態—外来経口抗菌薬使用に関するアンケート	2025. 10 東 京	三学会合同学術大会 (第45回日本歯科薬物療法学会, 第43回日本歯科東洋医学会, 第34回日本口腔感染症学会)	新田 哲也, 上川 善昭 山城 康太, 吉永 悠 西 慶太郎, 中村 康大 坂元 亮一, 山口孝二郎
	口唇腫脹を主訴にクローン病の診断に至った1例	2025. 11 福 岡	第70回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会	新田 哲也, 吉永 悠 城間 結香, 平原 成浩 西 慶太郎, 山城 康太 上川 善昭
	歯科開業医における歯科治療時の外来経口抗菌薬使用に関するアンケート—2018年と2025年時点での抗菌薬使用の経年比較	2025. 11 福 岡	第95回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第73回日本化学療法西日本支部総会 合同学会	新田 哲也, 池田 賢一 児玉 祐一, 楠生 亮
	朝顔症候群を併発した先天性上唇瘻の一例	2025. 12 高 松	第37回一般社団法人日本小児口腔外科学会総会・学術大会	城間 結香, 新田 哲也
	抗微生物薬適正使用の手引き第4班 歯科編 (案): 歯科編のポイント	2026. 1 鹿児島市	小児歯科を語る会	新田 哲也

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
歯 科 口腔外科	抜歯後のドライソケットに対しては抗菌薬を投与せず、難抜歯ではエリキウスやプラザキサ（DOAC）のスキップを照会し、掌蹠膿疱症患者については金属除去ではなく歯性病巣の精査・治療をおこなえていますか。	2026. 1 鹿児島市	鹿児島歯学臨床懇話会 ベーシックセミナー	新田 哲也
	生体肝移植後16年目に発生した舌口底癌と食道癌の同時重複癌の1例	2026. 1 宇都宮市	第44回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会	新田 哲也, 山城 康太 吉永 悠, 西 慶太郎 中村 康大, 笹平 智則
	診療時間外に救命救急センターを受診した歯科口腔外科患者の時間帯別受診動向	2026. 3 東 京	第35回一般社団法人日本有病者歯科医療学会 総会・学術大会	新田 哲也, 東元佳菜子 吉永 悠, 平野 憂花 西 慶太郎, 六笠 靖子 尾辻美奈子, 山城 康太
麻 酔 科 ・ ペ イ ン ク リ ニ ッ ク ・ 集 中 治 療 部	腰椎椎間板ヘルニアに対する硬膜外洗浄の鎮痛機序	2025. 7 東京都	日本ペインクリニック学会 第59回学術集会	大納 哲也, 青木 利奈 藤井真樹子, 濱崎順一郎
	持続腕神経叢ブロックが前腕切断肢温存に寄与した1例	2025. 7 東京都	日本ペインクリニック学会 第59回学術集会	青木 利奈, 大納 哲也 藤井真樹子, 濱崎順一郎
	抗血小板薬治療中の帯状疱疹関連痛に対して肋骨上ブロックが奏効した一例	2025. 7 東京都	日本ペインクリニック学会 第59回学術集会	藤井真樹子, 大納 哲也 青木 利奈, 濱崎順一郎
	麻酔薬アレルギー既往患者に対する再麻酔時の安全管理に関する2症例 －慎重な準備と再発防止策の重要性－	2025. 12 名古屋市	日本臨床麻酔学会 第45回大会	上村 駿, 児玉 健士 濱崎順一郎
	言い伝えの重症性「慢性疼痛患者の新しい痛み出現時はすぐに再評価をすべき」	2026. 2 佐賀県	日本ペインクリニック学会	大納 哲也, 青木 利奈 濱崎順一郎
救 急 科	発熱, 左腰部痛で来院した, 57歳女性	2025. 5 鹿児島市	第34回南九州感染症寺小屋	中田 光紀, 伊福 達成 吉原 秀明
	Salmonellaによる化膿性椎間板炎の1例	2025. 6 佐賀市	第29回日本救急医学会九州地方会	中田 光紀, 伊福 達成 木許広太郎, 萬福 歩夢 中馬 直人, 中村 茂宏 井田俊太郎, 奥田龍一郎 江口 智洋, 米澤 智子 大西 広一, 高間 辰雄 吉原 秀明
	南海トラフ地震と薬剤師	2025. 7 鹿児島市	鹿児島県薬剤師会 多職種連携シンポジウム	高間 辰雄
	ドクターヘリ事後検証作業のデジタル化	2025. 9 鹿児島市	鹿児島救急医学会学術集会第91回医師部	今村 公俊, 吉原 秀明 高間 辰雄, 隈 裕亮 大久保克彦

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
救 急 科	救急ホットラインの情報共有システムについて	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	大西 広一, 吉原 秀明 高間 辰雄, 米澤 智子 上村 吉夫, 伊福 達成 奥田龍一郎, 井田俊太郎 中村 茂宏, 嶺崎 佑介 萬福 歩夢, 木許広太郎
	桜島大規模噴火時における透析医療機関の避難対象エリアの検討	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	吉原 秀明, 奥田龍一郎 嶺崎 佑介, 伊福 達成 大西 広一, 高間 辰雄
	瀕死の産科救急症例へVA-ECMOを導入した事案	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	大西 広一, 鹿野 恒 吉原 秀明, 高間 辰雄 杉本 龍史, 下野 謙慎 野口 航, 松窪 将平 稲田 敏, 梅田 幸希 伊福 達成, 米澤 智子
	院内救命士のマルチタスク能力は病院経営に寄与するか? 当院での取り組み	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	隈 裕亮, 高間 辰雄 木許広太郎, 萬福 歩夢 中村 茂宏, 井田俊太郎 奥田龍一郎, 江口 智洋 今村 公俊, 大久保克彦 吉原 秀明
	右鼠径部刺創し出血性ショックが疑われ、ドクターヘリで対応した1例	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	伊福 達成, 高間 辰雄 大西 広一, 吉原 秀明
	胸腔ドレーンによる肺損傷に対して保存的に治療した1例	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	中村 茂宏, 木許広太郎 萬福 歩夢, 中馬 直人 井田俊太郎, 奥田龍一郎 伊福 達成, 江口 智洋 大西 広一, 高間 辰雄 吉原 秀明
	壊死性筋膜炎を契機に有機リン中毒と判明した1例	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	中村 茂宏, 奥田龍一郎 吉原 秀明, 田口 宏樹 中前 琢磨, 林 敬人 高間 辰雄
	外傷を契機としない胸膜外血腫に対して経カテーテル的動脈塞栓術を施行した1例	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	宮原 和暉, 伊福 達成 高間 辰雄, 吉原 秀明
	救急外来に搬送された未治療糖尿病患者にみられた舞踏運動の一例	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	有馬 悠平, 伊福 達成 高間 辰雄, 吉原 秀明
	メトホルミン中毒による乳酸アシドーシスに腹部コンパートメント症候群を合併した一例	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	森 竜, 奥田龍一郎 古賀 仁士, 井田俊太郎 嶺崎 佑介, 伊福 達成 上村 吉生, 大西 広一 高間 辰雄, 吉原 秀明 林 敬人
	快適温度熱傷による高齢者重症熱傷の一例 - 伝統的入浴環境に潜むリスクとACPの課題 -	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	東元 智玄, 伊福 達成 高間 辰雄, 吉原 秀明

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
救 急 科	経腸栄養プロトコール導入前後での消化態栄養剤使用の変化と課題	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	奥田龍一郎, 木許広太郎 萬福 歩夢, 中馬 直人 井田俊太郎, 中村 茂宏 江口 智洋, 高間 辰雄 吉原 秀明
	コリンエステラーゼ活性低値が長期間遷延したスミチオン内服中毒の一例	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	油木田瑛介, 伊福 達成 高間 辰雄, 吉原 秀明
	数人だけの振り返りより, 100人の視点を: 重大多数傷病者事案に学ぶ多機関検討の力	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	高間 辰雄, 中馬 直人 北崎 礼繁, 吉原 秀明
	オオミフクラギの過剰摂取による高度徐脈を認めた一例	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	井田俊太郎, 吉原 秀明 高間 辰雄, 奥田龍一郎 萬福 歩夢, 木許広太郎 大西 広一, 伊福 達成 中村 茂宏
	シャント側上肢にマムシ咬傷を受けた慢性透析患者の1例	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	中馬 直人, 高間 辰雄 萬福 歩夢, 木許広太郎 井田俊太郎, 中村 茂宏 奥田龍一郎, 伊福 達成 吉原 秀明, 古賀 仁士
	原因不明の食道肥厚として加療中に2型呼吸不全により救急搬送され, 新たに食道悪性リンパ腫が疑われた一例	2025. 10 大阪市	第53回日本救急医学会総会学術集会	木許広太郎, 高間 辰雄 萬福 歩夢, 中村 茂宏 中馬 直人, 井田俊太郎 奥田龍一郎, 伊福 達成 江口 智洋, 大西 広一 吉原 秀明
	奄美群島における大規模避難を考える	2025. 10 静岡市	第84回日本公衆衛生学会総会	渋谷 謙一, 高間 辰雄 吉原 秀明
	学校における救急処置の理解と実際	2025. 10 鹿児島市	養護教諭パワーアップ研修 (中堅教諭等資質向上研修)	吉原 秀明
	Fatal Metformin Overdose Leading to MALA and Abdominal Compartment Syndrome: A Case Report.	2025. 11 Dubai UAE	13th Asian Conference on Emergency Medicine	Ryu Mori Ryuichiro Okuda Hitoshi Koga Shuntaro Ida Yusuke Takezaki Tassei Ifuku Yoshio Kamimura Hirokazu Onishi Tatsuo Takama Hideaki Yoshihara, Takahito Hayashi.
	鹿児島県ドクターヘリ For the Future	2025. 11 沼津市	第32回日本航空医療学会総会・学術集会	吉原 秀明, 鈴木 隆志 井田俊太郎, 嶺崎 佑介 伊福 達成, 上村 吉生 大西 広一, 高間 辰雄

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
救 急 科	災害時における航空慰労搬送訓練: KARIN Project	2025. 11 沼津市	第32回日本航空医療 学会総会・学術集会	高間 辰雄, 森 竜 町田 崇, 嶺崎 佑介 伊福 達成, 上村 吉生 大西 広一, 吉原 秀明
	離島での複数傷病者発生事案における救命例	2025. 11 沼津市	第32回日本航空医療 学会総会・学術集会	森 竜, 山根木美香 井田俊太郎, 嶺崎 佑介 奥田龍一郎, 伊福 達成 上村 吉生, 大西 広一 高間 辰雄, 古賀 仁士 吉原 秀明
	くりかえすCPAに対し離島からのドクターヘリ搬送により社会復帰した一例	2025. 11 沼津市	第32回日本航空医療 学会総会・学術集会	町田 崇, 高間 辰雄 伊福 達成, 大西 広一 吉原 秀明
	離島搬送を担う鹿児島県ドクターヘリにおける航空安全対策の見直しと緊急脱出講習導入の取り組み	2025. 11 沼津市	第32回日本航空医療 学会総会・学術集会	大久保克彦, 高間 辰雄 今村 公俊, 山尾 幸平 森 竜, 井田俊太郎 吉原 秀明
	鹿児島県防災ヘリによる重症傷病者の直接病院搬送実現に向けた制度改定と実地訓練の取り組み	2025. 11 沼津市	第32回日本航空医療 学会総会・学術集会	高間 辰雄, 町田 崇 森 竜, 嶺崎 佑介 伊福 達成, 上村 吉生 大西 広一, 吉原 秀明
	ヘリスタンバイ時間の導入と副次的に得られるキャンセル率の軽減についての考察	2025. 11 沼津市	第32回日本航空医療 学会総会・学術集会	井田俊太郎, 吉原 秀明 高間 辰雄, 大西 広一 上村 吉生, 伊福 達成 奥田龍一郎, 嶺崎 佑介 米澤 智子, 中村 茂宏 町田 崇, 森 竜 萬福 歩夢, 木許広太郎 鈴木 隆志
	ドクターヘリ事後検証作業のデジタル化	2025. 11 沼津市	第32回日本航空医療 学会総会・学術集会	今村 公俊, 高間 辰雄 大久保克彦, 吉原 秀明
	火山災害における医療支援体制 ～鹿児島県DMATの取組～	2025. 11 沼津市	令和7年度レジリエ ント社会・地域共創 シンポジウム	吉原 秀明
	JMAT総論	2025. 11 鹿児島市	令和7年度鹿児島県 医師会災害医療研修 会（JMAT研修）	吉原 秀明
	防災ヘリによる病院直接搬送スキーム実現に至経緯と症例報告	2025. 12 会津若松市	第20回日本病院前救 急診療医学会	有馬 悠平, 伊福 達成 高間 辰雄, 吉原 秀明
	鹿児島県救急医療体制と鹿児島市立病院の担う役割	2025. 12 鹿児島市	聖マリア医学会学術 集会 日米救急医療 シンポジウム	吉原 秀明
	大規模火山噴火における災害医療の課題 解決に向けて～多職種連携に挑む～	2025. 12 鹿児島市	令和7年度レジリエ ント社会・地域共創 シンポジウム	吉原 秀明
	災害支援論	2026. 1 鹿児島市	鹿児島国際大学看護 学部看護学科	奥田龍一郎

科 名	発 表 演 題	年月、場所	学会、講演会等名	発表者及び共同研究者
救 急 科	救急医療の課題、どう言う道があるのか？有料化は有効な手段か？	2026. 2 名古屋市	第2回日本危機管理 医学会学術集会	高間 辰雄
	薩摩郷中教育をモデルとした二才の育成 防災教育事業への取り組み	2026. 2 名古屋市	第2回日本危機管理 医学会学術集会	山路 美羽, 高間 辰雄
	栄養士養成校における実践的危機管理教 育導入の試み－新設プログラムの報告－	2026. 2 名古屋市	第2回日本危機管理 医学会学術集会	改元 香, 松元理恵子 高間 辰雄, 上温湯貴志
	熊本地震からの教訓を南海トラフ地震に 活かす	2026. 2 熊本市	第48回 熊本救急・ 集中治療研究会	高間 辰雄
	熊本地震・東熊本病院における病院避難 の決断と安全管理－DMAT安全管理教 育の転換点となった活動を振り返る－	2026. 3 新潟市	第31回日本災害医学 会総会・学術集会	吉原 秀明, 奥田龍一郎 伊福 達成, 大西 広一 高間 辰雄
	桜島の大規模噴火を想定した事前病院避 難シミュレーション	2026. 3 新潟市	第31回日本災害医学 会総会・学術集会	吉原 秀明, 奥田龍一郎 伊福 達成, 大西 広一 高間 辰雄, 佐藤 満仁 野口 航
	災害拠点病院長会議で明らかとなった鹿 児島県災害拠点病院の火山災害対策の現 状と課題	2026. 3 新潟市	第31回日本災害医学 会総会・学術集会	吉原 秀明, 奥田龍一郎 伊福 達成, 大西 広一 高間 辰雄, 佐藤 満仁 野口 航
	傷病者はなくとも看護は活かせる。 ～十島村悪石島での群発地震発災中にお ける看護支援ナースの活動	2026. 3 新潟市	第31回日本災害医学 会総会・学術集会	永尾 香織, 高間 辰雄 吉原 秀明
	災害支援が届きにくい鹿児島における JDA-DAT養成研修とDMAT連携 －大規模災害での即応力	2026. 3 新潟市	第31回日本災害医学 会総会・学術集会	高間 辰雄
	災害支援が届きにくい鹿児島における JDA-DAT養成研修の取り組み	2026. 3 新潟市	第31回日本災害医学 会総会・学術集会	山下 雅世, 高間 辰雄 改元 香
	最期の声を語り継ぐ－Karin-Project に よる防災教育の取り組み－	2026. 3 新潟市	第31回日本災害医学 会総会・学術集会	宮崎さくら, 高間 辰雄 吉原 秀明
	VMAT(災害派遣獣医療チーム) による 避難所運営への介入と防災教育	2026. 3 新潟市	第31回日本災害医学 会総会・学術集会	上温湯貴志, 高間 辰雄 佐々木弘一
	常駐医師不在の離島における住民主体の 防災教育モデル構築の試み	2026. 3 新潟市	第31回日本災害医学 会総会・学術集会	平田 悠哉, 高間 辰雄 大久保克彦, 浦尾 樹正 張野 春奈
	三環系抗うつ薬中毒に対し救命し得たが セロトニン症候群症状とCritical illness polyneuropathyを呈した1例	2026. 3 横浜市	第53回日本集中治療 医学会学術集会	中村 茂宏, 木許広太郎 萬福 歩夢, 井田俊太郎 嶺崎 佑介, 奥田龍一郎 上村 吉生, 高間 辰雄 吉原 秀明, 垣花 泰之
感 染 制 御 部	県医師会から見た国民保護活動	2026. 3 鹿児島市	第2回鹿児島県医師 会と宮崎県医師会役 員の意見交換会	吉原 秀明
	救急外来にやってくる血管疾患について 理解を深める	2026. 3 霧島市	九州CVTの会	高間 辰雄
感 染 制 御 部	《傷病者はなくとも看護は活かせる》 ～十島村悪石島での群発地震発災中にお ける災害支援ナースの活動～	2026. 3 新潟県	第31回日本災害医学 会総会・学術集会	○永尾 香織 高間 辰夫, 吉原 秀明

イ 学術論文等の研究発表 (2025. 4～2026. 3)

科 名	論 文 題 目	署名, 誌名等及び巻, 頁, 年月	著者及び共同執筆者
内 科	Efficacy of favipiravir treatment for patients with severe fever with thrombocytopenia syndrome assessed with a historical control	Antimicrobial Agents and Chemotherapy. Vol. 69(12), December 2025, e01062-25	Saijo M, Izumikawa K Suemori K, Takahashi T Umekita K, Ohge H Hatakenaka M, Ikeda K et al.
糖尿病・ 内 分 泌 内 科	Investigate Nutrition-related Risks and Activities of Daily Living in Diabetes Patients with Severe Hypoglycemia	Diabetes Complications., 9(3)1-7 2025	Shuji Horinouchi Katsutaro Morino Miki Mukai, Dai Yamagami Marie Hirahara Yoshihiko Nishio
脳 神 経 内 科	Recombinant factor VIIa versus placebo for spontaneous intracerebral haemorrhage within 2 h of symptom onset (FASTEST): a multicentre, double-blind, randomised, placebo-controlled, phase 3 trial	Lancet. 2026 ; 407 (10530) : 773-783.	Joseph P Broderick,Fumio Miyashita...
消 化 器 内 科	Feasibility and safety of EUS-guided biliary drainage in inexperienced centers: a multicenter study in southwest Japan.	Gastrointest Endosc. 2025 Apr ; 101(4) : 843-852 e2.	Koga T, Ishida Y, Hashigo S Shimokawa Y, Harima H Okamoto K, Ohono A Miyagahara T, Fujita T Fukuchi S, Takahashi K Taguchi H, Araki N Ohtsuka Y, Uekitani T Tsuneyoshi K, Akiyama T Ishigaki N, Maruo T, Saito H Ihara R, Yamasuji A, Oe S Yoshinari M, Sagami R Fujimori N, Fukuda Y Ozawa E, Jikuya K Shimohara H, Sen-Yo M Ueki T, Tsuchiya N Kitaguchi T, Matsumoto K Fukuyama M, Hirai F.

科 名	論 文 題 目	署名, 誌名等及び巻, 頁, 年月	著者及び共同執筆者
消 化 器 内 科	Clinical backgrounds and outcomes of patients with Barrett's esophageal adenocarcinoma treated via endoscopic submucosal dissections in Kyushu, Japan: A retrospective multicenter cohorts study.	DEN Open 2025 May 5 ;6(1) :e70102. doi : 10. 1002/deo2. 70102.	Fumisato Sasaki Kazuhiro Mizukami Taro Akashi Naoyuki Yamaguchi Ryosuke Gushima Hideaki Miyamoto Shohei Uehara, Yoichiro Ono Takashi Hisabe Yuzuru Kinjo, Yuichiro Nasu Kensuke Fukuda Taisuke Inada Yorinobu Sumida Takashi Akutagawa Tadashi Miike, Sho Suzuki Hiroki Fukuya Michita Mukasa Mitsuru Esaki Shinsuke Kumei Yosuke Minoda Tetsu Kinjo Daisuke Yamaguchi Yoshio Fukuda Kazutoshi Hashiguchi Hiroki Yano, Hiroshi Fujita Ryo Shimoda GI-kyushu study group
	Efficacy of third-line chemotherapy following nanoliposomal irinotecan combined with fluorouracil and folinic acid as second-line treatment for unresectable pancreatic cancer.	Front Oncol. 2025. jul 17 ; 15 : 1626689.	Miwa K, Kawasaki R Shimokawa M, Otsuka T Tanaka T, Fukahori M Shibuki T, Nakazawa J Arima S, Koga F, Ueda Y Kubotsu Y, Shimokawa H Takeshita S, Nishikawa K Komori A, Otsu S Hosokawa A, Sakai T Oda H, Kawahira M, Arita S Honda T, Taguchi H Tsuneyoshi K, Fujita T Sakae T, Kawaguchi Y Shirakawa T, Mizuta T Mitsugi K.
	Dilation Device Use and Concomitant Antegrade Stenting are Associated With Procedure-related Early Adverse Events After Endoscopic Ultrasound-guided Hepaticogastrostomy:A Retrospective Multicenter study.	DEN Open. 2025 Oct 7 ; 6(1) : e70211. doi : 10. 1002/deo2. 70211.	Hashimoto S, Taguchi H Araki N, Yamazato Y Iwata H, Tabira Y Shibata R, Kamikihara Y Toyodome K, Kojima I Hamada T, Tsuneyoshi K Nakamura Y, Yano H Hinokuchi M, Arima S Tanoue S, Sasaki F Kanmura S, Ido A.

科 名	論 文 題 目	署名, 誌名等及び巻, 頁, 年月	著者及び共同執筆者
消 化 器 内 科	Impact of biliary drainage for unresectable pancreatic cancer treated with nanoliposomal irinotecan with fluorouracil and folinic acid:retrospective results from the NAPOLEON-2 study.	BMC Cancer. 2025. Oct21 ; 25(1) : 1614.	Nishikawa K, Otsuka T Shimokawa M, Inagaki T Komori A, Todaka A, Otsu S Shibuki T, Nakazawa J Arima S, Miwa K, Koga F Ueda Y, Kubotsu Y Shimokawa H, Takeshita S Hosokawa A, Sakai T, Oda H Kawahira M, Arita S Honda T, Taguchi H Tsuneyoshi K, Fujita T Sakae T, Kawaguchi Y Shirakawa T, Mizuta T Mitsugi K
	Impact of prior chemotherapy on nanoliposomal irinotecan with fluorouracil and folinic acid for unresectable pancreatic cancer:a retrospective analysis of data from the multicenter NAPOLEON-2 study.	Ther Adv Med Oncol. 2025 Nov 18 ; 17 : 17588359251393156. doi : 10.1177/ 17588359251393156. eCollection 2025.	Koike T, Kawaguchi Y Shimokawa M, Otsuka T Furukawa K, Shinohara Y Shimokawa H, Yoshihiro T Shibuki T, Nakazawa J Arima S, Miwa K, Koga F Ueda Y, Kubotsu Y Takeshita S, Nishikawa K Komori A, Otsu S Hosokawa A, Sakai T, Oda H Kawahira M, Arita S Honda T, Taguchi H Tsuneyoshi K, Fujita T Sakae T, Shirakawa T Mizuta T, Mitsugi K
	Chemotherapy-induced neutropenia predicts short-term outcome of patients with pancreatic cancer treated with nanoliposomal irinotecan fluorouracil and folinic acid.	Int J Cancer. 2026 Jan 1 ; 158(1) : 140-152.	Araki T, Shirakawa T Shimokawa M, Otsuka T Hayashi K, Sonoda Y Honda T, Miyaaki H Nakazawa J, Shimokawa H Shinohara Y, Koga F Oza N, Oda H, Takeshita S Arima S, Arita S Kawaguchi Y, Nishikawa K Otsu S, Taguchi H Jikuya K, Sakai T, Ueda Y Sakae T, Araki N, Sawase H Ide Y, Kawahira M, Nio K Mizuta T, Mitsugi K.
腫瘍内科	高齢者のがん薬物療法ガイドライン 改訂第2版	南江堂 2026. 3	中澤 潤一 (消化管 作成グループ)

科 名	論 文 題 目	署名, 誌名等及び巻, 頁, 年月	著者及び共同執筆者
小 児 科	Safety and efficacy of sedation for pediatric patients with cancer and developmental disabilities.	Pediatr Int. 2025 Jan-Dec ; 67(1) : e70142.	Nakamura T, Nakagawa S Horikawa S, Nagahama J Yasudome Y, Abematsu T Kodama Y, Nishikawa T Okamoto Y.
	Central neurogenic hyperventilation throughout radiotherapy in a pediatric patient with diffuse intrinsic pontine glioma.	Pediatr Int. 2025 Jan-Dec ; 67(1) : e70182.	Nakamura T, Nakagawa S Kodama Y, Abematsu T Nishikawa T, Okamoto Y.
	A prospective study evaluating the safety and pharmacokinetics of ponatinib at a fixed dose in six paediatric patients with philadelphia chromosome-positive leukaemia : JCCG PedPona19 study.	Br J Haematol. 2025 Jul ; 207(1) : 308-311.	Kodama Y, Nishi M Sato A, Imamura CK Deguchi T, Hirakawa A Kiyokawa N, Ohki K Shima H, Kato K, Kato M Kawasaki H, Sakaguchi H Hiramatsu H, Goto H Yamamoto S, Ito M Tanizawa A, Yuza Y Saito AM, Ogawa C, Taga T Adachi S, Shimada H.
	Administration of Onasemnogene Apeparvovec in an Infant With Spinal Muscular Atrophy and PCR-Confirmed SARS-CoV-2 Infection.	Cureus. 2025 Sep 19 ; 17(9) : e92754.	Shimomura I, Maruyama S Kodama Y, Matsunaga M Okamoto Y.
	Screening of 1-month-old infants with a prolonged QT interval and its cut-off value.	Circulation J. 2025, 89 : 826-834	Yoshinaga M, Ushinohama H Sato S, Ohno S, Hata T Horigome H, Tauchi N Sumitomo N, Nishihara E Hirono K, Ichida F Shiraishi H, Nomura Y Tsukano S, Ninomiya Y Yoneyama T, Suzuki H Takahashi H, Ogata H Makita N, Shimizu W Horie M, Nagashima M.
	埋め込み型ポートを用いた持続硬膜外ブロックにより高度のがん疼痛を緩和できた小児の腎細胞がんの1例	Palliative Care Research (1880-5302) 20巻4号 Page216-221 (2025)	野田美弥子, 前川 健一 佐々木雄一, 笠毛 溪 萩原信太郎, 榎畑 京 園田 拓郎, 中村 達郎 児玉 祐一, 岡本 康裕 上野 真一
	乳児のチャイルドシートの前向き使用時の交通外傷による高位頸髄損傷のリスク	日本小児科学会雑誌 2025. 129 : 584-588	竹元 将人, 池田 尚弘 太原 鉄平, 森田 康子 樋木 大祐, 楠生 亮 野村 裕一
	行動療法が奏効した高度便秘症の自閉スペクトラム症の男児例	小児科臨床 (0021-518X) 78巻5号 Page746-750 (2025. 10)	加藤 嘉一, 今村 真理 小川 結実, 児玉 祐一 家入 里志, 加治 建

科 名	論 文 題 目	署名, 誌名等及び巻, 頁, 年月	著者及び共同執筆者
新 生 児 内 科 N I C U	新生児の災害対策	周産期医学, 周産期救急システム - 初期対応と災害対策 Vol. 55 No.6, 758-764頁 2025. 6	徳久 琢也
	新生児医療体制	NICUマニュアル 第6版, 7-8頁 2025. 7	徳久 琢也
	外傷性頭部出血	NICUマニュアル 第6版, 401-405頁 2025. 7	徳久 琢也
	ETCO2	NICUマニュアル 第6版, 497-499頁 2025. 7	大橋 宏史
	ECMO	NICUマニュアル 第6版, 656-662頁 2025. 7	山本 剛士
	血液浄化療法	周産期医学, 周産期感染症 2026 Vol. 55増刊号, 314-319頁 2025. 12	徳久 琢也
	Risk factors of early mortality within 72 hours of birth in neonates born at 22-23 weeks' gestation.	MC Pediatr. 2025 ; 26(1) : 31. doi : 10. 1186/s12887-025-06311- 2.	Kurimoto T, Tokuhisa T Yara A, Ohashi H Hirakawa E, Maeda T Kamitomo M.
	Causes and risk factors for death in infants with congenital chylothorax. Front Pediatr.	2025 ; 13 : 1699515. doi : 10. 3389/fped. 2025. 1699515	Kubo Y, Ibara S, Tokuhisa T Kibe M, Sueyoshi K Kamitomo M, Kato M.
	High-frequency oscillatory ventilation with sigh breath increases pneumothorax in neonates born at 22-25 gestational weeks.	BMC Pediatr. 2025 ; 25 (1) : 850. doi : 10 .1186/s12887-025-06142- 1.	Kurimoto T, Tokuhisa T Yara A, Kibe M, Ohashi H Hirakawa E, Maeda T Kamitomo M.
	Determinants of survival in extremely preterm infants born at 22-23 weeks: a retrospective cohort study.	Front Pediatr. 2025 ; 13 : 1673565. doi : 10. 3389/fped. 2025. 1673565.	Kurimoto T, Tokuhisa T Kibe M, Ohashi H Hirakawa E, Maeda T Kamitomo M.

科 名	論 文 題 目	署名, 誌名等及び巻, 頁, 年月	著者及び共同執筆者
新 生 児 内 科 N I C U	Efficacy of intravascular therapeutic hypothermia for moderate to severe hypoxic-ischemic encephalopathy. Children (Basel). Haemodynamic changes and mean airway pressure threshold in extremely preterm infants (22-24 weeks of gestation) with tension pneumothorax. Pathologic findings of sepsis-associated disseminated intravascular coagulation in a neonate. The anomalous inferior vena cava accidentally found in very low birth weight neonate.	2025 ; 12(5) : 605. doi : 10. 3390/children12050605. Resusc Plus. 2025 ; 23 : 100954. doi : 10. 1016/j. resplu. 2025. 100954. Pediatr Infect Dis J. 2025 ; 44(4) : e146-e147. Pediatr Cardiol. 2025 ; 46(2) : 504-505.	Kurimoto T, Tokuhisa T Hayasaka I, Yamamoto T Hirakawa E, Ohashi H Kibe M, Yara A, Maeda T Kamitomo M, Ibara S. Kurimoto T, Tokuhisa T Yara A, Kibe M, Ohashi H Yamamoto M, Yamamoto T Hirakawa E. Kubo Y, Tokuhisa T Kambara M, Fujishiro K Sueyoshi K. Kubo Y, Tokuhisa T Murao K.
消 化 器 外 科	ステントグラフト内挿術が効果的であったIIIb型膵頭部損傷に合併した下大静脈損傷の1例 Prognostic significance of osteosarcopenia and its effects on immune response in patients with stage II/III gastric cancer. Function-preserving gastrectomy based on the sentinel node concept prevents osteosarcopenia in patients with gastric cancer. Anterior and transmesocolic approaches for duodenal laparoscopic and endoscopic cooperative surgery. 【肝胆膵の手術を支えるチーム医療－合併症対策－】 膵臓 膵頭十二指腸切除の術式の工夫と膵液瘻の周術期管理	Japanese Journal of Acute Care Surgery, 15巻, 1号, 59-63頁, 2025. 4 Cancer Immunol Immunother. 74 (7) : 230. doi : 10. 1007/s00262-025-04084-2. 2025. 5 Gastric Cancer. 28(4) : 696-704. doi : 10. 1007/s10120-025-01617-7. 2025. 7 Sci Rep. 15(1) : 31169. doi : 10. 1038/s41598-025-17296-4. 2025. 8 肝胆膵, 91巻4号, 503-507頁. 2025. 10	山尾 幸平, 前村 公成 飯野 聡, 基 俊介 吉留しずか, 大久保啓史 喜多 芳昭, 柳 政行 下石光一郎, 福元 祥浩 四元 剛一 Hirase Y, Arigami T Matsushita D, Shimonosono M Tsuruda Y, Sasaki K Baba K, Kawasaki Y Ohtsuka T. Hirase Y, Arigami T Matsushita D, Shimonosono M Uenosono Y, Yanagita S Tsuruda Y, Sasaki K, Baba K Kawasaki Y, Ohtsuka T. Matsushita D, Arigami T Sasaki F, Maeda H Shimonosono M, Ohkubo K Tsuruda Y, Sasaki K Yanagita S, Uenosono Y Otsuka T. 又木 雄弘, 伊地知徹也 大井 秀之, 山崎 洋一 川崎 洋太, 橋元 慎一 蔵原 弘, 前村 公成 奥井 紀光, 大塚 隆生

科 名	論 文 題 目	署名, 誌名等及び巻, 頁, 年月	著者及び共同執筆者
消化器外科	Robot-Assisted Abdominoperineal Resection for Anal Fistula Cancer in a Patient with Situs Inversus Totalis: A Case Report.	Surg Case Rep. 11(1) : 25-0557. doi : 10. 70352/scrj. cr. 25-0557. 2025. 11	Kita Y, Mori S, Tsuruta Y Hirano T, Iio S, Utsunomiya A Iino S, Maemura K.
心臓血管外科	Aorto-Right Atrial Fistula Caused by Subacute Type A Aortic Dissection Six Months After Double Valve Replacement: A Case Report and Literature Review.	Cureus. 2025 Jun 24 ; 17(6) : e86692.	Yasumura H, Yotsumoto G Fukumoto Y, Ogata Y Shimoishi K, Matsuba T Arata K, Satozono H Yamashita Y, Kawazu Y Toyokawa K, Yamamoto H Soga Y.
	Obturator Foramen Bypass With Fluoroscopic Guidance for Recurrent Femoral Prosthetic Bypass Occlusions: A Case Report.	Cureus. 2026 Feb 2 ; 18(2) : e102824.	Yasumura H, Arata K Imada R, Satozono H Shimoishi K, Fukumoto Y Yotsumoto G, Ogata Y Matsuba T, Soga Y.
	One-stage total aortic arch replacement with four-branched frozen elephant trunk graft and thoracic endovascular aortic repair using the telescope technique.	JTCVS Tech. 2026 Mar 27 ; 37 : 102379.	Yasumura H, Shimoishi K Fukumoto Y, Yotsumoto G Ogata Y, Matsuba T, Soga Y.
	Pancreaticoduodenal artery aneurysms and cerebral aneurysms in a patient of Sjögren's syndrome: a surgical case report and literature review.	Gen Thorac Cardiovasc Surg Cases. 2026 Mar 29 ; 5(1) : 13.	Yasumura H, Shimoishi K Ijuin S, Arata K, Fukumoto Y Yotsumoto G, Ogata Y Matsuba T, Soga Y.
呼吸器外科	Specific Position of the Pulmonary Hilar Node in Cancer Immunity: Immunohistochemical and Morphometrical Study Using Lung Regional Nodes Obtained from Non-Small Cell Cancer Patients Without Metastasis.	Lymphatics. 2025 ; 3(2) : 13.	Aoki M*, Kamimura G Harada-Takeda A Nagata T, Murakami G Ueda K
	Thorough Lymphadenectomy Impairs Immunotherapy Outcomes for Postoperative Intrathoracic Recurrence of Non-small Cell	Lung Cancer. Anticancer Res. 2025 Sep ; 45(9) : 3971-3981.	Aoki M*, Kamimura GO Tsuneyoshi Y, Morizono S Tokunaga T Harada-Takeda A Maeda K, Nagata T Kariatsumari K, Ueda K.
	Anatomy of the intralobular and interlobular lymphatics in the human lung with special references to its topographical relation to lymph nodules and nodular composite cells.	Ann Anat. 2026 Feb 5 ; 265 : 152802.	Aoki M*, Jin ZW Kamimura G Harada-Takeda A Nagata T, Murakami G Ueda K.

科 名	論 文 題 目	署名, 誌名等及び巻, 頁, 年月	著者及び共同執筆者
呼 吸 器 外 科	Localization techniques for small pulmonary nodules: a narrative review of current strategies and future perspectives.	Video-Assisted Thoracic Surgery. 2026 ; 11 : 7. (30 March 2026)	Aoki M*, Morizono S Tokunaga T, Kamimura G Nonaka Y, Imamura S Harada-Takeda A Maeda K, Nagata T, Ueda K.
乳腺外科	脱毛症に対する5 α 還元酵素阻害剤 7年間内服後のBRCA2陽性男性乳 癌の1例 A case of grade 4 hyperglycemia induced by capivasertib and successfully managed with early insulin intervention.	日本臨床外科学会雑誌, 86巻, 1146-1151頁 2025. Surgical Case Report. 11巻 2025.	野元 優貴, 吉中 平次 江口 裕可, 新田 吉陽 中条 哲浩 Nomoto Yuki, Mukai Miki Eguchi Yuka Yoshinaka Heiji Shinden Yoshiaki Nakajo Akihiro
脳 神 経 外 科	Non-aggressive, sinus-type greater sphenoid wing dural arteriovenous fistula with shunt point in the laterocavernous sinus mimicking a cavernous sinus dural arteriovenous fistula converted to aggressive, non-sinus-type Posterior reversible encephalopathy syndrome during severe acute pancreatitis	BMJ Case Reports 2025 ; 18 : e265715. Nepal Journal of Neuroscience 2025 ; 22 : 53-55.	Sato M, Nishimuta Y (Moroki K) , (Hanaya R) Sato M, Ifuku T, Iwashita Y Nakayama H, Yoshihara H Tokimura H, (Hanaya R)
皮 膚 科	乾癬とmiR-1290 Evaluation of Neutrophil Activity Before and After Granulocyte and Monocyte Adsorptive Apheresis in Patients With Pustular Psoriasis ネモリズマフ投与後に増悪したと考 えられた水疱性類天疱瘡の1例 顆粒球単球吸着除去療法 (総説) 【皮膚疾患とアフエレシス】壊疽性 膿皮症とアフエレシス (総説)	臨床皮膚科79巻, 5号2025年増刊 号 60-64頁 2025. 4 Ther Apher Dial, 29, 702-706 2025. 8 西日本皮膚科, 87巻, 329-331頁 2025. 8 皮膚科, 9巻, 77-81頁 2026. 1 日本アフエレシス学会雑誌, 45巻, 26-30頁 2026. 02	東 裕子 Higashi Y, Ibusuki A Fukushige T, Sagara R Yonezawa R, Terada N Kawahira H, Kazumura K Kanekura T 山田きよ子, 末吉 和宣 東 裕子 東 裕子 東 裕子
産婦人科	当院における超緊急帝王切開に対す る取り組み	鹿児島産科婦人科学会雑誌34 : 17-21, 2025	中川映理子, 前田 隆嗣 谷口 貴之, 庄 隆成 戸田 薫, 三浦 美沙 橋本 崇史, 谷口 博子 上塘 正人 麻酔科 原田 浩輝, 濱崎順一郎

科 名	論 文 題 目	署名, 誌名等及び巻, 頁, 年月	著者及び共同執筆者
産婦人科	早期新生児死亡に至った先天性サイトメガロウイルス感染症の一例 腹腔内に迷入したIUDの一例	鹿児島産科婦人科学会雑誌34 : 22-26, 2025 鹿児島産科婦人科学会雑誌34 : 61-65, 2025	秋葉 美里, 橋本 崇史 伊集院崇史, 三浦 美沙 中川映理子, 谷口 博子 前田 隆嗣, 上塘 正人 岩間 未紗, 中村 俊昭 松本 純, 竹野 宜代 上塘 正人 くすもと産婦人科 楠元 雅寛
眼 科	Usefulness of color laser scanning ophthalmoscopy and optical coherence tomography angiography in the diagnosis of acute zonal occult outer retinopathy complex: a report of two cases. 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 黄斑円孔 (解説)	Case Rep Ophthalmol, 16(1), 711-719, 2025. Aug 日本医事新報, 5308号, 42-43頁, 2026. 1	Hiroki Kawano Mitsuyoshi Kubota Toshifumi Yamashita Keita Yamakiri 他 山切 啓太
リハビリテーション科	Ⅳ-3 放射線療法患者に対するリハビリテーション Ⅰ 総論 頭頸部癌治療後のリハビリテーションの現状と展望	がんリハビリテーションの臨床, 名古屋大学出版会, 106-109頁 2025. 4 頭頸部癌学 (第2版) 上, 日本臨牀社, 30-35頁 2025. 10	鶴川 俊洋 鶴川 俊洋
歯 科 口腔外科	Metastatic tumors in the oral and maxillofacial region: A multicenter retrospective investigation in Japan	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology Available online 16 February 2026	Yamada S, Hasegawa T Niiyama T, Sakai H Naruse T, Koizumi K Uchida U, Sakurai K Ohshima Y, Otai Y Ishibashi K, Nakahara K Denda Y, Yamakawa N Tasaka Y, Noguchi K Horie A, Nitta T et al.
感 染 制 御 部	Web会議ツールを活用した新興感染症発生時の対応合同訓練実践報告	日本感染管理ネットワーク会誌 Vol. 22 2026, 5-10頁 2026. 3	○永尾 香織 濱田 憲子, 土屋香代子 久保 直美, 川崎 博史 楠生 亮

ウ 院内における研究発表（2025. 4～2026. 3）

科 名	発 表 演 題	年 月	発表者及び共同研究者
脳 神 経 内 科	黒色真菌が原因と考えられた脳脊髄炎の一例	2025. 10	金子 優（2年次） 鶴園 尚史, 久保 純平, 平嶺 敬人 岡田 敬史, 徳浦 大樹, 牧 美充 宮下 史生, 渡邊 修
脳 神 経 内 科	人工呼吸器管理から急速に改善したギラン・バレー症候群の1例	2025. 10	黒川彩希子（1年次） 久保 純平, 平嶺 敬人, 岡田 敬史 徳浦 大樹, 牧 美充, 宮下 史生 渡邊 修
歯 科 口腔外科	片側性唇顎裂に対して顎裂部腸骨移植術をおこなった1例	2025. 10	政 展史（1年次） 城間 結香, 吉永 悠, 平原 成浩 新田 哲也
歯 科 口腔外科	朝顔症候群を伴った先天性上唇瘻の一例	2025. 10	城間 結香（1年次） 政 展史, 吉永 悠, 平原 成浩 新田 哲也
脳 神 経 内 科	下行大動脈内の血栓が原因と考えられる後脊髄動脈症候群の1例	2025. 12	林 佑翼（2年次） 牧 美充, 久保 純平, 河合 りら 宮下 史生, 渡邊 修
救 急 科 ・ 集 中 治 療 部	棒高跳び中の腹部外傷により右腎損傷（JASTⅢ bH2型）をきたした若年女性例	2026. 2	上田 怜（2年次） 伊福 達成, 吉原 秀明, 垣花 泰之
産婦人科	心不全合併妊娠に対して集学的に治療を行い、心不全増悪なく出産に至った1例	2026. 2	坂下 敬季（2年次） 中川映理子
救 急 科	発熱と食思不振で発症した重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever Thrombocytopenia Syndrome:SFTS）の1例	2026. 2	中村 佐乃（2年次） 中村 茂宏, 井田俊太郎, 米澤 智子 嶽崎 佑介, 奥田龍一郎, 山尾 幸平 伊福 達成, 上村 吉生, 高間 辰雄 大西 広一, 吉原 秀明
消 化 器 外 科	完全内臓逆位に対しロボット支援下直腸切断術を行った1例	2026. 2	愛甲 優（2年次） 原 章太郎, 白尾 貞樹, 喜多 芳昭 瀬戸山徹郎, 飯野 聡, 盛 真一郎 前村 公成
消 化 器 内 科	女性ホルモン剤が門脈血栓の著明な増悪因子となった先天性アンチトロンビン欠乏症の一例	2026. 2	油木田瑛介（1年次） 伊集院 翔
腎臓内科	地域で診るCKD治療について	2026. 2 連携医の会	吉嶺 陽造

(3) 医療技術部門

ア 学会、講演会等における研究発表（2024. 4～2025. 3）

科 名	発 表 演 題	年月、場所	学会、講演会等名	発表者及び共同研究者
病理診断 技 術 科	若手細胞検査士が診断に難渋した乳腺細胞診 ～どの所見をどのように考えるか～	2025. 8 鹿児島市	第40回鹿児島県臨床細胞学会総会・学術集会	川畑 遊星
放 射 線 技 術 科	造影剤投与情報と線量管理のNext Stage	2025. 6 鹿児島市	雑誌・インナービジョン	隈 浩司
	CT造影検査における造影剤自動注入器の違いがCT値に与える影響	2025. 6 鹿児島市	鹿児島市診療放射線技師会	木原 悠大
	マンモグラフィ臨床画像評価（講師）	2025. 6 京 都	第232回マンモグラフィ技術更新講習会（2日間）	隈 浩司
	もやもや病におけるAcceleration-selective ASL(AccASL)の有用性の検討	2025. 8 姫路市	第53回日本磁気共鳴医学会大会(JSMRM 2025)	池田 政美, 北園 英誉 川東 祐太, 隈 浩司 日高 誠也, 神園 純輝 中山 博史
	マルチペーシェント用CTインジェクションシステムがCTの造影検査に与える影響	2025. 9 福井市	第41回日本診療放射線技師学術大会	木原 悠大
	マンモグラフィ臨床画像評価（講師）	2025. 10 京 都	第238回マンモグラフィ技術更新講習会（2日間）	隈 浩司
	働き方改革は注入から始まる! CentargoとRadimetricsによる業務最適化	2025. 10 札幌市	第53回日本放射線技術学会秋季学術大会	隈 浩司
	福岡県マンモグラフィ技術講習会	2025. 10 北九州市	福岡県診療放射線技師会	隈 浩司
	Acceleration-selective ASL(AccASL)を用いた末梢血管の描出能の評価	2025. 12 鹿児島市	第20回九州放射線医療技術学術大会	池田 政美, 北園 英誉 隈 浩司, 中山 博史
	teamplay Doseの使用経験と複数線量管理システムとの比較	2025. 12 鹿児島市	雑誌・映像情報メディアカル	隈 浩司
	マンモグラフィ臨床画像評価（講師）	2025. 12 名古屋市	第240回マンモグラフィ技術更新講習会（2日間）	隈 浩司
	九州支部マンモグラフィ技術講習会（講師）	2025. 12 大 分	日本放射線技術学会・九州支部	隈 浩司
	マルチペーシェント用CTインジェクションシステムがCTの造影検査に与える影響	2026. 1 鹿児島市	鹿児島県診療放射線技師会	木原 悠大
	当院における女性技師育成を軸とした新人教育 とマンモグラフィ教育効果の検証	2026. 2 姫路市	第35回日本乳癌画像研究会	吉満絵美里, 大倉 千怜 隈 浩司
	マンモグラフィ臨床画像評価（講師）	2026. 2 福岡市	第242回マンモグラフィ技術更新講習会（2日間）	隈 浩司

科 名	発 表 演 題	年月、場所	学会、講演会等名	発表者及び共同研究者
放 射 線 技 術 科	teamplay Usageを活用したCT・MR装 置の検査効率の向上へのアプローチにつ いて	2026. 2 鹿児島市	雑誌・Future of Healthcare	隈 浩司
臨床検査 技 術 科	当院におけるパニック値報告体制につ いて 当院における内視鏡業務のタスクシフト 当院で経験した糞線虫症の一症例	2025. 10 大村市 2025. 10 大村市 2026. 2 指宿市	第59回日臨技九州支 部医学検査学会 第59回日臨技九州支 部医学検査学会 第20回鹿児島県医学 検査学会	神宮司 亨 片平 帆風 安樂 映美, 松元 優太 藤垣 大輔, 寺脇みゆき 川畑 菜, 岩元真菜美
リハビリ テーショ ン 技 術 科	早期離床深部静脈血栓症および肺塞栓症 を発症した脳出血症例の経験を踏まえた 理学療法の再考 ベルーにおける障害児スポーツ指導力強 化及び普及促進プロジェクト ～評価指標による成果の可視化と持続可 能な仕組み作り～ 当院における肺がん周術期リハビリテー ションの現状と課題 心疾患に必用な評価とエビデンス 突発性（特発性）冠動脈解離により急性 心筋梗塞を発症し、ICUでのECMO管理 を経て自宅復帰に至った症例	2025. 10 石川県 2025. 11 別府市 2025. 11 鹿児島市 2025. 11 Web 2025. 12 福岡市	第23回日本神経学 療法学会学術大会 九州理学療法学術大 会2025 in 大分 第31回鹿児島呼吸療 法研究会 令和8年度第2回始 良地区研修会 第11回日本心臓リハ ビリテーション学会 九州支部地方会	上演 裕樹, 鶴川 俊洋 松本 侑己 樋高 聡史 宮崎 晋宏 西 啓佑
臨 床 工 学 科	当院の災害対策 当院のCARTについて 当院における末梢血管内治療業務介入後 の現状とこれからの課題について CPA後にVA-ECMOを導入した症例に おいて、SCAD診断にIVUSが有用であっ た一例 当院における第2世代低用量薬剤塗布バ ルーンの短期成績と臨床因子の検討 当院救急外来への当科としての関わり	2025. 8 鹿児島市 2025. 9 鹿児島市 2025. 9 鹿児島市 2025. 9 鹿児島市 2025. 9 鹿児島市 2025. 10 鹿児島市	2025年度災害対策セ ミナー 鹿児島CART講演会 CVIT九州地方会 CVIT九州地方会 CVIT九州地方会 かごわい2025	小原 啓太 榊 哲史 前納 玲奈, 桶谷 直也 有川 亮, 宮内 英治 木原 功普, 山口 敦子 山本遼太郎, 上籠 快 山本遼太郎, 桶谷 直也 有川 亮, 宮内 英治 大迫 将精, 木原 功普 山口 敦子, 上籠 快 小原 啓太, 濱畑 海 上籠 快 中間匡之輔

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
臨 床 工 学 科	断水を想定した災害訓練を実施して	2026. 2 鹿児島市	第42回鹿児島県人工透析研究会	小原 啓太, 木原 功普 榊 哲史, 尾野 翔 蔵園 拓也, 松元麻里亜
	抗GBM抗体型糸球体腎炎に対し, SePE, DFPP併用療法を行った一例	2026. 3 鹿児島市	第32回鹿児島県臨床工学会	松元麻里亜, 木原 功普 榊 哲史, 小原 啓太 尾野 翔, 蔵園 拓也 前納 玲奈
	新生児領域での噴霧式薬剤吸入療法における検討	2026. 3 鹿児島市	第32回鹿児島県臨床工学会	中間匡之輔, 木原 功普 山口 敦子, 角野隆一郎 榊 哲史, 上田 舞 上籠 快, 山本遼太郎 小原 啓太, 松元麻里亜
	臨床工学技士(CE)による, 器械出し業務の導入と今後の課題	2026. 3 鹿児島市	第32回鹿児島県臨床工学会	谷 翔史, 木原 功普 山口 敦子, 小林 涼 山本遼太郎, 尾野 翔
栄 養 管 理 科	褥瘡・熱傷患者に対する早期亜鉛補充に向けたNSTの取り組み	2026. 2. 21 鹿児島市	第20回鹿児島NST研究会	内野美奈子, 田口 桃子 久保美佐子, 堀之内秀治 鳥飼 源史
薬 剤 部	エンホルツマブベドチン投与時の味覚障害に対し薬剤師介入がが食欲不振改善に繋がった一例	2025. 6 鹿児島市	第17回日本がん薬剤学会(JSOPP)学術大会	○竹迫 秀和 櫻井雄一郎, 瀬戸口 誠 谷村 拓哉, 高崎 紘佑 前田 弘志, 有馬 純子
	患者目線で寄り添うがん治療～個別化医療の進展と実践～	2025. 6 鹿児島市	第17回日本がん薬剤学会(JSOPP)学術大会	○有馬 純子
	がん化学療法時の味覚障害に対し薬剤師介入が食欲不振改善に繋がった一例	2025. 7 鹿児島市	日本栄養治療学会(JSPEN)九州支部 第16回支部学術集会	○竹迫 秀和 福留加奈美, 戸田 薫 有馬 純子
	ベンダムスチン投与を受けた悪性リンパ腫患者に対する帯状疱疹発症予防についての検討	2025. 11 神戸市	第35回日本医療薬学会年会	○谷村 拓哉 櫻井雄一郎, 林 美音 瀬戸口 誠, 高崎 紘佑 竹迫 秀和, 前田 弘志 有馬 純子
	プロポフォール関連脂質異常症に対してカルニチン投与が奏効した1例－薬剤師による脂肪酸代謝の視点からの介入－	2025. 11 神戸市	第35回日本医療薬学会年会	○伊集院聖司 前田 弘志, 二木 貴弘 仲村 将高, 牛飼 美晴 堀内 正久, 有馬 純子
	DASC(Days of Antibiotics Spectrum Coverage)法を用いた <i>Klebsiella pneumoniae</i> 菌血症に対する抗菌薬適正使用支援活動の評価	2025. 11 福岡市	第73回日本化学療法学会西日本支部総会	○福元 裕介 池田 賢一, 児玉 祐一 新田 哲也, 楠生 亮 川村 英樹
	院外処方箋における多施設合同の包括的事前合意プロトコル導入後の有用性評価と課題	2026. 1 鹿児島市	第9回鹿児島県病院薬剤師会学術大会	○井上 美菜 徳永 智子, 前田 弘志 有馬 純子

科 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
薬 剤 部	調剤進捗管理システム導入による業務効率化への影響	2026. 1 鹿児島市	第 9 回鹿児島県病院 薬剤師会学術大会	○川上 祐佳 竹迫 秀和, 野妻 俊也 前田 弘志, 有馬 純子
	有効で安全ながん薬物治療管理体制の構築を目指して 緩和ケアにおける薬剤師の役割	2026. 2 宮崎市	第14回九州山口薬学 会ファーマシューテ ィカルケアシンポジ ウム	○前田 弘志
診療情報 管 理 室	救急補正係数向上に向けて	2025. 8 埼玉県	第51回日本診療情報 管理学会学術大会	黒丸 恭弘

(4) 看護部門

ア 学会、講演会等における研究発表（2025.4～2026.3）

病棟名	発表演題	年月、場所	学会、講演会等名	発表者及び共同研究者
集中治療部	看護倫理研修を専門・認定看護師が行った成果と課題	2025.5 兵庫県	日本看護倫理学会第18回年次大会	○多田真太郎 取達 里美
感染制御部	Web会議ツールを活用した新興感染症合同訓練実施報告	2025.5 福岡県	第13回日本感染管理ネットワーク学会学術集会	○永尾 香織 土屋香代子, 川崎 博史 楠生 亮
S C U ・ 4 階 北病棟	急性期脳梗塞発症後、嚥下障害を生じた高齢患者への関わり ～自力摂取に向けての取り組み～	2025.6 千葉県	日本老年看護学会第30回学術集会（合同開催第34回日本老年学会総会）	○宮元 琴音 西園さつき, 江口 恵
D X推進・ 経営情報 分析室 ・ 看護部	処方切れ通知の効率化に向けた取り組み～RPA (Robotic Process Automation) の活用と課題～	2025.6 鹿児島県	第26回日本医療情報学会看護学術大会	○川崎 博史 札元 和江
検査治療 外来	放射線治療室に勤務する緩和ケア認定看護師の活動と課題	2025.7 福岡県	第30回日本緩和医療学会学術大会第10回がんサポーターズ学会学術集会	○藺田 智代
集中治療部 ・ D X推進・ 経営情報 分析室	人工呼吸器離脱における特定行為研修修了者介入の効果	2025.7 東京都	第21回日本クリティカルケア看護学会学術集会	○黒木 庄 取達 里美, 川崎 博史
検査治療 外来	A病院内視鏡部における他職種へのタスクシフト・シェアの取り組み	2025.7 宮城県	第27回マネジメント学会学術総会	○山田 友美 長元 史郎, 竹内 智美
D X推進・ 経営情報 分析室 ・ 看護部	病院DXにおける専従看護師の意義と役割 – 「困りごと」から導く組織的課題と調整役の実践 –	2025.7 宮城県	第27回マネジメント学会学術総会	○川崎 博史 札元 和江
医療安全管理部 ・ 4 階 南病棟 ・ MFICU ・ NICU ・ 精神科	A病院チャイルドプロテクションチーム活動の実際と課題 ～妊娠・出産期のリスクアセスメントシートを活用して～	2025.8 鹿児島県	第38回鹿児島県母性衛生学会	○潟山 勝美 近藤 尚美, 松本美千代 有蘭 京子 加治佐めぐみ
救命救急センター ・ 看護部	救急搬入から入院病棟案内までの患者滞在時間短縮の取り組み	2025.9 愛知県	第56回日本看護学会学術集会	○永吉 優子 久保 直美

病 棟 名	発 表 演 題	年月, 場所	学会, 講演会等名	発表者及び共同研究者
N I C U ・ G C U	開放型保育器への移床における基準逸脱 の実態と体温への影響 ～適切な移床基準設定を目指して～	2025. 11 神奈川県	第34回日本新生児看 護学会学術集会	○上口 智美 福田 悠夏, 上山 直人 佐々木理恵, 有蘭 京子
検査治療 外 来	A病院内視鏡部における他職種へのタス クシフト・シェアの取り組みー第2報ー	2026. 1 鹿児島県	第59回鹿児島看護研 究学会	○山田 友美 長元 史郎, 竹内 智美
医療連携 ・ 入 退 院 センター	高齢患者における看護職の連携	2026. 3 鹿児島県	令和7年度 4 職能 委員会合同研修会	○隈 みどり

病 院 年 報

令和 8 年度

令和 8 年 9 月発行

編集・発行 鹿児島市立病院事務局

〒890-8760 鹿児島市上荒田町 37 番 1 号

T E L 099 (230) 7000

F A X 099 (230) 7070

<http://www.kch.kagoshima.jp/>

リサイクル適性の表示：紙へリサイクル可

